

令和6年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書

事業報告

財務諸表

財産目録

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団



令和6年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団  
事業報告

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

## 目 次

I	令和6年度の取組	1 頁
II	令和6年度目黒区文化ホール事業報告	7
	第1 自主事業	7
	第2 受託事業	7 3
	第3 その他事業	7 8
III	令和6年度目黒区美術館事業報告	8 4
	第1 自主事業	8 4
	第2 受託事業	1 0 0
	第3 その他事業	1 0 8
IV	処務の概要	1 1 9
	1 重要な契約の概要	1 1 9
	2 財団運営会議の開催状況	1 1 9
	3 理事会の開催状況	1 2 0
	4 評議員会の開催状況	1 2 1
	5 評議員、理事及び監事名簿	1 2 2
V	附属明細書	1 2 3

## I 令和6年度の取組

令和6年度は、文化ホール及び美術館の指定管理第5期目（令和6年度～10年度）における初年度でした。事業運営及び施設の管理に当たっては、区民の芸術文化活動の拠点としての役割を十分認識し、区民に身近な施設としてさらに親しまれるよう、利用者の更なる利便性の向上と施設の安全確保の徹底に努めました。そして、直接的な芸術文化体験が持つ重要性を踏まえ、優れた実演芸術や美術作品展示の鑑賞機会の提供や、アウトリーチ事業の充実を図るとともに、インターネットを活用した映像等の配信やソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信などに継続的に取り組みました。

文化ホールでは、大ホールの舞台機構の部品交換工事等を行い、老朽化した設備の更新により、舞台利用者の利便性向上を図ることができました。今後も、大規模な工事が計画されていますが、区民や利用者への丁寧な周知とともに、設備の機能向上に努めてまいります。

美術館については、区において「新たな目黒区民センターの基本計画」に基づく整備の取組として、令和6年7月から事業公募が行われていましたが、7年1月に工事費等の急激な高騰により、現在の公募条件での事業実施は中止となりました。今後、7～8年度に行われる区有施設見直し方針及び見直し計画の改定検討作業と並行して、美術館を含む新たな区民センター整備の計画変更等が行われる予定です。財団としても引き続き次代に向けて新たな美術館像が確立できるよう、区と丁寧に意見交換を進めてまいります。

一方、財団の財務面では、他団体からの助成金や協賛金などの積極的な獲得や効率的な事業運営に努めました。また、財団の基幹的収入である施設利用料金収入は、6年度においては、コロナ禍での減少から回復していますが、持続可能な財団経営に向けては、財政基盤の更なる強化が必要です。

今後も、目黒区の芸術文化振興の一翼を担う公益法人として、誰もが身近な地域で芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしができるよう、新しい発想と創意工夫で取り組み、区をはじめ関係団体との連携・協力のもと、財団一丸となって事業を展開し、区民の皆様の期待に応えてまいります。

## 1 目黒区文化ホール

令和6年度は、自主事業38事業、区からの受託事業2事業、指定管理事業1事業を実施し、5年度と同規模の事業を展開することができました。また、5年度に実施した地域に根差した事業をさらに拡充するなど、芸術文化への興味や関心を高める契機の創出に努めました。

また、区補助金や助成金、協賛金を活用し、体験・普及事業にも力を入れ、芸術文化の裾野を広げる取組にも尽力いたしました。

### (1) 鑑賞事業

幅広い年代の区民に向けて良質な鑑賞機会を提供することを目指し、地域に根差した魅力ある主催事業7事業と、良質で多彩な活動を行っている主催者と協力した共催事業10事業を実施しました。主な事業は次のとおりです。

#### ア ぱんだウインドオーケストラ プラスで輝け◆未来に羽ばたけ!

新進気鋭の若手吹奏楽団「ぱんだウインドオーケストラ」に、中学3年生のトランペッター児玉隼人をソリストに迎えた公演を実施しました。さらに、特別企画として区立中学校吹奏楽部(6校)との合同演奏を行いました。

#### イ ぱんだウインドオーケストラ中学生吹奏楽部 直接指導

令和6年1月から区立中学校全8校の吹奏楽部を対象に、オーケストラメンバーが、基礎練習から本番での共演曲を指導しました(各学校2~3回)。

#### ウ 三浦謙司の「子どもとおとなのためのピアノ・リサイタル」

ベルリン在住のピアニスト・三浦謙司による、未就学児とその家族と一緒に楽しむことのできるコンサートを開催しました。演奏だけでなく、音楽が表す感情などをクイズ形式で当ててもらうなど、子どもたちとのコミュニケーションに重点を置いた内容で実施しました。来場者の感想からは、子育て中のためコンサートホールで音楽に触れる機会を十分に持つことができない親にとっても貴重な機会であったことがうかがわれました。

### (2) 地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主催事業は次のとおりです。

#### ア 第13回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサート

大地震が発生したことを想定し、ホールスタッフが出演者及び来場者を誘導し、区民キャンパス芝生広場に避難するコンサートを行いました。実施に当たっては、警視庁音楽隊による演奏とカラーガード(MEC)の華麗なフラッグ演技で、幅広い年代が楽しめる楽曲を披露しました。

#### イ 未来の音シリーズ

若手演奏家を支援し、区民に紹介する演奏会シリーズ「未来の音」には、難関の国際コンクールで2位および聴衆賞を受賞し、欧米での演奏機会も多い弦楽四重奏のクアルテット・インテグラとピアノの鈴木愛美が出演しました。鈴木愛美

は、出演後に参加した日本で行われた世界的コンクールで優勝し、大きな話題となりました。

### (3) 体験・普及事業

#### ア 子どものためのワークショップ

中・高校生を対象とした「演劇コース」と、小・中学生を対象とした「ダンスコース」を実施し、実演芸術に親しみ、創造性を育む機会を提供しました。

#### イ 大人の演劇ワークショップ

演劇初心者でも参加しやすいよう1日完結型で実施しました。演劇の要素を踏まえた様々なワークと、グループごとにテーマに沿った短い演劇を創作しました。演劇に触れる機会や参加者同士のつながり作りにも寄与した事業となりました。

#### ウ アウトリーチプログラム

様々なジャンルのアーティストが区内の学校や福祉施設などに赴き間近で演奏等を行い、交流する機会を提供しました。

なお、令和5年度からは、目黒区教育委員会からの依頼により、目黒区立小学校の音楽の教育課程として全小学校で実施し、令和6年度は39施設（過去最多）で音楽等をお届けしました。

### (4) 受託事業・指定管理事業

#### ア 目黒区文化祭

目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、12公演を実施しました。

#### イ めぐるおーたむアート

美術館と連携した第12回音楽と美術のワークショップ「空間と音ー目黒区総合庁舎とめぐろパーシモンホール」と、旧前田家本邸洋館でのクラシックギターのコンサート（1日2回公演）を開催しました。

#### ウ めぐるで第九2024

目黒区民を中心とした一般公募の合唱団とプロの指揮者、ソリスト、オーケストラの共演による「めぐろで第九2024」を実施しました。また、若い世代の参加を促すため、合唱団の全体練習開始前に中高生向けに特別練習を行いました。

### (5) 貸館事業

#### ア 施設の改善

6年度は、大ホールの音響反射板などの舞台機構部品交換工事のため、約1か月間休館しました。

また、日常点検や定期的な保守点検等を通じて、安全確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めました。

#### イ 大ホール消防設備点検時の事故への対応

令和5年9月に発生した大ホール消防設備点検時のスプリンクラー作動によ

る被水事故への対応として、6年度は照明操作卓や舞台上のフロア回路を修繕しました。

引き続き、施設利用に影響が生じないように、関係事業者との連携をより密にし、施設の完全復旧に向けて取り組んでまいります。

#### ウ 施設利用状況

各施設の利用率は、大ホールは89.7%（5年度：87.8%）、小ホールは84.1%（5年度：85.0%）、中目黒GTプラザホールは89.6%（5年度：89.2%）、リハーサル室及び練習室は89.1%（5年度：86.9%）、会議室は58.5%（5年度：58.8%）、保育室は23.4%（5年度：16.0%）でした。

## 2 目黒区美術館

令和6年度は、展覧会事業として5つの展覧会や、ワークショップなどの教育普及事業を実施しました。

多彩なテーマの展覧会をはじめ、対面式及びオンラインでのワークショップを通して、美術への興味や関心を高めるきっかけの提供に努めました。

### (1) 展覧会事業

#### ア 自主事業展覧会 (3展)

- ① 「青山悟 刺繍少年フォーエバー」展
- ② 「生誕130年 武井武雄展～幻想の世界へようこそ」展
- ③ 「中世の華・黄金テンペラ画－石原靖夫の復元模写 チェンニーノ・チェンニーニ『絵画術の書』を巡る旅」展

#### イ 指定管理事業 (2展)

- ① 「目黒区美術館コレクション展 わたしの言葉をあなたに届ける 日々のよろこび2024」
- ② 「めぐろの子どもたち展」

#### ウ 区からの受託事業

- ① 「めぐろオータムアート」  
めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマに、ワークショップなどを実施しました。
- ② 「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2024」

#### エ 展覧会の入館者数

42,705人(各展覧会の合計目標を17,400人余、上回る)  
報道機関等への広報等により、情報の掲載や問い合わせも多くありました。

### (2) 教育普及事業

教育普及事業については、美術の普及や美術作品、地域の文化財への理解を深めるとともに、「観る」、「創る」、「考える」などの活動や交流を通して感性が育まれるような事業を展開しました。

また、ワークショップ事業では、対面式のワークショップを開催したほか、子育てや介護などで出かけることが難しいかた向けにオンラインを活用したギャラリートourを実施しました。

#### ア ワークショップ

- ① ワークショップ夏 【武井武雄ワンダーランド】  
期間中開催されていた武井武雄展に関連し、武井の版画技法を体験したり、武井の本作りに注目したワークショップ等を開催しました。
- ② ワークショップ春 【古典技法への旅】  
画材や素材への興味を引き出し、同時期開催で扱う「中世の華・黄金テンペラ画」の技法に着目したワークショップ等を開催しました。

#### イ ギャラリートour

学校単位での受け入れが難しくなっているため、学童保育クラブや学

校の美術部などに働きかけ、多くの児童・生徒に来館していただきました。

#### ウ トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム（TVT）の運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラムを実施しました。

#### エ 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾の設計による、1966年竣工の旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩くガイドツアーを開催しました。

#### オ デザインキャンプ プラス

プラス株式会社ファニチャーカンパニーとの協働により、デザインを考える・体験する良質な場とつながりを提供するワークショップを実施しました。

#### カ アウトリーチプログラム

「青山悟 刺繍少年フォーエバー」のプレプログラムとして令和5年度に実施したアウトリーチプログラムで制作した児童達と青山悟による作品を、展覧会の会期中に展示し、青山が再度小学校を訪問し、授業を行いました。

### （3）調査研究

作品の保管・活用については、所蔵作品の保存・修復のほか、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行いました。

所蔵作品や所蔵作家だけでなく最新の美術の動向にも精通し、斬新な視点を構築するために、調査研究に努め、魅力的な展覧会の開催を目指しました。

### （4）区民等の芸術文化活動の支援

区民等への芸術文化活動支援の一環として、区展及び目黒区美術家協会展など区内3美術団体の展覧会開催への協力・支援のほか、区内等の中学校・高等学校職場体験や見学会及びその他視察・研修等の受入れを行いました。

また、広報活動に関しては、新たにLINEを開始し、またYouTube公式ページによる動画配信やインスタライブなどSNSを活用した情報発信などに積極的に取り組みました。

### （5）区民ギャラリーの運営

令和5年度は開館以来はじめて100%の利用率でした。令和6年度は97.7%となり、依然として高い利用率を維持しました。

空き状況については、当館のウェブサイトでの情報公開、チラシの配布に加え、新規導入したLINEとともに、SNS上での情報発信も令和5年度に引き続き行いました。

## Ⅱ 令和6年度 目黒区文化ホール事業報告

### 第1 自主事業（定款第4条第1項第1号）

#### 1 鑑賞事業

##### (1) 主催事業（7事業＝20公演）

No.	内容	
	公演名	ぱんだウインドオーケストラ プラスで輝け◆未来に羽ばたけ！
	公演日	令和6年6月30日（日）
	会場	大ホール
	料金等	[全席指定] 一般 3,800円 学生（高校生以下） 1,000円 ※ 区民は一般のみ 300円引き
	入場者	1,109人【定員1,200名】 (92.4%)
1 ①	事業内容	<p>令和4年度に実施した開館20周年記念イベントの一つとして開催し好評を博したサクソフォン・上野耕平率いる新進気鋭の若手吹奏楽団「ぱんだウインドオーケストラ」の公演を2年ぶりに開催した。</p> <p>指揮に水戸博之と中学3年生の人気トランペッター児玉隼人をソリストに迎え、吹奏楽の隠れた名曲など魅力の詰まったプログラムをエネルギッシュな演奏で披露した。</p> <p>さらに、特別企画として希望する区立中学校吹奏楽部との共演企画も実施し、令和6年1月からの直接指導を経て、6校の吹奏楽部が本公演での出演を果たした。また、同年代であるソリストの児玉と共演するなど、大編成でプロのアーティストと共に音楽を創り上げるという生徒たちにとって貴重な経験を提供することができた。</p> <p><b>【出演】</b> 水戸博之（指揮）、ソリスト 児玉隼人（トランペット） コンサートマスター 上野耕平、ぱんだウインドオーケストラ 特別共演 目黒区立中学校吹奏楽部</p> <p><b>【曲目】</b> 前久保諒：Welcome to PANDA! ホルスト：ハマーミス 吹奏楽のための前奏曲とスケルツォ op. 52 アイルランド民謡（芳賀傑 編曲）：ダニー・ボーイ スパーク：トランペットと吹奏楽のための「マンハッタン」（Tp. 児玉隼人） リード：音楽祭のプレリュード ※ 目黒区立中学校吹奏楽部との共演曲 宮川彬良：僕らのインベンション ※ 目黒区立中学校吹奏楽部との共演曲 リード：エル・カミーノ・リアル アラルコン：ドウエンデ 吹奏楽のための4つの前奏曲</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p>



公演名	<b>ぱんだウインドオーケストラ 中学生吹奏楽部 直接指導</b>	<b>【上から順に、金管・木管・打楽器】</b>
練習日 会 場 参加者	① 令和6年5月13日(月) ※合同練習 目黒区立第七中学校(14人) 目黒区立第九中学校(4人) ② 令和6年5月14日(火) ※合同練習 目黒区立東山中学校(15人) 目黒区立第一中学校(5人) ③ 令和6年5月27日(月) 目黒区立大鳥中学校(39人) ④ 令和6年6月7日(金) 目黒区立第八中学校(9人) ⑤ 令和6年6月10日(月) 目黒区立目黒中央中学校(15人) ⑥ 令和6年6月11日(火) ※合同練習 目黒区立東山中学校(15人) 目黒区立第一中学校(5人) ⑦ 令和6年6月21日(金) ※合同練習 目黒区立第七中学校(14人) 目黒区立第九中学校(4人) ⑧ 令和6年6月25日(火) 目黒区立第十中学校(22人) ⑨ 令和6年6月29日(土) 大ホールで出演校のみリハーサル	  
事業内容	<p>令和5年度から引き続き、令和6年6月30日に開催する若手吹奏楽団「ぱんだウインドオーケストラ」公演の特別企画として、区立中学校の全吹奏楽部8校を対象にオーケストラメンバーの直接指導を実施した。</p> <p>各校の部活動の時間帯に講師が訪問し、金管・木管・打楽器それぞれのセクションに分かれて、基礎練習から始まり今練習している曲や本番での共演曲の指導にあたった。直接指導は令和6年1月～6月に開催し、6月公演で共演した6校は3回、その他の2校は2回の指導となった。</p> <p>また、公演前日のリハーサルでは、プロの演奏者との初めての合奏に緊張している姿が見受けられたが、オーケストラメンバーが優しく声を掛けるなど、演奏面だけではなくサポートを行ない、本番では笑顔の溢れる堂々とした姿でステージを迎えることができた。</p> <p><b>【講師】</b>  木管(田中奏一朗 Sax、福井萌 C1、篠塚友里江 C1、春田傑 C1、住谷美帆 Sax)  金管(山下純平 Trb、芝宏輔 Tuba、松永遼 Trb、高松圭佑 Tp)  打楽器(日比彩湖、秋生智之、竹内美乃莉)</p>	

1  
②  
|  
⑩

2 ①	公演名	夜のラウンジライブ vol. 3 閑喜弦介 (ギター) × 小美濃悠太 (ベース) × KAN (パーカッション)	
	公演日	令和6年10月7日 (月)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	[全席自由] 2,500円 (ワンドリンク付き)	
	入場者	85人【定員90名】 / 完売 (94.4%)	
事業内容	<p>平日の夜、大ホールホワイエで開催するワンドリンク付きのミニライブを行った。 定期清掃日の午後・夜間の枠を利用したものである。</p> <p>ギターリスト閑喜弦介を中心としたベース、パーカッションのトリオで、自身のオリジナル曲やレパートリー曲を中心に、3人の濃厚なセッションを堪能できる内容となった。</p> <p><b>【出演】</b> 閑喜弦介 (ギター)、小美濃悠太 (ベース)、KAN (パーカッション)</p> <p><b>【曲目】</b> Ralph Towner : Beppo Egberto Gismonti : Palhaço Richard Rodgers : My favorite things *ギターソロ 武満徹 : めぐりあい Thom Yorke : Exit Music Kanki Gensuke : Kowagari Kanki Gensuke : Alone in the train 《アンコール》 武満徹 : 明日ハ晴レカナ</p>		
2 ②	公演名	夜のラウンジライブ vol. 4 奥村愛 (ヴァイオリン) × 奥村景 (チェロ)	
	公演日	令和6年12月10日 (火)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	[全席自由] 2,500円 (ワンドリンク付き)	
	入場者	86人【定員90名】 / 完売 (95.6%)	

	事業内容	<p>平日の夜、大ホールホワイエで開催するワンドリンク付きのミニライブの第4弾である（舞台保守日の午後・夜間の枠を利用）。</p> <p>演奏スペースが吹き抜けということもあり、2階席まで十分に音が響き渡っていた。</p> <p>出演はヴァイオリン奥村愛、チェロ奥村景の姉弟によるデュオで、クラシックから現代曲、民謡など幅広いプログラムで、二人のトークを交えながら楽しめるライブとなった。</p> <p><b>【出演】</b> 奥村愛（ヴァイオリン）、奥村景（チェロ）</p> <p><b>【曲目】</b> ヘンデル：クーラント モーツァルト：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 Kv. 424 シュルホフ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 マーク・サマー：ジュリー・オーザ・スカンディナヴィアン（民謡）</p> <p>《アンコール》 スコット・ジョプリン：メープル・リーフ・ラグ</p>
3	<p>公演名</p> <p>公演日</p> <p>会場</p> <p>料金等</p> <p>入場者</p>	<p><b>桂文枝・春風亭小朝 新春東西落語名人会</b></p> <p>令和7年1月9日（木）</p> <p>大ホール</p> <p>[全席指定] S席 3,700円 A席 3,200円</p> <p>1,133人【定員1,200名】／完売 (94.4%)</p>
	事業内容	<p>新春恒例の落語会。今回は、2年前に好評を博した桂文枝、春風亭小朝に加え、昨年真打に昇進したばかりの林家つる子を迎え開催した。</p> <p>主催、共催通じて初めての女性噺家の出演で、華やかな落語会になった。</p> <p><b>【出演・演目】</b> 林家つる子「反対陣」、春風亭小朝「中村仲蔵」、柳貴家雪之介（水戸大神楽）、桂文枝「鯛」</p> <p><b>【協賛】</b> 自由が丘蜂の家</p>



No.	内容		
4 ① ②	公演名	三浦謙司の「子どもとおとなのためのピアノ・リサイタル」	  ©Takako Miyachi
	公演日	①令和7年2月1日(土) 11時30分開演 ②令和7年2月1日(土) 14時30分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席自由] ・午前の部 0歳から中学生 500円 一般 1,000円 ・午後の部 4歳から中学生 1,500円 一般 2,500円	
	入場者	① 116人【定員173名】／完売(67.1%) ② 115人【定員155名】／完売(74.2%)	
事業内容	<p>小ホール前方を平土間にしてピアノを取り囲むようにクッションやベンチを配置し、間近で、かつリラックスしながら参加できる形態とした。</p> <p>■午前の部(0歳から) サン=サーンス：動物の謝肉祭などから抜粋し、ピアノによる「音楽で動物を表現」、「音楽で感情を表現」といったテーマで子どもたちと対話した。</p> <p>■午後の部(4歳から) 前半は午前の部のプログラムの応用、後半は短めの作品をじっくり聴くことのできるプログラムとした。 ヴィヴァルディ：「四季」より／ラヴェル：水の戯れ ショパン：小犬のワルツ、雨垂れ</p>		
4 ③	公演名	郷古廉×村上淳一郎×横坂源 <b>String Trio</b>	 ©Taira Tairadate
	公演日	令和7年2月8日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,600円 学生 2,000円	
	入場者	187人【定員200名】／完売(93.5%)	

	事業内容	<p>これまでに度々当ホール事業に出演しているヴァイオリンの郷古廉、チェロの横坂源に加え、N響首席ヴィオラ奏者で室内楽の分野でも活躍している村上淳一郎による弦楽トリオの公演を開催した。チケットは即日完売となった。実力派の三人による緊張感のある充実した演奏会となった。</p> <p><b>【出演】</b> 郷古廉（ヴァイオリン）、村上淳一郎（ヴィオラ）、横坂源（チェロ）</p> <p><b>【曲目】</b> ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 第3番 ニ長調 op. 9-2 ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 第4番 ハ短調 op. 9-3 モーツァルト：ディヴェルティメント 変ホ長調 K. 563</p> <p>《アンコール》J. S バッハ作曲／シトコヴェツキー編曲：ゴルトベルク変奏曲よりアリア BWV988</p>
5 ①	公演名	フレッシュ名曲コンサート キャンペーン・イベント トーク&レクチャー 「指揮者・大井駿を知る」
	公演日	令和6年10月25日（金）
	会場	中目黒GTプラザホール
	料金等	[全席指定] 1,000円
	入場者	49人【定員60名】 (81.7%)
事業内容	<p>3月のフレッシュ名曲コンサートに新進音楽家として出演する、指揮者でピアニスト、古楽器奏者でもある大井駿によるトークイベントを実施した。本人の生い立ちや留学中のエピソードをはじめ、本公演で演奏する作品について紹介し、秋にちなんだピアノ曲を演奏した。</p> <p><b>【出演】</b> 大井駿（指揮者・ピアニスト）、高坂はる香（音楽ライター）</p> <p><b>【曲目】</b> チャイコフスキー：「四季」より 「10月『秋の歌』」 ブルックナー：秋の夕べの静かな想い WAB. 123</p>	
5 ②	公演名	フレッシュ名曲コンサート 大井駿×務川慧悟×読売日本交響楽団 ～ドラマティック・チャイコフスキー
	公演日	令和7年3月2日（日）
	会場	大ホール
		 <p>©渡部聡</p>
		

	料金等	[全席指定] S席 4,000円 A席 3,300円 学生 1,000円	
	入場者	1,112人【定員 1,191名】完売 (93.4%)	
	事業内容	<p>新進音楽家を支援し、クラシック音楽の魅力を紹介している本事業では、今年度、気鋭の指揮者である大井駿を起用して、オーケストラ公演を行った。大井駿の友人でもあるピアニストの務川慧悟との、演奏機会の少ないチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番の初版での共演も話題を呼び、チケットは早々に完売となった。また、交響曲第6番の熱演にも喝さいが贈られた。</p> <p><b>【出演】</b> 大井駿（指揮）、務川慧悟（ピアノ）、読売日本交響楽団（管弦楽）</p> <p><b>【曲目】</b> チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op. 23（初版） チャイコフスキー：交響曲第6番 ロ短調 op. 74「悲愴」</p> <p>《ソリストアンコール》 チャイコフスキー：18の小品より 瞑想曲 op. 72-5</p> <p>◆ウェルカム・コンサート（開演前にステージ上で実施） 読響メンバーによる弦楽四重奏</p> <p><b>【出演】</b> 林悠介、石原悠企（ヴァイオリン）、鈴木康浩（ヴィオラ）、富岡廉太郎（チェロ）</p> <p><b>【曲目】</b> 弦楽四重奏曲第1番 ニ長調 op. 11 より 第2楽章、第4楽章</p> <p><b>【主催】</b> 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館</p> <p><b>【企画協力】</b> 東京オーケストラ事業協同組合</p>	
6	公演名	<b>Banksia Trio</b> 須川崇志、林正樹、石若駿	
	公演日	令和7年3月14日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 3,600円	
	入場者	186人【定員 198名】／完売 (93.9%)	

	事業内容	<p>当ホールの常連グループとなったジャズのピアノ・トリオ「Banksia Trio」公演を実施した。これまで土日の 16 時開演で開催してきたところ、今回は平日の 19 時開演にて実施したが、チケット販売に影響はみられず完売となり、例年通り幅広い年代が来場した。</p> <p><b>【出演】</b> 須川崇志（ベース）、林正樹（ピアノ）、石若駿（ドラム）</p> <p><b>【曲目】</b> Opening/Algospeak Suite/All living things/Verschieburg/ Stefano/Elephants knows it/Blues 0125 （すべてオリジナル）</p> <p>《アンコール》 Gui（坂本龍一）</p>	
7	公演名	<p>「中世の華・黄金のテンペラ画」展 ミュージアムコンサート 「マシヨールのノートルダム・ミサ」 ～グレゴリオ聖歌と 14 世紀ポリフォニーによる受胎告知のミサ形式による演奏会～</p>	
	公演日	令和 7 年 3 月 18 日（火）	
	会場	目黒区美術館 展示室 B	
	料金等	<p>[全席自由] 一般 3,000 円／学生 2,000 円</p>	
	入場者	69 人【定員 70 名】／完売 (98.5%)	
事業内容	<p>目黒区美術館との連携事業として、ミュージアムコンサートを開催した。展示内容に合わせて、古楽を専門とする声楽家グループ「ヴォーカル・アンサンブル・カペラ」を起用し、ギヨーム・ド・マシヨールの作品であるミサ曲を実際の典礼形式で演奏した。</p> <p>会場となる展示室に同展のメイン作品である《シモーネ・マルティーニ〈受胎告知〉》を映像投影することで、より展示とコンサートの内容に親和性が増し洗練された空間を演出することができた。</p> <p><b>【出演】</b> ヴォーカル・アンサンブル カペラ</p> <p><b>【曲目】</b> グレゴリオ聖歌：聖母のお告げの祝日のミサ固有唱 ギヨーム・ド・マシヨール：ノートルダム・ミサ</p>		

(2) 共催事業 (10事業 = 73公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	気になる三人かい・・・ 柳家三三・三遊亭兼好・春風亭一之輔	
	公演日	令和6年4月15日(月)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,800円 A席 3,300円	
	入場者	1,109人【定員1,200名】／完売 (92.4%)	
	事業内容	<p>夢空間主催による落語三人会の公演を開催した。 チケットは早々に完売し、人気の落語家によるパフォーマンスで会場が笑いに包まれるとともに、古典落語に酔いしれた公演となった。</p> <p><b>【出演・演目】</b> 柳家三三「妾馬」、三遊亭兼好「片棒」、春風亭一之輔「水屋の富」</p> <p><b>【主催】</b> 夢空間</p>	
1 ②	公演名	柳の家の三人会 柳亭市馬・柳家花緑・柳家喬太郎	
	公演日	令和6年8月27日(火)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,800円 A席 3,300円	
	入場者	976人【定員1,200名】 (81.3%)	
	事業内容	<p>夢空間主催による人気落語家3人の公演を開催した。 有名な古典落語の演目を三者三様に演じ、夏の夜の会場を大いに賑わせた。</p> <p><b>【出演・演目】</b> 柳亭市馬「船徳」、柳家花緑「目黒のさんま」、柳家喬太郎「首っつけ」</p> <p><b>【主催】</b> 夢空間</p>	

1 ③	公演名	三遊亭小遊三・林家たい平 二人会	
	公演日	令和6年11月15日(金)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 3,800円 A席 3,300円	
	入場者	1,080人【定員1,200名】 (90%)	
	事業内容	<p>夢空間主催による落語二人会の公演を開催した。 当代きっての名人と呼ばれる落語家二人の古典落語で、軽快な語り口を堪能した。</p> <p>【出演・演目】 三遊亭小遊三「たいこ腹」、林家たい平「らくだ」</p> <p>【主催】 夢空間</p>	
2 ①	公演名	鈴木秀美のヘンデル「デイダミーア」 プレトーク&コンサート	
	公演日	令和6年4月23日(火)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 1,000円	
	入場者	76人【定員200名】 (38%)	
	事業内容	<p>5月に開催する二期会ニューウェーブ・オペラ劇場「デイダミーア」のイベントを開催した。 前半は指揮者・鈴木秀美と演出家・中村蓉がバロック時代のオペラについて、今回の上演作品である「デイダミーア」や作曲者ヘンデルについて解説し、後半は本公演の出演者がデイダミーアの聴きどころとなるアリアを披露した。</p> <p>〈トーク篇〉 【出演】 鈴木秀美(指揮)、中村 蓉(演出)</p> <p>〈コンサート篇〉 【出演】 二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『デイダミーア』本キャストより 七澤 結・清水理沙(デイダミーア役)、栗本 萌・渡辺智美(アキッレ役)、 上尾直毅(チェンバロ)</p> <p>【主催】 公益財団法人東京二期会</p>	

2 ②	公演名	中村蓉のバロックと踊ろう！	
	公演日	令和6年5月20日(月)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 500円	
	入場者	参加者19人【定員20名】	
	事業内容	<p>二期会ニューウェーブ・オペラ劇場「デイダミーア」舞台設営日のホワイエを活用し、プレイメントとして、演出家・中村蓉によるダンスワークショップを開催した。</p> <p>小学生をはじめ、男女問わず幅広い年代の参加者がチェンバロの音楽に合わせて様々なテーマで体を動かし、最後は本公演で踊られる群舞の振付の一部を踊った。</p> <p><b>【主催】</b> 公益財団法人東京二期会</p>	
2 ③ ④	公演名	二期会ニューウェーブ・オペラ劇場 ヘンデル作曲「デイダミーア」	
	公演日	① 令和6年5月25日(土) ② 令和6年5月26日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	S席13,500円 A席10,000円 B席6,000円 車椅子席6,000円 学生(28歳未満)2,000円	
	入場者	① 801人【定員1,026名】(78.1%) ② 848人【定員1,026名】(82.7%)	
	事業内容	<p>「二期会ニューウェーブ・オペラ劇場」は古楽のスペシャリスト・鈴木秀美の指揮、二期会の若手歌手と古楽器の管弦楽による、3年に一度開催しているオペラ公演である。</p> <p>演出は前回に続き、舞踊家・振付家の中村蓉が担当し、躍動感あふれるステージとなった。</p> <p><b>【主催】</b> 公益財団法人東京二期会</p>	

3	公演名	八神純子 Live キミの街へ ～for all living things～	
	公演日	令和6年5月11日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 一般7,000円 小中学生1,000円	
	入場者	1,096人【定員1,200名】／完売 (91.3%)	
事業内容	<p>1970～80年代に圧倒的歌唱力で「みずいろの雨」、「パープルタウン」などのヒット曲を連発したシンガー・ソングライター八神純子のツアー公演を東京労音の主催で開催した。</p> <p>チケットはファンクラブ先行販売のあとに一般発売を行ったところ約1か月半で完売となった。バンド編成のライブで、しっとりと聴かせる曲から盛り上がりのある曲などバラエティに富んだプログラムで会場を沸かせた。</p> <p><b>【曲目】</b> みずいろの雨、パープルタウン ほか</p> <p><b>【主催】</b> 東京労音</p>		
4	公演名	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ10周年記念 目黒区民限定 公開練習	
	公演日	令和6年7月12日(金)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 入場無料(事前申込)	
	入場者	40人【定員50名】 (80%)	
事業内容	<p>「字幕実況解説付き公開リハーサル」と「本公演」の2部構成(有料)で行われるディスカバリー・シリーズの10周年を記念して、目黒区民限定で公開練習が行われた。</p> <p>指揮の大山平一郎が曲の説明をしながら練習が行われ、最後に観客から質問を受け、演奏者の曲に対する向き合い方など丁寧に答えていた。</p> <p><b>【出演】</b> 大山平一郎(指揮)、水谷晃、矢野玲子(ヴァイオリン)、田原綾子(ヴィオラ)、金子鈴太郎(チェロ)、山崎実(コントラバス) ほか</p> <p><b>【曲目】</b> エルガー：弦楽セレナード ホ短調 op.20 ドヴォルザーク：弦楽セレナード ホ長調 op.22</p> <p><b>【主催】</b> 一般社団法人 Music Dialogue</p>		

5 ① ②	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクール・パフォーマンス		
	公演日	① 令和6年8月20日(火) ② 令和6年8月21日(水)		
	会場	大ホール		
	料金等	[全席指定] 一般2,000円(中学生以下半額)		
	入場者	① 824人【定員1,200名】 (68.7%) ② 860人【定員1,200名】 (71.7%)		
事業内容	東京バレエ学校による公演を開催し、未来のダンサーたちによるフレッシュなステージを披露した。 第3部では「くるみ割り人形」より第2幕(抜粋)を上演した。 <b>【主催】</b> 公益財団法人日本舞台芸術振興会(めぐろバレエ祭り全イベントについて)			
5 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	公演名	第12回めぐろバレエ祭り ミミカハンドメイドプレゼンツ オーロラのバルーンスティック/クリームデコレーションのフォトフレームを作ろう!		
	公演日	令和6年8月20日(火) [バルーンスティック] ① 11時00分開始 ② 11時30分開始 ③ 12時00分開始 [フォトフレーム] ④ 13時30分開始 ⑤ 14時30分開始 ⑥ 15時30分開始		
	会場	小ホールホワイエ		
	料金等	[参加費] ・バルーンスティック 2,500円(5歳以上) ・フォトフレーム 3,000円(5歳以上)		
	入場者	①~③ 5人【定員各回20名】 ④~⑥ 41人【定員各回20名】		
	事業内容	バレリーナをモチーフにした「バルーンスティック」とクリームでデコレーションした「フォトフレーム」のグッズを手作りできるワークショップを開催した。		

5 ⑨	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団 Choreographic Project2024 上映会	
	公演日	令和6年8月20日(火) ① 13時10分開始 ② 11時30分開始 ③ 14時30分開始 ④ 16時00分開始	
	会場	① 小ホール ②～④ 小ホールホワイエ	
	料金等	入場無料	
	入場者	① 21人【定員90名】 (23.3%) ②～④ 33人【定員各回20名】	
	事業内容	東京バレエ団のダンサーたちが創作に取り組むChoreographic Projectとして2017年にスタートしたプログラム。これまでに上演してきた作品の中から振付を担当したダンサーたちが厳選した作品集を急遽上映することが決まり、入場無料となった。	
5 ⑩	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 【振替公演】東京バレエ団 Choreographic Project2024	
	公演日	令和6年8月22日(木)	
	会場	大ホール	
	料金等	【全席指定】5,500円	
	入場者	456人【定員1,200名】 (38%)	
	事業内容	東京バレエ団のダンサーたちが創作に取り組むChoreographic Projectとして2017年にスタートしたプログラムが、当初は東京バレエ団のスタジオでの開催を予定していたが、設備不具合に伴い中止となったため、急遽、めぐろバレエ祭りの期間に振替公演として開催した。	
5 ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	公演名	第12回めぐろバレエ祭り ぬり絵であそぼう！	
	公演日	① 令和6年8月21日(水) 13時00分開始 ② 令和6年8月22日(木) 13時00分開始 ③ 令和6年8月23日(金) 10時30分開始 ④ 令和6年8月23日(金) 13時30分開始 ⑤ 令和6年8月24日(土) 10時00分開始	
	会場	大ホールホワイエ、小ホールホワイエ	

	料金等	入場無料（4歳以上）		
	入場者	① 14人（延べ人数） ② 98人（延べ人数） ③ 115人（延べ人数） ④ 88人（延べ人数） ⑤ 60人（延べ人数）		
	事業内容	バレエ作品で有名な漫画家 榎村さとるが描きおろした絵のぬり絵コーナーを実施した。		
5 ⑬ ⑭ ⑮	公演名	<b>第12回めぐろバレエ祭り</b> ミニトウシューズにデコレーションしよう！		
	公演日	令和6年8月22日（木） ① 10時00分開始 ② 13時00分開始 ③ 16時00分開始		
	会場	小ホールホワイエ		
	料金等	[参加費] 2,700円（小学生対象）		
	入場者	① 32人【定員34名】 (94.1%) ② 33人【定員34名】 (97.1%) ③ 33人【定員34名】 (97.1%)		
	事業内容	ミニトウシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作した。		
5 ⑯ ⑰	公演名	<b>第12回めぐろバレエ祭り</b> 親子でミニトウシューズにデコレーションしよう！		
	公演日	令和6年8月22日（木） ① 11時30分開始 ② 14時30分開始		
	会場	小ホールホワイエ		
	料金等	[参加費] 5,400円（小学生とその保護者が対象）		
	入場者	① 20組40人【定員17組34名】／完売 (117.6%) ② 21組42人【定員17組34名】／完売 (123.5%)		
	事業内容	親子で一緒に楽しめるワークショップとして、ミニトウシューズにデコレーションして華やかなキーホルダーを製作した。		

5 ②①	公演名	第12回めぐろバレエ祭り footism プレゼンツ しなやかに、やわらかく	
	公演日	令和6年8月22日(木)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 2,000円 (特別支援学級へ通っている小学生等)	
	入場者	12人【定員8名】／完売 (150%)	
	事業内容	特別支援学級の小学生を対象にバレエの要素を入れながら体を動かすイベントを開催した。 講師は東京バレエ団の山下湧吾、山仁尚が務めた。	
5 ②② ②③	公演名	第12回めぐろバレエ祭り もっと上手に	
	公演日	① 令和6年8月22日(木) 13時00分開始 ② 令和6年8月22日(木) 14時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円 (バレエ歴1年以上で小学1～3年生)	
	入場者	① 35人【定員30名】／完売 (116.7%) ② 36人【定員30名】／完売 (120%)	
	事業内容	バレエ歴1年以上の小学1年生から3年生までを対象にした体験レッスンとして、東京バレエ学校の人気教師である坂井直子によるバレエの基礎を学べるレッスンを開催した。	
5 ②④	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校プレゼンツ ローズ・アダージオを踊ろう!	
	公演日	令和6年8月22日(木)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 6,500円(高校生以上、バレエ歴5年以上)	
	入場者	21人【定員20名】／完売 (105%)	
	事業内容	東京バレエ団の現役ダンサーたちをゲストに迎え、「眠れる森の美女」の名場面「ローズ・アダージオ」に挑戦した。	

5 ②⑤	公演名	第12回めぐろバレエ祭り ようこそ目黒へ！バレエ&ヴァイオリン コンサート from ウクライナ モーニング・ファミリーコンサート&ワー クショップ	
	公演日	令和6年8月22日(木)	
	会場	小ホール	
	料金等	大人 1,000円 子ども 500円(中学生以下)	
	入場者	59人【定員120名】 (49.2%)	
	事業内容	ウクライナ出身のバレリーナとヴァイオリニストによるコンサートとワー クショップを開催した。 <b>【出演】</b> セドヴォロシィ・ロマン(ヴァイオリン)、ダニロワ・アンナ(バレエ)	
5 ②⑥ ②⑦	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 東京音楽大学プレゼンツ 0歳から親子で楽しめるバレエ音楽コンサ ート ごきげんよう、プリンセス～音楽の 魔法にかけられて～	
	公演日	令和6年8月23日(金) ① 10時20分開始 ② 11時30分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 500円(6か月から小学6年生までと、その 保護者が対象)	
	入場者	① 102人【定員90名】/完売 (113.3%) ② 45人【定員90名】 (50%)	
	事業内容	0歳から小学生の親子を対象に東京音楽大学の学生が企画制作から演奏ま で行うバレエ音楽コンサートを開催した。 「くるみ割り人形」の楽曲を中心に、演奏を聴くだけでなく体を動かしながら 楽しめる親子向けのコンサートとなった。	

5 ⑳	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 大人のためのクラス勉強会	
	公演日	令和6年8月23日(金)	
	会場	小ホール	
	料金等	事前申込	
	入場者	参加者及び鑑賞者含めて144人	
	事業内容	事前オーディションによる参加者により「レ・シルフィード」を上演した。	
5 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ ねむれる森の美女	
	公演日	① 令和6年8月24日(土)11時30分開演 ② 令和6年8月24日(土)15時00分開演 ③ 令和6年8月25日(日)11時30分開演 ④ 令和6年8月25日(日)15時00分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席6,000円 A席5,000円 (中学生以下) S席3,000円 A席2,500円	
	入場者	① 1,075人【定員1,200名】 (89.6%) ② 1,098人【定員1,200名】 (91.5%) ③ 1,105人【定員1,200名】 (92.1%) ④ 1,134人【定員1,200名】 (94.5%)	
	事業内容	東京バレエ団による子どものためにアレンジした本格バレエ「ねむれる森の美女」を上演した。 親子での鑑賞はもちろんのこと、初めてバレエを鑑賞する大人やバレエファンも楽しめる人気公演として、多くの方にご来場いただいた。	
5 ㉕ ㉖	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 妖精さんになろう！	
	公演日	① 令和6年8月24日(土)9時30分開始 ② 令和6年8月24日(土)10時30分開始	
	会場	小ホール	

	料金等	[参加費] 2,000 円	
	入場者	① 23 組 46 人【定員 20 組 40 名】／完売 (115%) ② 24 組 48 人【定員 20 組 40 名】／完売 (120%)	
	事業内容	バレエが初めての3～6歳の子どもを対象に「眠れる森の美女」に登場する妖精の動きをピアノの生演奏に合わせて踊るレッスンを開催した。 講師は東京バレエ学校教師の片岡千尋が務めた。	
5 ③⑤	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 沖香菜子の「キトリ」レッスン	
	公演日	令和6年8月24日(土)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 5,000 円 (トウシューズ歴2年以上)	
	入場者	49人【定員36名】／完売 (136.1%)	
	事業内容	東京バレエ団のゲスト・プリンシパル沖香菜子による、トウシューズ歴2年以上の方を対象にした特別レッスンを開催し、「ドン・キホーテ」の“グラン・パ・ド・ドゥ”よりキトリのバリエーションに挑戦した。	
5 ③⑥	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 「バヤデルカ」の群舞を踊ろう！	
	公演日	令和6年8月24日(土)	
	会 場	小ホール	
	料金等	[参加費] 13,500 円 (18歳以上で、トウシューズ歴2年以上の女性)	
	入場者	65人【定員36名】／完売 (180.6%)	
	事業内容	めぐろバレエ祭りで大人気企画である大人のための群舞では、今回「バヤデルカ」より影の王国の群舞に挑戦し、使用したチュチュは記念品として持ち帰っていただいた。	

5 ③⑦	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 創立60周年記念トーク 「ザ・カブキ」を語ろう！	
	公演日	令和6年8月24日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 2,000円(小学生以上)	
	入場者	94人【定員90名】／完売 (104.4%)	
事業内容	東京バレエ団創立60周年記念として10月に上演する「ザ・カブキ」のトークイベントを開催した。		
5 ③⑧ ③⑨	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 親子でストレッチ	
	公演日	令和6年8月24日(土) ① 9時30分開始 ② 10時30分開始	
	会場	目黒区立八雲体育館	
	料金等	[参加費] 1,000円(3~6歳までとその保護者)	
	入場者	① 21人【定員20名】／完売 (105%) ② 29人【定員20名】／完売 (145%)	
事業内容	バレエの要素を取り入れた親子でできるストレッチを開催した。講師は東京バレエ団 セカンドソリストである安西くるみが担当した。		
5 ④⑩ ④①	公演名	第12回めぐろバレエ祭り バレエチャンネルプレゼント からだであそぼう だれでもダンス☆	
	公演日	令和6年8月25日(日) ① 11時45分開始 ② 15時20分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,000円(3~7歳)	
	入場者	① 48人【定員30名】／完売 (160%) ② 42人【定員30名】／完売 (140%)	
事業内容	振付家・ダンサーの田畑真希が講師を務め、からだを使って自由に表現する楽しさを体験できるワークショップを開催した。		

5 ④②	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 東京バレエ団ダンサーズ・トーク in めぐろ	
	公演日	令和6年8月25日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,500円(小学生以上)	
	入場者	116人【定員100名】/完売 (116%)	
	事業内容	東京バレエ団ダンサーによるトークイベントを開催し、ダンサーたちの生の声に触れられる貴重な機会となった。	
5 ④③ ④④	公演名	第12回めぐろバレエ祭り スーパーバレエMIX BON踊り	
	公演日	① 令和6年8月25日(日) 13時30分開始 ② 令和6年8月25日(日) 14時20分開始	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 無料(事前申込)	
	入場者	① 162人【定員180名】 (90%) ② 176人【定員180名】 (97.8%)	
	事業内容	東京バレエ団ファーストソリスト伝田陽美が講師となって参加者と共にバレエの動きを取り入れたBON踊りを開催し、お祭りのフィナーレを盛大に飾った。	
5 ④⑤	公演名	第12回めぐろバレエ祭り 公開レッスン	
	公演日	令和6年8月25日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[参加費]無料	
	入場者	450人【定員700名】 (64.3%)	
	事業内容	めぐろバレエ祭りのイベントの一つとして、一般社団法人日本バレエ団連盟が主催した公開レッスンでは、振付・指導に元シュツットガルト・バレエ団プリンシパルのローラン・フォーゲルを迎え、東京バレエ団のダンサーたちの貴重な本番前のレッスンを特別に無料公開した。	

5 ④	公演名	第12回めぐろバレエ祭り バレエ縁日	
	公演日	令和6年8月25日(日)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	[参加費] 300円～	
	入場者	1,796人(延べ人数)	
	事業内容	<p>「海賊の花輪投げ」、「サンチョパンサのボウリング」、「バレエ玉入れ」などバレエにちなんだゲームやワークショップなどの縁日を開催した。ゲームは当日だれでも参加でき、多くの方で賑わった。</p>	
6 ① ②	公演名	ザ・ピアノエラ 2024	
	公演日	① 令和6年11月23日(土・祝) ② 令和6年11月24日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[単日券] 8,800円(指定席) 8,300円(自由席) 13,800円(親子券・大人1名と中学生以下1名が入場可) [指定席2日通し券] 16,800円	
	入場者	① 412人【定員1,200名】 (34.4%) ② 597人【定員1,200名】 (49.8%)	
	事業内容	<p>初来日3組を含む計6組が国内外から集結し、ピアノ音楽の多様性を満喫できる2日間となった。 ピアノエラの独自性あるプログラムを心待ちにしている来場者も多く、2年ぶりの開催を大いに楽しむ様子が見られた。</p> <p><b>【出演】</b> 23日：バルモレイ(アメリカ)、ハナキフ(エストニア)、原摩利彦 feat. 坂本美雨(日本) 24日：カルロス・アギーレ(アルゼンチン)、ビュシュラ・カイクチャ(トルコ)、江崎文武(日本)</p> <p><b>【主催】</b> ザ・ピアノエラアソシエーション／一般社団法人スキヤキ・オフィス</p>	

7	公演名	CHINTAI クラシック・スペシャル ニーナ・アナニアシヴィリ芸術監督就任 20周年記念「くるみ割り人形（全2幕）」	
	公演日	令和6年12月22日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S S席 11,000円 S席 9,500円 A席 7,500円 B席 5,500円 ※ 区民はS・A席のみ500円引き	
	入場者	1,090人【定員1,200名】／完売 (90.8%)	
	事業内容	<p>ジョージア国立バレエによる「くるみ割り人形」を上演した。          クリスマスの時期に各地で上演されている人気の演目だが、ジョージア国立          バレエオリジナル版ということで衣裳や舞台装置などからもジョージアの趣          が感じられた。          また、幅広い年代の方にご来場いただき、ロマンティックなバレエの世界観          をお楽しみいただいた。</p> <p>【主催】          株式会社光藍社</p>	
8 ①   ⑨	公演名	ミュージカル「ミセン」	
	公演日	①令和7年2月6日（木） ②令和7年2月7日（金） 昼の部 ③令和7年2月7日（金） 夜の部 ④令和7年2月8日（土） 昼の部 ⑤令和7年2月8日（土） 夜の部 ⑥令和7年2月9日（日） ⑦令和7年2月10日（月） 昼の部 ⑧令和7年2月10日（月） 夜の部 ⑨令和7年2月11日（火・祝）	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] エグゼクティブシート 16,000円 S席 13,500円 A席 11,000円 U25 7,500円	
	入場者	①844人 【定員1,125人】 (75%) ②799人 【定員1,125人】 (71%) ③784人 【定員1,125人】 (69.7%) ④944人 【定員1,125人】 (83.9%) ⑤775人 【定員1,125人】 (68.9%) ⑥1,026人 【定員1,125人】 (91.2%)	

		⑦776人 【定員 1,125人】 (69%) ⑧832人 【定員 1,125人】 (74%) ⑨1,114人 【定員 1,125人】 (99%)	
	事業内容	株式会社ホリプロ主催で、韓国で大ヒットしたドラマ「未生-ミセン」を初のミュージカル化で上演した。 アフタートークなども多く、リピーター客が多く見られた。 照明演出など最先端の演出が数多く見られ、今後のミュージカル界の演出の可能性が広がるように感じられた。 また、千秋楽公演では、カーテンコールでスタンディングオベーションが起こるなど、来場者の満足度の高さがうかがえた。  <b>【主催】</b> ホリプロ	
9 ① ② ③ ④	公演名	鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン×杉本博司 with G. B. Piranesi モーツァルト作曲 オペラ 「ドン・ジョヴァンニ」	 <p style="text-align: right;">©K. Miura</p>
	公演日	① 令和7年2月20日(木) ② 令和7年2月21日(金) ③ 令和7年2月23日(日・祝) ④ 令和7年2月24日(月・休)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席指定] S席 25,000円 A席 21,000円 B席 17,000円 C席 11,000円	
	入場者	① 985人【定員 1,054名】/完売 (93.5%) ② 962人【定員 1,054名】/完売 (91.3%) ③ 1013人【定員 1,054名】/完売 (96.1%) ④ 1013人【定員 1,054名】/完売 (96.1%)	
	事業内容	改修工事中のBunkamuraが他ホールで行う「ORCHARD PRODUCE」シリーズとして、作年度に続いてモーツァルトのオペラ公演を開催した。鈴木優人(指揮)、バッハ・コレギウム・ジャパンの古楽器管弦楽による演奏で、作曲者モーツァルトの時代の音色を再現した。音楽と当ホールのサイズや音響の特性との相性も良く、国内外の実力派歌手の歌唱や演技は高く評価された。 演出はニューヨーク出身の演出家、飯塚励生が前回に続いて起用され、写真家・現代美術作家の杉本博司がモーツァルトと同時代の画家 G. B. ピラネージの作品を元に創出した世界観と音楽の融合性が、観客の大喝采を浴びた。  <b>【主催】</b> Bunkamura	

10 ①	公演名	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2024-2025 字幕実況解説付き 公開リハーサル	
	公演日	令和7年3月2日(日)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席自由] 一般2,500円 学生500円	
	入場者	60人【定員75名】 (80%)	
事業内容	<p>音楽家同士が「対話」を行いながら音楽を作り上げていく過程を、スクリーンに映される字幕実況の解説を見ながら鑑賞する内容で、来場者からは音楽家の曲に対する向き合い方等、多くの質問が寄せられた。</p> <p><b>【出演】</b> 上田晴子(ピアノ)、石上真由子(ヴァイオリン)、伊東真奈(ヴァイオリン)、中恵菜(ヴィオラ)、笹沼樹(チェロ)</p> <p><b>【曲目】</b> ショスタコーヴィチ：ピアノ五重奏曲ト短調 op. 57</p> <p><b>【主催】</b> 一般社団法人 Music Dialogue</p>		
10 ②	公演名	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2024-2025 3月本公演	
	公演日	令和7年3月5日(水)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 一般4,000円 学生2,000円	
	入場者	152人【定員200名】 (76%)	

	事業内容	<p>字幕実況付き公開リハーサルを経て行われる本公演で、演奏後に来場者から寄せられた質問に演奏者が答え、対話を行った。</p> <p><b>【出演】</b> 伊東真奈（ヴァイオリン）、枝並千花（ヴァイオリン）、中恵菜（ヴィオラ）、大山平一郎（ヴィオラ）、金子鈴太郎（チェロ） 上田晴子（ピアノ）、石上真由子（ヴァイオリン）、笹沼樹（チェロ）</p> <p><b>【曲目】</b> モーツァルト：弦楽五重奏曲 第4番ト短調 K.516 ショスタコーヴィチ：ピアノ五重奏曲ト短調 op.57</p> <p><b>【主催】</b> 一般社団法人 Music Dialogue</p>
--	------	--

## 2 地域の芸術文化・支援事業

### (1) 主催事業（2事業＝3公演）

No.	内容	
1	<p>公演名 第13回めぐろパーシモンホール 避難訓練コンサート</p> <p>公演日 令和6年4月27日（土）</p> <p>会場 大ホール</p> <p>料金等 [全席指定] 入場無料（事前申込）</p> <p>入場者 495人【定員600名】／予定枚数終了 (82.5%)</p>	
	<p>事業内容</p> <p>コンサートの途中で震度6弱の地震が発生したと想定し、来場者や出演者が避難する避難訓練コンサートを開催した。 当日は避難場所を区民キャンパス芝生広場に設定し、ホールスタッフの誘導により来場者全員と出演者が安全に避難することができた。 今年度は、警視庁音楽隊による演奏とカラーガードの華麗なフラッグ演技で、来場者の満足度が高いコンサート内容となった。</p> <p><b>【出演】</b> 警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード（MEC）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区</p> <p><b>【協力】</b> 目黒消防署、碑文谷警察署、東急電鉄株式会社</p>	

2 ①	公演名	未来の音シリーズ vol. 37 クアルテット・インテグラ 〈弦楽四重奏〉	
	公演日	令和6年9月22日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 2,800円	
	入場者	179人【定員200名】／完売 (89.5%)	
事業内容	<p>クアルテット・インテグラは、2022年にミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第2位および聴衆賞を受賞し、現在はアメリカを拠点に各国で演奏活動を行っている実力派弦楽四重奏団である。本公演でも弦楽四重奏曲の名作を熱演した。</p> <p><b>【出演】</b> クアルテット・インテグラ〈弦楽四重奏〉 三澤響果(第1ヴァイオリン)、菊野凜太郎(第2ヴァイオリン)、山本一輝(ヴィオラ)、パク・イエウン(チェロ)</p> <p><b>【曲目】</b> シューマン：弦楽四重奏曲 第3番 イ長調 op.41-3 ウェーベルン：弦楽四重奏のための5つの楽章 op.5 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 op.59-1 「ラズモフスキー第1番」</p> <p>《アンコール》 シューベルト：弦楽四重奏曲 第13番 D804 「ロザムンデ」より 第2楽章</p>		
2 ②	公演名	未来の音シリーズ vol. 38 鈴木愛美〈ピアノ〉	
	公演日	令和6年10月20日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 2,800円	
	入場者	178人【定員200名】／完売 (89%)	

	事業内容	<p>東京音楽大学大学院修士課程に在学中のピアニスト鈴木愛美が、音の美しさ と情感豊かな表現力で来場者を魅了した。</p> <p>当ホールでの公演直後に挑んだ浜松国際ピアノコンクールで、日本人初の第 1位及び室内楽賞、聴衆賞を受賞し話題を呼んだ。</p> <p><b>【曲目】</b></p> <p>シューベルト：高雅なワルツ集（12のレントラー） D 969 op. 77  フォーレ：ヴァルス＝カプリス 第2番 変ニ長調 op. 38  ラヴェル：高雅で感傷的なワルツ  シューベルト：ピアノ・ソナタ 第18番「幻想」ト長調 D 894 op. 78</p> <p>《アンコール》</p> <p>ショパン：黒鍵のエチュード op. 10-5 変ト長調  シューベルト：楽興の時 D 780-3 op. 94-3 ヘ短調</p>
--	------	---

(2) 共催事業 (16事業=18公演)

No.	内容		
1	公演名	目黒区東山オーケストラ 第 29 回定期演奏会 スプリングコンサート	
	公演日	令和 6 年 4 月 14 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	前後半で延べ 1,000 人【定員 1,054 名】 (94.9%) ※前舞台を使用した。	
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒区東山オーケストラ主催による定期演奏会を開催した。 ポップスからクラシックまで幅広い年齢層が楽しめる曲目で、会場全体の満足度が高い内容となった。</p> <p>【主催】 目黒区東山オーケストラ</p>		
2	公演名	目黒レクチャーコンサート邦楽 <small>きらら</small> 煌「尺八の魅力～古典から現代へ～」 <small>いま</small>	
	公演日	令和 6 年 5 月 18 日 (土)	
	会 場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	[全席自由] 一般 4,000 円 学生 1,000 円 親子ペア券(一般+小中高生) 5,000 円	
	入場者	105 人【定員 160 名】 (65.6%)	
事業内容	<p>主催者名が「東京インターアーツ目黒支部」から「邦楽研究会 芦垣」に変更した初めての公演だったが、より邦楽に特化した内容となった。 今回は尺八の魅力と題し、レクチャーを交えながら、尺八と箏、尺八とソプラノ、ピアノとの共演など、尺八の奥深さを伺い知ることができる内容だった。参加者のアンケートからも尺八への関心が高まったようだった。</p> <p>【主催】 邦楽研究会 芦垣</p>		

3 ①	公演名	伝承講演会 「雅楽」に親しむ	
	公演日	令和6年6月8日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000円	
	入場者	163人【定員160名】／完売 (101.9%)	
事業内容	<p>公益財団法人北野生涯教育振興会主催の伝統文化に親しむことを目的とした雅楽のミニ公演付きの講演会を開催した。</p> <p>雅楽に関する実演付きの説明に続き、舞台とホワイエを使って、舞や太鼓、笛等の体験コーナーが設けられ、多くの観客が参加した。</p> <p>【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p>【制作協力】 一般社団法人怜楽舎</p>		
3 ②	公演名	講演会 「小山豊 meets 島裕介～和 JAZZ」	
	公演日	令和6年9月14日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000円	
	入場者	167人【定員160名】／完売 (104.3%)	
事業内容	<p>和楽器とJAZZを融合させた音楽を「和 JAZZ」と称し、演奏活動を行っている和楽器奏者とジャズミュージシャンによる和楽器の講演会、ワークショップ(楽器体験コーナー)、コンサートを組み合わせた公演を開催した。</p> <p>体験コーナーでは多くの希望者が手を挙げ、演奏家とのセッションを楽しんでいた。</p> <p>【講師】 小山豊(津軽三味線)、島裕介(トランペット) 齋藤 純一(ギター)、大多和正樹(和太鼓)</p> <p>【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

4	公演名	第 81 回全国舞踊コンクール アンコール公演	
	公演日	令和 6 年 6 月 15 日 (土)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 2,600 円 当日券 2,900 円	
	入場者	1,066 人【定員 1,200 名】 (88.8%)	
事業内容	<p>東京新聞主催「第 81 回全国舞踊コンクール」の各部門上位入賞者がコンクール入賞演目を披露するアンコール公演を開催した。</p> <p>緊張感のあるコンクールとは対照的に、和やかな雰囲気の中、温かい拍手や歓声が送られた。</p> <p><b>【主催】</b> 東京新聞</p>		
5	公演名	第 71 回児童舞踊合同公演	
	公演日	令和 6 年 6 月 16 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 2,000 円	
	入場者	800 人【定員 1,200 名】 (66.7%)	
事業内容	<p>東京新聞主催の児童舞踊団体が小作品やテーマ作品を発表する合同公演を開催した。</p> <p>第 3 部では「桜の樹の下で」というテーマにちなんだ 6 作品が披露された。</p> <p><b>【主催】</b> 東京新聞</p>		
6	公演名	東京マンドリン宮田楽団 第 141 回定期演奏会	
	公演日	令和 6 年 7 月 6 日 (土)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席指定] 入場無料 (事前申込)	
	入場者	895 人【定員 1,200 名】 (74.6%)	

	事業内容	<p>東京マンドリン宮田楽団による第141回定期演奏会を開催した。 今年開催のパリオリンピック・パラリンピックにちなみ「オー・シャンゼリゼ」から演奏が始まり、そのほかにもマンドリンオリジナル曲、クラシック、ポピュラー、ラテンの幅広いジャンルのアレンジ曲を演奏し、会場を沸かせた。</p> <p><b>【曲目】</b> オー・シャンゼリゼ NHK大河ドラマ「光る君へ」メインテーマ 「カルメン組曲」 見上げてごらん夜空の星を（アンコール）ほか</p> <p><b>【主催】</b> 東京マンドリン宮田楽団</p>	
7	公演名	第22回パーシモンほたる祭り	
	公演日	令和6年7月15日（月・祝）	
	会場	大ホール、小ホール、めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者 6,000 人（ほたる観賞 2,000 人含む）	
	事業内容	<p>当館周辺の小学校、中学校、高等学校、町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による地域の夏祭りを開催した。</p> <p>小ホールでのほたる観賞では、事前申込の観賞整理券が昨年度は直ぐに配布終了となってしまったことから、より多くの方に楽しんでいただけるよう観賞時間枠を拡大し、申込方法も対面配布を多く設けるなど工夫を凝らした結果、当日の観賞内容も含め多くの方々から好評であった。</p> <p>また、屋内・屋外で開催されたその他のイベントも例年以上の盛り上がりを見せ、地域のお祭りとして賑わいのあるイベントとなった。</p> <p><b>【主催】</b> パーシモンほたる祭り実行委員会</p>	
8	公演名	創立70周年記念 第50回 目黒ユネスコ平和コンサート	
	公演日	令和6年10月13日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 一般 2,000 円、一般（同伴小学生 1 人まで） 2,000 円、中高生 1,000 円	
	入場者	196 人【定員 200 名】／完売（98%）	

	事業内容	<p>ヴァイオリン中島麻とピアノ鳥羽亜矢子によるデュオコンサートを開催した。わかりやすい選曲で、曲間には演奏者による曲目及び解説もあり、和やかなうちに演奏が進み、来場者からも大変好評だった。</p> <p><b>【出演】</b> 中島麻（ヴァイオリン）、鳥羽亜矢子（ピアノ）</p> <p><b>【主催】</b> 目黒ユネスコ協会</p>
9	公演名	第31回 めぐる童謡コンサート
	公演日	令和6年10月27日（日）
	会場	大ホール
	料金等	<p>[全席自由]</p> <p>前売券1,000円 当日券1,200円 障がい者1,000円 中学生以下無料</p>
	入場者	734人【定員1,200名】 (61.2%)
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する童謡の里めぐろ保存会による童謡コンサートを開催した。</p> <p>子どもから高齢者まで幅広い層に知られている曲目を中心に6つの団体が演奏を披露した。</p> <p>今回から新しい試みとして、コンサート開始時に「童謡の里めぐろの歌」を来場者全員で歌った。また、出演者全員が壇上に上がり「夕焼け小焼け」を披露する場面もあった。会場が一体となり、温かい雰囲気のまま幕を閉じた。</p> <p><b>【主催】</b> 童謡の里めぐろ保存会</p>	
10	公演名	目黒吹奏楽団 第42回定期演奏会
	公演日	令和6年11月10日（日）
	会場	大ホール
	料金等	<p>[全席指定]</p> <p>入場無料（事前申込）</p>
	入場者	892人【定員1,200名】 (74.3%)
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒吹奏楽団による定期演奏会を開催した。例年6月に開催しているが、今年度は11月ということで「芸術の秋、美しい時」をテーマに親しみ深い楽曲を中心に披露した。</p> <p><b>【主催】</b> 目黒吹奏楽団</p>	

11	公演名	目黒区民交響楽団 創立 50 周年記念 第 100 回定期演奏会	
	公演日	令和 6 年 12 月 15 日 (日)	
	会 場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 1,000 円	
	入場者	1,153 人【定員 1,200 名】／完売 (96.1%)	
事業内容	<p>めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒区民交響楽団主催によるオーケストラの演奏会を実施した。</p> <p>本公演は、目黒区民交響楽団の創立 50 周年記念第 100 回定期演奏会として開催され、満席に近い入場者数となった。</p> <p>ドヴォルザーク作曲 交響曲第 9 番「新世界より」をはじめとしたクラシックの有名曲が演奏され、多くの来場者にとって親しみが感じられ、目黒区民交響楽団の実力が発揮されるプログラムとなった。</p> <p><b>【主催】</b> 目黒区民交響楽団</p>		
12	公演名	第 79 回毎日映画コンクール 贈呈式	
	公演日	令和 7 年 2 月 13 日 (木)	
	会 場	大ホール・小ホール	
	料金等	入場無料 (関係者招待等・区民招待 200 名)	
	入場者	521 人【定員 1,200 名】 (43.4%)	
事業内容	<p>本事業は、日本の映画産業の振興に寄与し、映画の楽しさを広く伝えることを目的に毎日新聞社とスポーツニッポン新聞社によって創設された映画賞の授賞式である。</p> <p>毎年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに劇場で上映された映画を対象に、演技、作品だけではなく、撮影や美術、録音などのスタッフなど幅広い部門での受賞者が表彰された。</p> <p>今回から贈呈式終了後に受賞作を上演することになり、日本映画大賞を受賞した「夜明けのすべて」、大藤伸郎賞を受賞した「私は、私と、私が、私を」を上映した。実施後は、当ホールの名前が数多くのメディアに掲載、放送された。</p> <p><b>【主催】</b> 毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社</p>		

13	公演名	第22回めぐろクラシックセレクション 子ども福祉支援チャリティー 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	令和7年3月9日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	[全席自由] 一般2,000円 学生(小・中・高・大学生)1,000円	
	入場者	628人【定員1,200名】 (52.3%)	
	事業内容	めぐろパーシモン芸術文化ネットワークに属する目黒区クラシック音楽家協会主催によるコンサートを実施した。 手ごろな価格で本格的なクラシックコンサートを楽しめることから、様々な年代が来場し、フルートと声楽など、珍しい組み合わせでの演奏も楽しめた。 募金箱の設置を行い、募金額の全額が目黒区内の子ども食堂へ寄付された。  【主催】 目黒区クラシック音楽家協会	
14	公演名	北野財団混声合唱団 チャリティコンサート vol.7 行け、わが想いよ、わが歌よ	
	公演日	令和7年3月9日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	[全席指定] 1,000円	
	入場者	139人【定員147名】／完売 (94.5%)	
	事業内容	公募により集まった約40名の合唱団員が、半年間指導を受け、東日本大震災をきっかけに生まれた曲やオペラの名曲を演奏した。初めて挑んだロシア語の楽曲ではロシア人講師から発音指導を受けた。 チケット収入は能登半島地震・豪雨災害復興のため、主催者より全額寄付された。  【主催】 公益財団法人北野生涯教育振興会	
15 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート2025 ～0歳からの音楽会	
	公演日	令和7年3月22日(土) ① 11時開演 ② 14時30分開演	

	会 場	小ホール	
	料金等	[全席自由] 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円 ※ 3歳未満膝上無料	
	入場者	① 198 人【定員 200 名】 (99%) ② 182 人【定員 200 名】 (91%)	
	事業内容	<p>東京自由が丘ロータリークラブからの招待席もあり、会場は午前・午後ともに満席に近い状態だった。子どもから大人まで楽しめるプログラムで、会場は手拍子で盛り上がっていた。後半では子どもが実際に指揮を振りオーケストラを導く「指揮者体験コーナー」も開催し、子どもたちの嬉しそうな笑顔が印象的だった。</p> <p>オカリナ奏者の佐藤一美さんによる「となりのトトロ」では子供たちも盛り上がっていた。「プログラムが良かった」など多くの感想が寄せられた。</p> <p><b>【出演】</b> 稲田康（指揮）、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p><b>【ゲスト】</b> 佐藤一美（オカリナ）</p> <p><b>【地元協賛出演】</b> 自由ヶ丘学園高等学校吹奏楽部</p> <p><b>【主催】</b> 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団</p>	
16	公演名	第 82 回全国舞踊コンクール	
	公演日	令和 7 年 3 月 24 日（月） ～4 月 5 日（土）	
	会 場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	3,650 人（延べ人数）	
	事業内容	<p>東京新聞主催の日本における若手舞踊家の登竜門とされている全国舞踊コンクールを開催した。今年で 82 回目を迎え、バレエ、群舞、現代舞踊、児童舞踊、邦舞、創作舞踊 の計 6 部門に 697 組、1,136 人が出場し、予選・決選の様子は全国舞踊コンクールホームページにてライブ配信された。</p> <p><b>【主催】</b> 東京新聞</p>	

※ 中止した事業

12月に予定していた「身体で聴こう音楽会（主催：パイオニア株式会社）」は、主催者の意向により中止となった。

### 3 体験・普及事業（3事業＝43公演）

1 ①	公演名	子どものためのワークショップ 2024 演劇入門ワークショップ	
	公演日	令和6年6月9日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 1,500円	
	入場者	参加者34人【定員30名】予約受付終了	
事業内容	<p>日本を代表する劇作家・演出家の平田オリザによる中高生対象の1日完結型の演劇ワークショップ。例年、申込開始数日で定員に達する人気のワークショップで、今回も早々に参加者の定員に達した。</p> <p>ワークショップでは、簡単なコミュニケーションゲームから始まり、途中からは講師の脚本を元に自分たちでセリフを加えて芝居を創作した。最後に設けた講師への質問の時間には、演劇に関する多くの悩みやアドバイスを求める声が聞かれた。</p> <p><b>【対象者】</b> 中学生、高校生</p> <p><b>【講師】</b> 平田オリザ（劇作家、演出家）</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b> 有限会社アゴラ企画</p>		
1 ②	公演名	子どものためのワークショップ 2024 ダンスワークショップ	
	公演日	令和6年7月23日（火）～26日（金） ※ 最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	[参加費] 2,000円 [発表会] 入場無料	
	入場者	参加者24人【定員20名】予約受付終了 発表会44人	

	事業内容	<p>人気のダンスグループを主宰する近藤良平による4日間のダンスワークショップ。最終日に開催したミニ発表会では、講師が振付したダンスを見てもらうと同時に、参加者が自分たちで考えた動きや個性的な特技を披露した。</p> <p><b>【対象者】</b> 小学4年生から中学3年生まで</p> <p><b>【講師】</b> 近藤良平（コンドルズ主宰、振付家、ダンサー）、香取直登（コンドルズメンバー、ダンサー）</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>
1 ③	公演名	子どものためのワークショップ 2024 演劇ワークショップ
	公演日	令和6年7月23日（火）～27日（土） ※ 最終日が発表会
	会場	小ホール
	料金等	[参加費] 3,500円 [発表会] 入場無料
	入場者	参加者25人【定員20名】予約受付終了 発表会40人
	事業内容	<p>近年映像の分野での活躍も多い劇作家・演出家の大池容子による5日間の演劇ワークショップ。大池の脚本を元に、参加者がセリフや動きを考えて演劇作品を創作し、最終日に発表会を実施した。</p> <p>今年は平田オリザの『銀河鉄道の夜』（原作：宮沢賢治）とサン＝テグジュペリの『星の王子さま』を題材に大池が構成した脚本を元に、講師と共に参加者が話し合っって創り上げたオリジナル作品『銀河を旅立つ君たちへ』を上演した。</p> <p><b>【対象者】</b> 中学生、高校生</p> <p><b>【講師】</b> 大池容子（うさぎストライプ主宰、劇作家、演出家）</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b> 有限会社アゴラ企画</p>
		

	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年9月2日(月)	
	会場	目黒区立中目黒小学校 体育館	
	入場者	小学6年生66人	
2 ①	事業内容	<p>読売日本交響楽団メンバーによる金管五重奏で、アニメ映画の音楽をはじめクラシックの作品も紹介した。</p> <p>同校では金管バンドの活動がなく、児童が金管楽器に触れることがないとのことだったため、学校所有の楽器を使用し体験コーナーを実施したところ多くの児童が参加した。</p> <p><b>【出演】</b> 田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永重明(ホルン)、栗田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年9月11日(水)	
	会場	目黒区立宮前小学校 音楽室	
	入場者	小学4年生56人	
2 ②	事業内容	<p>ハーモニーやリズムなど音楽の要素を弦楽四重奏曲の作品から抜粋して紹介した。子どもたちとのやり取りも多く、子どもたちが楽しみながら参加している様子がうかがえた。</p> <p><b>【出演】</b> 北川千紗(ヴァイオリン)、枝並千花(ヴァイオリン)、菊田萌子(ヴィオラ)、加藤文枝(チェロ)</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b> 一般社団法人 Music Dialogue</p>	

2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年9月17日(火)	
	会場	目黒区立原町小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生 95人	
事業内容	<p>津軽三味線・尺八・和太鼓による独奏や合奏で古典曲から J-pop まで様々な曲を演奏した。</p> <p>全国各地の民謡を演奏したメドレーでは、曲に合わせて手拍子をしたり踊るなど、子どもたちが主体的に楽しむ様子が見られた。</p> <p><b>【出演】</b> 小山豊（津軽三味線小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年9月19日(木)	
	会場	目黒区立月光原小学校 ランチルーム	
	入場者	小学4年生 64人	
事業内容	<p>月光原小学校は今年創立90周年を迎えることから、学校名にちなんで「きらきら星変奏曲」や「月の光」などのプログラムを盛り込んだ。</p> <p>また、出演者持ち込みの楽器だけではなく学校の楽器を使用して演奏したほか、身体も楽器になることをボディーパーカッションの演奏で見せ、音楽をより身近に感じ、誰でも楽しめることを提示してくれた。</p> <p><b>【出演】</b> ぱんだウインドオーケストラ打楽器メンバー 金井麻理、金子泰士、日比彩湖、麻生弥絵</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		

2 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年9月26日(木)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校 体育館	
	入場者	小学5、6年生69人	
事業内容	<p>ヴァイオリンとピアノの人気作品をはじめ、ジャズ風の作品も紹介し、クラシック音楽の幅広さを紹介した。 楽器の説明や作品の説明もわかりやすく、子どもたちも集中して鑑賞していた。</p> <p><b>【出演】</b> 川久保賜紀(ヴァイオリン)、室井悠李(ピアノ)</p> <p><b>【共催】</b> NPO 法人子どもに音楽を</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年9月27日(金)	
	会場	目黒区立第十一中学校 体育館	
	入場者	中学1、2年生77人	
事業内容	<p>同校にとって5年ぶりの声楽のアウトリーチを、中学1、2年生合同で行った。6年度末で閉校し、7年度に第八中学校と統合することになっているため、第十一中学校としては最後のアウトリーチプログラムになった。 なお、合唱指導の曲は統合を見据え、第八中学校と同じ曲で行った。</p> <p><b>【出演】</b> 松原みなみ(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、水野彰子(ピアノ)</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b> NPO 法人日本声楽家協会</p>		

2 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年10月3日(木)	
	会場	目黒区立第八中学校 音楽室	
	入場者	中学2年生80人	
	事業内容	<p>3年連続して声楽の希望をいただき、毎回楽しんで聴いている様子が見えた。</p> <p>今回、コロナ禍と校内でのインフルエンザ流行等のため、行えなかった合唱指導を5年ぶりに行うことができ、より充実したアウトリーチプログラムになった。</p> <p><b>【出演】</b>        鶴木絵里 (ソプラノ)、小林大祐 (バリトン)、大野真由子 (ピアノ)</p> <p><b>【後援】</b>        目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b>        公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年10月8日(火)	
	会場	目黒区立上目黒小学校 音楽室	
	入場者	小学5、6年生102人	
	事業内容	<p>3年連続で声楽の希望をいただいた。昨年聴いている小学6年生も対象だったため、出演者と曲目が重複しないよう留意した。</p> <p>演奏だけでなく歌詞や曲の内容についての説明にも、子どもたちが真剣な表情で耳を傾けていた。</p> <p><b>【出演】</b>        湯浅桃子 (ソプラノ)、布施雅也 (テノール)、古川かりん (ピアノ)</p> <p><b>【後援】</b>        目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b>        公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b>        NPO法人日本声楽家協会</p>	

2 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年10月24日(木)	
	会場	目黒区立烏森小学校 体育館	
	入場者	小学4、5年生160人	
事業内容	<p>迫力ある金管サウンドを味わいつつ、各楽器をメインに据えた楽曲でそれぞれの特徴や音色を学べるプログラムとなった。</p> <p>トランペットとトロンボーン楽器体験では、持ち方や音の出し方を出演者から直接指導を受け、苦戦しながらも音を出すことができ、初めて楽器に触れる生徒たちにとって貴重な体験となった。</p> <p><b>【出演】</b> 原田照久(トランペット)、金子美保(トランペット)、根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年10月30日(水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	
	入場者	40人	
事業内容	<p>コロナ禍以降5年ぶりとなる特別養護老人ホーム中目黒でのアウトリーチを実施した。</p> <p>目黒区民交響楽団の弦楽メンバーによる協力の下、唱歌や昭和歌謡など、入所者になじみ深い曲が演奏され、多くの人が懐かしい曲のメロディに聴き入る様子が見られた。</p> <p><b>【出演】</b> 目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴァイオリン)、田口朝子(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、村上千香(司会)</p>		

2 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月6日(水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	
	入場者	110人	
事業内容	<p>昨年からアウトリーチを再開した特別養護老人ホーム東が丘では、多くの入所者に演奏を聴いてほしいという施設側からの希望により、演奏時間を短縮し、2回に分けて実施を行った。</p> <p>介護度の高い入所者も音楽に合わせて首を振るなど、演奏を聴いている様子が伺え、外出が難しい方へ生演奏を届けるという意義深い機会となった。</p> <p><b>【出演】</b> 目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴァイオリン)、田口朝子(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、山本紀子(司会)</p>		
2 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月8日(金)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東山	
	入場者	40人	
事業内容	<p>コロナ禍以降5年ぶりとなる特別養護老人ホーム東山でのアウトリーチを実施した。</p> <p>ホームの入所者だけでなく、デイサービス利用者も一緒に鑑賞し、配布した歌詞カードを見ながら声を合わせて歌うなどした。</p> <p>多くの参加者から笑顔が見られ、演奏を楽しんでいただくことができた。</p> <p><b>【出演】</b> 目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴァイオリン)、田口朝子(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、益光真理(司会)</p>		
2 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月8日(金)	
	会場	自由ヶ丘学園高等学校 音楽室	
	入場者	高校1、2年生50人	

	事業内容	<p>同校吹奏楽部では、熱帯JAZZ楽団の曲を練習しており、2年連続でワールドミュージックの希望を頂いている。</p> <p>熱帯JAZZ楽団が小・中学校で行うアウトリーチプログラムでは4人編成で行っているが、高校生向けはサックスを加えた5人編成で演奏し、より華やかなプログラムとなった。</p> <p>終演後に、出演者のまわりに集まって演奏のことなどについて熱心に質問をする姿が印象的であった。</p> <p><b>【出演】</b> 荒川“B”琢哉（コンガ）、岡本健太（パーカッション）、中村彩香（ピアノ）、岡本竜太（ベース）、Rio（バリトンサックス）</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月12日（火）	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園 遊戯室	
	入場者	4、5歳児 35人	
	事業内容	<p>同幼稚園は、隔年で打楽器トリオ Maicology によるプログラムを実施している。</p> <p>聴きなじみのある童謡やアニメの曲を中心に演奏し、子どもたちは手拍子や歌で参加しながら元気よく楽しんでいた。</p> <p><b>【出演】</b> Maicology（マイコロジー） 宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリユウ（マリンバ）、たっぺえ（パーカッション）</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月19日（火）	
	会場	目黒区立向原小学校 音楽室	
	入場者	小学5年生 58人	

	事業内容	<p>5年度の声楽アウトリーチを聴いた6年生が出演者の顔を覚えていて、廊下ですれ違った際「小林さんですよ」と声をかけていたのが、印象的だった。</p> <p>担当教諭からの「子どもたちの中に入って行って欲しい」という要望を受け、出演者が語り掛けるように、子どもたちに近づいて歌っていた。</p> <p><b>【出演】</b> 藤井冴（ソプラノ）、小林大祐（バリトン）、大野真由子（ピアノ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b> NPO法人日本声楽家協会</p>	
2 ①⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月20日（水）	
	会場	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	
	入場者	170人	
	事業内容	<p>コロナ禍以降、昨年度からアウトリーチプログラムを再開した東京医療センターでは、感染症対策に留意しつつ、弦楽四重奏のコンサートをエントランスロビーで開催した。</p> <p>東京音楽大学 ACT Project エリアコンサートチームから派遣された東京音楽大学の学生4名により、クラシックの名曲から映画音楽まで、幅広い曲目が演奏された。</p> <p>聴きなじみのあるメロディに足を止める方も多く見られ、東京医療センター職員からも好評をいただいた。</p> <p><b>【出演】</b> 東京音楽大学 ACT Project エリアコンサートチーム 安村直生喜（ヴァイオリン）、田中杏佳（ヴァイオリン）、佐藤杏樹（ヴィオラ）、堀内真名（チェロ）</p>	
2 ①⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月27日（水）	
	会場	目黒区立第七中学校 体育館	
	入場者	中学1年生 92人	

	事業内容	<p>同校でのアウトリーチプログラムは9年ぶりであったが、演奏はもちろん、ラテンジャズや楽器の説明に、生徒たちは熱心に耳を傾けていた。</p> <p>体験コーナーでは、あまり楽器に触ったことがないという生徒も積極的に参加してくれ、非常に有意義な機会となった。</p> <p><b>【出演】</b> 荒川“B”琢哉（パーカッション）、岡本健太（パーカッション）、畠山啓（ピアノ）、岡本竜太（ベース）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年11月28日（木）	
	会場	小ホール	
	入場者	目黒区心身障害者センターあいアイ館 利用者26人、職員19人	
	事業内容	<p>5年度に引き続き、打楽器トリオMaicologyにより、聴き馴染みのある童謡や、前回好評であった歌唱曲も演奏した。</p> <p>施設利用者の方々が身体を揺らしながら楽しんでいる様子が印象的だった。</p> <p><b>【出演】</b> Maicology（マイコロジー） 宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリュウ（マリンバ）、たっぺえ（パーカッション）</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑲	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月6日（金）	
	会場	目黒区立駒場小学校 体育館	
	入場者	小学6年生62人	

	事業内容	<p>同校では長年ワールドミュージックの希望を頂いている。 最初は遠慮がちだった生徒たちも、プログラムが進むにつれてラテンジャズの陽気なメロディーに合わせて身体を揺らして楽しんでいることが伺えた。</p> <p><b>【出演】</b> 荒川“B”琢哉（パーカッション）、岡本健太（パーカッション）、畠山啓（ピアノ）、岡本竜太（ベース）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月9日（月）	
	会場	目黒区立油面小学校 体育館	
	入場者	小学4年生95人	
	事業内容	<p>鑑賞対象となる小学4年生は音楽の授業で木管楽器を学ぶため、同校では毎年木管五重奏のアウトリーチを実施している。 授業を通じた学びの後に実際に生の演奏を聴き、楽器を間近に見る事でより深みのある学習へと繋げている。</p> <p><b>【出演】</b> ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 大久保祐奈（フルート）、藤本茉奈美（オーボエ）、春田傑（クラリネット）、濱地宗（ホルン）、皆神陽太（ファゴット）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月10日（火）	
	会場	目黒区立五本木小学校 体育館	
	入場者	小学4年生60人	

	事業内容	<p>音響が良いという理由で、担当教諭から体育館での開催希望があった。 対象が小学4年生のため、曲間の説明により時間をかけ、ドイツ語、イタリア語のあいさつや「ブラボー」の意味を説明するなど、子どもたちを飽きさせない工夫が随所にあった。</p> <p><b>【出演】</b> 荒牧小百合（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、古川かりん（ピアノ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p> <p><b>【協力】</b> NPO法人日本声楽家協会</p>	
2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月16日（月）	
	会場	目黒区立げっこうはらこども園 遊戯室	
	入場者	3～5歳児 59人（年齢別に実施）	
	事業内容	<p>児童の集中できる時間を考慮して、3歳児／4・5歳児と分けて異なるプログラムを開催した。</p> <p>なかでも園の鈴を借りて全員が体験する「そりすべり」は、3歳児では音楽に合わせて鈴を鳴らし、4・5歳児はそこからさらに強弱や止めの動作を入れて曲に合わせて変化を加えるなど、年齢に合わせたプログラムを考え、共に演奏を楽しむことができた。</p> <p><b>【出演】</b> ぱんだウインドオーケストラ打楽器メンバー 金子泰士、麻生弥絵、日比彩湖</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月19日（木）	
	会場	目黒日本大学中学校 体育館	
	入場者	中学2年生 109人	

	事業内容	<p>区内の私立中学校である同校にて、当ホールのアウトリーチプログラムには初出演の滝千春と斎藤龍によるコンサートを実施した。</p> <p>それぞれの独奏や近現代作品も交えた多様なプログラムを、留学時代からの友人同士である二人のトークを交えながらリラックスした雰囲気で行った。</p> <p><b>【出演】</b> 滝千春（ヴァイオリン）、斎藤龍（ピアノ）</p> <p><b>【共催】</b> NPO法人子どもに音楽を</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ②④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月19日（木）	
	会場	目黒区立第一中学校 音楽室	
	入場者	中学3年生 65人	
	事業内容	<p>中学生を対象としたプログラムでは金管楽器の紹介のほかに、オーケストラとアンサンブルの異なる部分について触れることで、演奏中に奏者たちがどの様に合図を出し合っているかなど、耳だけでなく目で見て音楽を鑑賞している姿があった。</p> <p>各楽器の特徴や音を聴く事で、アンサンブルになった時の響きの変化を感じることができ、普段と異なる感覚で鑑賞できたという感想もあった。</p> <p><b>【出演】</b> 原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ②⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和6年12月20日（金）	
	会場	目黒区立みどりがおか子ども園 遊戯室	
	入場者	3～5歳児 74人	

	事業内容	<p>クリスマス時期の開催のため、園のお楽しみ会の一つとしてアウトリーチプログラムを開催した。</p> <p>かわいらしい装飾が施された会場に登場した金管五重奏のサンタクロースたちが、クリスマスソングを中心に音楽のプレゼントを届けた。</p> <p>児童たちは演奏に合わせて手拍子をしたり歌ったりと笑顔のあふれる会となった。</p> <p><b>【出演】</b> 原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ②⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月14日（火）	
	会場	目黒区立鷹番小学校 音楽室	
	入場者	小学4年生73人	
	事業内容	<p>金管楽器の魅力や特徴を知ってもらうべく、未経験者を対象に楽器体験を実施したり、金管五重奏版にアレンジした校歌の伴奏に合わせて児童の皆さんに歌っていただくなど、鑑賞だけではなく自ら体験できるプログラムを盛り込むことで、生徒たちの記憶に残る学びと芸術文化との出会いの場を届けることができた。</p> <p><b>【出演】</b> 原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ②⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月17日（金）	
	会場	目黒区立中根小学校 体育館	
	入場者	小学6年生50人	

	事業内容	<p>エルガーの「朝の歌」と「夕べの歌」を名を伏せて演奏し、どちらが朝でどちらが夜に聞こえるか、というクイズ形式にするなど、子どもたちと対話しながら進行した。ピアノソロ曲も2曲入れ、ヴァイオリンとピアノそれぞれの特徴と魅力を紹介した。</p> <p><b>【出演】</b> 松田理奈（ヴァイオリン）、秋元孝介（ピアノ）</p> <p><b>【共催】</b> NPO法人子どもに音楽を</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月21日（火）	
	会場	目黒区立東根小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 124人	
	事業内容	<p>演奏にじっくりと耳を傾けつつも、出演者のお話や問いかけにも反応が良く、普段間近で見る機会の少ない木管楽器に興味を持って参加している姿が見受けられた。個々の楽器紹介では楽器の特徴以外にも奏者ならではのストーリーも交えながら、親しみの持てる解説が印象的であった。</p> <p><b>【出演】</b> ぱんだウインドオーケストラメンバー 林広真（フルート）、福井萌（クラリネット）、倉沢唯子（オーボエ）、皆神陽太（ファゴット）、小椋陽咲（ホルン）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月24日（金）	
	会場	目黒区立下目黒小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 90人	

	事業内容	<p>同校では長年ワールドミュージックの希望を頂いている。 今年度は60分間という長めのプログラムであったが、その分演奏だけでなく楽器体験や質問コーナーも丁寧に行うことが出来た。児童からも多くの手が挙がり、積極的に楽しんでいる様子うかがえた。</p> <p><b>【出演】</b> 荒川“B”琢哉（コンガ）、岡本健太（パーカッション）、畠山啓（ピアノ）、岡本竜太（ベース）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月28日（火）	
	会 場	目黒区立田道小学校 体育館	
	入場者	小学5年生 54人	
	事業内容	<p>昨年につき、同校にて邦楽アウトリーチを実施した。 津軽三味線によるじょんがら節や民謡メドレーでは、曲に合わせて手拍子を変化させるなど奏者と児童たちが一体となる楽しみ方ができた。演奏の合間の質問コーナーでは児童から積極的に手が挙がり、ひとつひとつの質問に対し、奏者が丁寧な回答をすることで邦楽器をより身近に感じられる時間となった。</p> <p><b>【出演】</b> 小山豊（津軽三味線小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③①	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月30日（木）	
	会 場	目黒区立東山小学校 多目的ホール	
	入場者	小学6年生 120人	

	事業内容	<p>同校での邦楽アウトリーチは4年ぶりの実施となった。 各奏者が楽器の成り立ちの時代背景を説明することで、日本の歴史のなかで音楽文化がどのように生まれ継承されているかを知る機会となった。 また、邦楽器がゲームやアニメの音楽にも使われているという話に興味を示す児童が多く、生活の中にも伝統的な楽器が存在していることに感心している様子であった。</p> <p><b>【出演】</b> 小山豊（津軽三味線小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③②	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年1月30日（木）	
	会場	目黒区立八雲小学校 体育館	
	入場者	小学4年生 70人	
	事業内容	<p>同校は金管バンドの活動が盛んな学校で、対象となる4年生は16人が所属している。学校側からの意向で校歌の演奏を歌の共演だけではなく、金管バンドとの共演の場にしたいとの申し出があり、鑑賞メインの時間と音楽を実際に創り上げる体験プログラムの時間を設けて実施した。初めての試みだったが、プロの奏者と共演できる貴重な時間となった。</p> <p><b>【出演】</b> 原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③③	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年2月3日（月）	
	会場	目黒区立不動小学校	
	入場者	小学5年生 122人	

	事業内容	<p>同校は生徒数が多いことから、2回に分けて木管五重奏のプログラムを実施した。曲毎の聴きどころや解説などが分かりやすく、初めて聴くクラシック曲でも興味を持って鑑賞できる内容となっていた。</p> <p><b>【出演】</b> ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 高橋なつ美（フルート）、照沼夢輝（クラリネット）、荒木良太（オーボエ）、皆神陽太（ファゴット）、堀口はるな（ホルン）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③④	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年2月7日（金）	
会場	目黒区立大岡山小学校 体育館		
入場者	小学6年生 120人		
事業内容	<p>学校側から強い要望があり昨年度に続き、今年度も弦楽四重奏のプログラムを実施した。音楽の構成要素であるメロディー、リズム、ハーモニーについて、様々な作品から抜粋して実際に聴いてもらい、子どもたちと対話しながらわかりやすく紹介した。</p> <p><b>【出演】</b> 北川千紗（ヴァイオリン）、菊川穂乃佳（ヴァイオリン）、中恵菜（ヴィオラ）、加藤文枝（チェロ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協力】</b> 一般社団法人 Music Dialogue</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>		
2 ③⑤	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年2月7日（金）	
	会場	目黒区立第十中学校	
	入場者	中学2年生 139人	

	事業内容	<p>同校の卒業生でもあるピアニスト白石光隆と、トロンボーン奏者の加藤直明による演奏を実施し、クラシックを中心にソウルミュージックや映画音楽などを交えたプログラムを披露した。</p> <p>【出演】 白石光隆（ピアノ）、加藤直明（トロンボーン）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③⑥	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年2月18日（火）	
	会場	目黒区立碑小学校 体育館	
	入場者	小学6年生 100人	
	事業内容	<p>同校では例年、邦楽でのアウトリーチ実施希望をいただいております。今年度も邦楽でアウトリーチを行った。演奏中は奏者の細かな動作に注目する児童が多く、楽器の説明では集中して話を聞いている様子が見受けられた。また、質問コーナーでは演奏方法や楽器の種類について質問する児童が目立った。</p> <p>【出演】 小山豊（津軽三味線小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）</p> <p>【後援】 目黒区教育委員会</p> <p>【協賛】 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③⑦	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年2月19日（水）	
	会場	目黒区立第九中学校 体育館	
	入場者	中学1年生 48人	

	事業内容	<p>第九中学校の体育館を開場として実施した。同校のプログラムでは各金管楽器の解説だけではなく、音が届くまでの仕組みや楽曲の歴史など、より音楽的な解説を行った。質問コーナーでは多くの手が挙がり、積極的な印象だった。同校では令和7年度の統合前最後のアウトリーチになるため、最後に校歌を3番まで演奏し生徒の皆さんと共演した。</p> <p><b>【出演】</b> 原田照久（トランペット）、金子美保（トランペット）、根本めぐみ（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③⑧	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年3月4日（火）	
	会場	目黒区立菅刈小学校 多目的室	
	入場者	小学5年生 55人	
	事業内容	<p>菅刈小学校の多目的室を会場として実施した。体育館での実施よりも、より間近で迫真の演奏を聴くことで、当初は落ち着かない様子だった子どももすぐに集中して聴き入っていた。プログラムの最後には子どもたちの合唱と共演した。</p> <p><b>【出演】</b> 郷古廉（ヴァイオリン）、秋元孝介（ピアノ）</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	
2 ③⑨	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和7年3月12日（水）	
	会場	都立目黒高等学校 視聴覚室	
	入場者	高校1年生 240人 (120人ずつ2回実施)	

	事業内容	<p>昨年度、小ホールでの室内楽公演にも出演したヴァイオリンの毛利文香とピアノの兼重稔宏によるアウトリーチプログラムを実施した。前衛的な近代作曲家の作品も取り上げたが、鑑賞の手掛かりとなる歴史的背景や作曲家について、演奏前に丁寧に説明した。</p> <p><b>【出演】</b> 毛利文香（ヴァイオリン）、兼重稔宏（ピアノ）</p> <p><b>【共催】</b> NPO 法人子どもに音楽を</p> <p><b>【後援】</b> 目黒区教育委員会</p> <p><b>【協賛】</b> 公益財団法人北野生涯教育振興会</p>
3 ① ②	<p>公演名</p> <p>公演日</p> <p>会場</p> <p>料金等</p> <p>入場者</p>	<p><b>大人の演劇ワークショップ《入門編》</b> <b>「ミニ演劇への招待」</b></p> <p>① 令和7年1月18日（土） ② 令和7年1月19日（日） ※ 1日完結2回開催</p> <p>中目黒 GT プラザホール</p> <p>参加費 3,000 円 （抽選・一部選考あり）</p> <p>① 15人【定員20名】 ② 17人【定員20名】 ※ 全体申込者数 60人</p> 
	事業内容	<p>18歳以上の大人を対象とした演劇入門編として、1日完結型のワークショップを開催した。これまで同ワークショップのファシリテーターを務めてきた劇団ままごとの柴幸男を講師に迎え、柴が教鞭をとる多摩美術大学の学生3名がアシスタントとして加わった。</p> <p>ワークショップは、現役で演劇を学ぶ学生たちが創作した一人芝居を参加者が鑑賞し、好きな作品を選んで自らが出演する演劇作品に創り上げ発表する内容となった。それぞれのチームは原作者である学生を中心に進行し、参加者は作品を見て気に入ったところなどを話し合いながら短い時間のなかで熱心に創作に取り組んでいた。参加者はもちろんのこと、アシスタントの学生にとっても年代の異なる人たちとの創作は初めてということで、双方にとって学びのある時間となった。</p> <p><b>【講師】</b> 柴幸男（劇作家、演出家、劇団ままごと主宰）、多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科の学生たち</p>

## 令和6年度めぐろパーシモンホールアウトリーチプログラム実績一覧

No.	月日	施設名	参加者	出演者
1	令和6年 9月2日(月)	中目黒小学校	6年生 66人	田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永重明(ホルン)、栗田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
2	9月11日(水)	宮前小学校	4年生 56人	北川千紗(ヴァイオリン)、枝並千花(ヴァイオリン)、菊田萌子(ヴィオラ)、加藤文枝(チェロ)
3	9月17日(火)	原町小学校	5、6年生 95人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
4	9月19日(木)	月光原小学校	4年生 64人	ぱんだウインドオーケストラ打楽器メンバー 金井麻理、金子泰士、日比彩湖、麻生弥絵
5	9月26日(木)	緑ヶ丘小学校	5、6年生 69人	川久保賜紀(ヴァイオリン)、室井悠李(ピアノ)
6	9月27日(金)	第十一中学校	1、2年生 77人	松原みなみ(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、水野彰子(ピアノ)
7	10月3日(木)	第八中学校	2年生 80人	鵜木絵里(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)
8	10月8日(火)	上目黒小学校	5、6年生 102人	湯浅桃子(ソプラノ)、布施雅也(テノール)、古川かりん(ピアノ)
9	10月24日(木)	烏森小学校	4、5年生 160人	原田照久(トランペット)、金子美保(トランペット)、根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
10	10月30日(水)	特別養護老人ホーム中目黒	40人	目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴァイオリン)、田口朝子(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、村上千香(司会)
11	11月6日(水)	特別養護老人ホーム東が丘	110人	目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴァイオリン)、田口朝子(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、山本紀子(司会)
12	11月8日(金)	特別養護老人ホーム東山	40人	目黒区民交響楽団弦楽メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴァイオリン)、田口朝子(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、益光真理(司会)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
13	11月8日(金)	自由ヶ丘学園 高校	1、2年生 50人	荒川“B”琢哉(コンガ)、岡本健太(パーカッション)、中村彩香(ピアノ)、岡本竜太(ベース)、Rio(バリトンサクソ)
14	11月12日(火)	ひがしやま幼 稚園	4、5歳児 35人	Maicology (マイコロジー) 宮本まいこ(スティールパン)、宮野下シリ ュウ(マリンバ)、たっぺえ(パーカッション)
15	11月19日(火)	向原小学校	5年生 58人	藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真 由子(ピアノ)
16	11月20日(水)	独立行政法人 国立病院機構 東京医療セン ター	170人	東京音楽大学 ACT Project エリアコンサ ートチーム 安村直生喜(ヴァイオリン)、田中杏佳(ヴ ァイオリン)、佐藤杏樹(ヴィオラ)、堀内真 名(チェロ)
17	11月27日(水)	第七中学校	1年生 92人	荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パー カッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)
18	11月28日(木)	心身障害者 センターあい アイ館	利用者 26人 職員 19人	Maicology (マイコロジー) 宮本まいこ(スティールパン)、宮野下シリ ュウ(マリンバ)、たっぺえ(パーカッション)
19	12月6日(金)	駒場小学校	6年生 62人	荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パー カッション)、畠山啓(ピアノ)、岡本竜太(ベース)
20	12月9日(月)	油面小学校	4年生 95人	ぱんだウインドオーケストラメンバーによ る木管五重奏 大久保祐奈(フルート)、藤本茉奈美(オーボ エ)、春田傑(クラリネット)、瀧地宗(ホルン)、皆 神陽太(ファゴット)
21	12月10日(火)	五本木小学校	4年生 60人	荒牧小百合(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、古川 かりん(ピアノ)
22	12月16日(月)	げっこうはら こども園	3~5歳 児 59人	ぱんだウインドオーケストラ打楽器メンバ ー 金子泰士、麻生弥絵、日々彩湖
23	12月19日(木)	目黒日本大学 中学校	2年生 109人	滝千春(ヴァイオリン)、斎藤龍(ピアノ)
24	12月19日(木)	第一中学校	3年生 65人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペッ ト)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボ ーン)、山崎勇太(チューバ)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
25	12月20日(金)	みどりがおかこども園	3~5歳児 74人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
26	令和7年 1月14日(火)	鷹番小学校	4年生 73人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
27	1月17日(金)	中根小学校	6年生 50人	松田理奈(ヴァイオリン)、秋元孝介(ピアノ)
28	1月21日(火)	東根小学校	5年生 124人	ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 林広真(フルート)、福井萌(クラリネット)、倉沢唯子(オーボエ)、皆神陽太(ファゴット)、小椋陽咲(ホルン)
29	1月24日(金)	下目黒小学校	5年生 90人	荒川“B”琢哉(パーカッション)、岡本健太(パーカッション)、中村彩香(ピアノ)、岡本竜太(ベース)、Rio(バリトンサックス)
30	1月28日(火)	田道小学校	5年生 54人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
31	1月30日(木)	東山小学校	6年生 120人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)
32	1月30日(木)	八雲小学校	4年生 70人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
33	2月3日(月)	不動小学校	5年生 122人	ぱんだウインドオーケストラメンバーによる木管五重奏 高橋なつ美(フルート)、照沼夢輝(クラリネット)、荒木良太(オーボエ)、皆神陽太(ファゴット)、堀口はるな(ホルン)
34	2月7日(金)	大岡山小学校	6年生 120人	北川千紗(ヴァイオリン)、菊川穂乃佳(ヴァイオリン)、中恵菜(ヴィオラ)、加藤文枝(チェロ)
35	2月7日(金)	第十中学校	2年生 139人	白石光隆(ピアノ)、加藤直明(トロンボーン)
36	2月18日(火)	碑小学校	6年生 100人	小山豊(津軽三味線小山流三代目)、小湊昭尚(尺八)、大多和正樹(和太鼓)

NO	月日	施設名	参加者	出演者
37	2月19日(水)	第九中学校	1年生 48人	原田照久(トランペット)、金子美保(トランペット)、根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
38	3月4日(火)	菅刈小学校	5年生 55人	郷古廉(ヴァイオリン)、秋元孝介(ピアノ)
39	3月12日(水)	都立目黒高校	1年生 240人	毛利文香(ヴァイオリン)、兼重稔宏(ピアノ)

[合計39施設 / 3,338人]

(小学校22校、中学校7校、高校2校、こども園2園、幼稚園1園、その他5施設)

## 4 芸術文化情報の収集と発信

主催事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、従来のめぐろ区報への情報掲載や区内施設へのチラシ発送などの広報活動に加え、情報紙の発行やSNS等、様々な媒体を活用しながら、利用者にとってより分かりやすい芸術文化関連情報の提供に努めた。

### (1) 自社媒体

#### ① 情報紙「アートレター」の発行

情報紙の紙面は、8ページ構成のカラーで年4回発行している。内容も公演情報だけではなく、出演者コメントや事業報告など企画記事を掲載し、公演の特色やホールの活動を分かりやすく紹介している。また、令和5年度から印刷費が増額したことにより新聞折り込み部数を減らし、区内小中学校・幼稚園などに全校配布（約14,000部・無料）を実施している。紙面構成では子ども向け公演の特集を組むなど、実際に手に取っていただく層を意識した記事作りを心掛けている。

#### <主な企画記事>

- 夏特集としてご家族で楽しめる公演やイベントをピックアップして掲載した。(VOL.88)
- 「めぐろで第九 2024」に出演する区民合唱団の練習の様子を伝えるレポートや、本番までの歩みを参加者のコメントを掲載しながら2号続けて紹介した。(VOL.89・90)
- 広報ボランティアが執筆した「フレッシュ名曲コンサート キャンペーン・イベント」の公演レポートを一部抜粋して掲載した。(VOL.90)

号数	発行日	発行部数	主な発送先 ※部数はVOL.91 発送時参考
VOL.88 夏号	令和6年7月7日	各号 80,000部	新聞折り込み: 59,000部 全校配布(小・中学校等): 13,698部 区内施設・近隣施設: 2,868部 関係者: 1,312部 希望者個人発送: 846部 プレス: 116部 区内各駅配架: 160部 施設内配架・挟み込み: 2,000部 合計: 80,000部
VOL.89 秋号	令和6年10月6日		
VOL.90 冬号	令和7年1月5日		
VOL.91 春号	令和7年3月16日		

#### ② ホームページ

ホールの情報を誰でも簡単に得られる媒体であるため、日々ホームページの改良・更新を意識しながら運用している。また、ホールの取組への興味や関心を喚起するため、シリーズ公演を紹介したアーカイブページやホール職員のブログ「柿の木日記」などのコンテンツも充実させている。

ホームページ 全体アクセス数 (ページビュー数及び表示回数)	
令和6年度	1,027,891 ※ 5年度より115,143件増
令和5年度	912,748 ※ 解析方法の変更により、前年度との比較は出来ない。
令和4年度	1,024,975 ※ 3年度より257,614件増

#### ③ SNS (X・Facebook・Instagram・YouTube 運用)

SNSを効果的に活用しながら事業の周知やホールのPRに繋げている。今年度よりあらかじめ投稿スケジュールを組み、計画的に運用している。そのため、投稿数も前年度より増加し、それに伴いフォロワー数も増えていることから、その効果も感じている。今後は、公演の雰囲気が伝わるような写真や動画をアップしつつ、投稿への反応なども分析しながら、より興味を引く投稿となるよう工夫していく。

ア SNS等推移

カッコ内は前年度からの増減数 ※限定公開：ワークショップなどの参加者限定公開

SNS等推移		令和6年度	令和5年度	令和4年度
X 旧:Twitter	フォロワー	1,593人 (+302)	1,291人 (+232)	1,059人 (+354)
	投稿数	447件 (+181)	266件 (▲105)	371件 (+159)
Facebook	フォロワー	822人 (+69)	753人 (+44)	709人 (+134)
	投稿数	161件 (+2)	159件 (-20)	179件 (+13)
Instagram	フォロワー	274人 (+210)	64人	—
	投稿数	29件 (▲6)	35件	—
	ストーリー	332件 (+231)	101件	—
YouTube	フォロワー	1,010人 (+121)	889人 (+185)	704人 (+485)
	投稿数	10本 ※ 限定公開 3本	10本 ※ 限定公開 1本	13本 ※ 限定公開 3本

イ YouTube 投稿内容

- 【三浦謙司 子どもとおとなのためのピアノ・リサイタル】(2024年12月公開)  
三浦謙司コメント動画：909回再生
- 【ばんだウインドオーケストラ】アーカイブ動画3本(2025年3月公開)  
アイルランド民謡(芳賀傑 編曲)ダニー・ボーイ：323回再生
- 【鈴木大介+大萩康司 ギター・デュオ】アーカイブ動画2本(2024年10月公開)  
武満徹(鈴木大介編) どですかでん/夢千代日記：1,416回再生

④ メールマガジン

チケット販売システムを活用し、登録者に対してホール情報を定期的に発信している。各事業のチケット発売に合わせて配信するほか、チケット購入者に絞った案内等を行った。

年度	実績
令和6年度	登録者数：9,144人(前年度より999人増) 配信件数：17件
令和5年度	登録者数：8,145人(前年度より1,107人増) 配信件数：21件
令和4年度	登録者数：7,038人(前年度より1,093人増) 配信件数：20件

(2) 他社媒体

① 都立大学駅前ポスター掲出

東急東横線 都立大学駅の改札を出て直ぐの柱にポスターを掲出できるよう通年契約している。主催・共催事業に関わらず、各事業のB2版のポスターを掲出し、駅利用者に対してホールの事業を周知した。

② 有料広告の実施

<p>●SNS 広告 (Instagram/Facebook)</p> <p>Instagram 広告表示</p>  <p>※年齢や地域、音楽愛好家などターゲットを絞って広く配信していることから、フォロワー数の増加にもつながっている。(配信期間内で 20 フォロワー程度増加)</p>	<p>ホールが運営する Instagram と Facebook にて SNS 広告を実施した。広告のクリック率は運用時の平均目標値とする 1% を超えており、数値結果からも反応が高かったことが窺える。</p> <p>【ぱんだウインドオーケストラ】          期間：令和 6 年 5 月 21 日～6 月 7 日 (18 日間)          結果：クリック数 4,787          クリック率 1.80% (クリック単価 19 円)          ※広告素材は画像以外にも出演者のメッセージ動画を掲載</p> <p>【フレッシュ名曲コンサート】          期間：令和 6 年 10 月 7 日～10 月 27 日 (20 日間)          結果：クリック数 2,854          クリック率 1.77% (クリック単価 31 円)</p>
<p>●音楽雑誌広告</p> <p>『ぶらあぼ』10 月号          (令和 6 年 9 月 18 日発行)          掲載事業：フレッシュ名曲コンサート、めぐろで第九 2024、室内楽公演等</p> 	<p>音楽愛好家に向けた広報として、クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』に広告を掲載した。</p> <p>【ぶらあぼ】          掲載号：10 月号、11 月号          枠：1C/1P</p> <p>広告については支出削減も兼ねて、職員が広告のデザインを作成している。          また、出稿サービスとして一部事業の公演紹介記事を掲載いただいている。</p>
<p>●新聞広告</p> <p>【朝日新聞】          令和 6 年 6 月 6 日 夕刊・半 5 段</p> 	<p>芸術文化に関心のある層に向けて事業を広範囲に周知することを目的に新聞広告を実施している。          出稿時期や回数はチケットの売り出し時期や売上状況などを踏まえて調整している。</p> <p>【朝日新聞】          令和 6 年 6 月 6 日 夕刊・半 5 段          掲載事業：ぱんだウインドオーケストラ (6/30 本番)          めぐろで第九 2024 (6/1 発売)</p> <p>※2公演共に投稿後1週間でチケットの売り上げが 100 枚程度伸びる結果となった。</p>

### ③ 無料記事掲載

ばんだウインドオーケストラの事業においては、他社媒体で公演情報を掲載いただくほか、出演者のインタビュー記事や共演した生徒たちの声を掲載いただくなど、様々な形で取り上げていただき、事業の周知に繋がった。

その他にも、ケーブルテレビのイッツコムに「避難訓練コンサート」や「めぐろで第九 2024」取材いただき「イッツコム地モトNEWS」にて放送された。

#### ア ばんだウインドオーケストラ事業の記事掲載内容

- 1 【スペシャル対談記事掲載】クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』2024年7月号
- 2 【公演情報掲載】読売新聞 2024年6月14日 TOKYO ウィークエンド
- 3 【共演した生徒の感想掲載】吹奏楽専門誌『バンドジャーナル』2024年9月号

#### ●クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』

令和6年7月号

がんばれ吹奏楽部！『ぶらあぼ プラス！』

発行日：令和6年6月18日

発行：株式会社 ぶらあぼホールディングス

ばんだウインドオーケストラのコンサートマスターを務める上野耕平とソリストとして出演するトランペット奏者・児玉隼人のスペシャル対談を『ぶらあぼ プラス！』の特集として掲載した。記事では二人の音楽を始めるきっかけや初共演となる公演への意気込みなどを語り事業への関心を広めるきっかけとなった。



#### ●吹奏楽専門誌『バンドジャーナル』

令和6年9月号

「ヤング・ピープル's VOICE！ Vol.3」

発行日：令和6年8月10日

発行：音楽之友社

小学生から大学生たちの吹奏楽に関する声を掲載する「ヤング・ピープル's VOICE！ Vol.3」にて本公演で共演した目黒区立第七中学校吹奏楽部員2名に感想を執筆していただき、掲載した。



## 第2 受託事業

### 1 芸術文化事業（定款第4条第1項第2号）

#### （1）受託事業（2事業＝15公演）

No.	内容		
1 ①   ⑫	公演名	第59回 目黒区文化祭	
	公演日	令和6年4月6日（土）～ 11月9日（土）	
	会場	大ホール、小ホール、美術館区民ギャラリー、目黒区民センターホール	
	料金等	入場無料	
	事業内容	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、第59回目黒区文化祭を開催した。	

#### 【内訳】

No.	公演日	公演名	施設名	来場者 (延べ人数)
①	令和6年 4月6日（土）	目黒五流合同謡曲大会	小ホール	84人
②	4月6日（土）、7日（日）	華道茶道展	美術館 区民ギャラリー	150人
③	4月17日（水）～21日（日）	自主グループ協会展	美術館 区民ギャラリー	492人
④	5月18日（土）	邦楽演奏会	小ホール	181人
⑤	6月9日（日）	民踊まつり	大ホール	517人
⑥	10月5日（土）	音楽祭	大ホール	530人
⑦	10月19日（土）	洋舞祭	大ホール	800人
⑧	10月20日（日）	民謡大会	目黒区民センター ホール	130人
⑨	10月26日（土）	日本舞踊大会	大ホール	422人
⑩	11月2日（土）	演劇祭	小ホール	145人
⑪	11月3日（日・祝）	吟剣詩舞道大会	小ホール	80人
⑫	11月9日（土）	合唱祭	大ホール	403人

[合計 3,934人]

No.	内容		
2 ①	公演名	めぐろオータムアート 2024 めぐろパーシモンホール×目黒区美術館 第12回音楽と美術のワークショップ 空間と音ー目黒区総合庁舎とめぐろパーシモンホールー	
	公演日	① 令和6年11月16日(土) ② 令和6年11月17日(日)	
	会場	① 16日(土) 目黒区総合庁舎 ② 17日(日) 小ホール	
	料金等	[参加費] 3,000円(材料費・保険料込み)	
	入場者	参加者11人(申込20人)【定員20名】	
事業内容	<p>作曲家であり演劇のフィールドでも活躍する額田大志をメイン講師に迎え、「空間と音」をテーマに、1日目は村野藤吾が建築した目黒区総合庁舎、2日目は目黒区の音楽ホールである当館を舞台に開催した。</p> <p>ワークショップでは、ゲスト講師陣を迎えて建築物の特徴や歴史を学びながら、異なる空間での音の聞こえ方の違いを参加者と一緒に体験し、空間を活かした音楽の届け方について考えながらパフォーマンスを創作して発表した。</p> <p><b>【講師】</b> 額田大志(作曲家・演出家)、秋岡陽(音楽史/フェリス女学院 学院長)</p> <p><b>【ゲスト】</b> 若原一貴(建築家/日本大学芸術学部教授)、渡邊智美(声楽家・俳優/メゾソプラノ)</p>		
2 ② ③	公演名	めぐろオータムアート 2024 旧前田家本邸洋館サロンコンサート～ギター	
	公演日	令和6年12月7日(土) ① 11時30分開演 ② 14時00分開演	
	会場	旧前田家本邸洋館	
	料金等	[全席自由] 1,000円	
	入場者	① 56人【定員60名】／完売(93.3%) ② 60人【定員60名】／完売(100%)	

	事業内容	<p>目黒区駒場公園内の旧前田家本邸洋館で、トークを交えた1時間のコンサートを実施した。</p> <p>毎回、会場の雰囲気に合わせて、今回はクラシックギターのコンサートを開催した。</p> <p>昨年度より定員を10名ずつ増やしたが、チケットを発売して開始15分程度で完売になった。</p> <p><b>【出演】</b> 徳永真一郎（ギター）</p> <p><b>【曲目】</b> F. モンポウ：歌と踊り 第10番 J.S. バッハ / D. ラッセル編： 《シュープラー・コラール集》より〈目覚めよ、と呼ぶ声あり〉 BWV645 F. シューベルト / J.K. メルツ編：セレナーデ、涙の讃美、郵便馬車 F. タレガ：アルハンブラの思い出 G. カサド：サルダーナ・キジアーナ、カタルーニャ伝説 カタルーニャ民謡 / M. リョベート編：聖母の御子 F. モンポウ：歌と踊り 第13番《鳥の歌》 J. トウリーナ：セビリャーナ</p>
--	------	--

## (2) 指定管理事業（1事業）

No.	内容		
1	公演名	めぐるで第九2024 (公演および合唱練習)	<p>公演</p>  <p>合唱練習</p> 
公演日	公演：令和6年12月1日（日） 合唱練習（全18回）： 令和6年8月31日（土）から 12月1日（日）まで		
会場	公演：大ホール 合唱練習：中目黒GTプラザホール、 小ホール他		
料金等	公演：[全席指定] S席4,000円 A席3,500円 学生1,000円 合唱団参加費： 一般20,000円、学生10,000円		

<p>入場者／ 参加者</p>	<p>公演：985人【定員1,033名】／完売 ※ 撮影席や見切れ席あり (95.4%)</p> <p>合唱団：120名（区民合唱団98名、東京音楽大学22名）</p>	
<p>事業内容</p>	<p>目黒区民を中心とした一般公募の合唱団とプロの指揮者、ソリスト、オーケストラの共演による「めぐろで第九2024」を開催した。</p> <p>一般公募の合唱団には中学生から70歳代まで年齢も合唱経験も異なる約100名が集まり、3か月間の練習を行った上、東京音楽大学の学生と共に本番に臨んだ。</p> <p>2008年から3年に1度開催してきた「めぐろで第九」であるが、今回初めて「第九」に興味を持つ若い世代の参加を促すため、全体練習開始前に中高生向けに特別練習を行った。</p> <p><b>【出演】</b>          出口大地（指揮）          高橋絵理（ソプラノ）、富岡明子（メゾソプラノ）          城宏憲（テノール）、宮本益光（バリトン）          東京フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）          公募によるめぐろで第九合唱団、東京音楽大学（合唱指導：浅井隆仁）</p> <p><b>【曲目】</b>          ペルト：フラトレス ～弦楽オーケストラとパーカッションのための          ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調「合唱付き」op.125</p> <p><b>【協賛】</b>          公益財団法人北野生涯教育振興会</p>	

## 2 施設貸与・管理事業

### (1) 施設の保守管理等

職員による日常点検、始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設及び設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、目黒区に報告し、情報の共有を図った。

平成14年9月20日にめぐろパーシモンホールが開館してから22年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は大ホールの舞台機構部品交換を行った。

その他の不具合は予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。

#### ① めぐろパーシモンホール

- ア 舞台機構保守点検
- イ 舞台照明保守点検
- ウ 開閉天井照明保守点検
- エ 舞台音響保守点検
- オ 客席椅子保守点検
- カ エレベーター・リフト保守点検
- キ スタインウェイピアノ保守点検
- ク ヤマハピアノ保守点検

#### ② 中目黒GTプラザホール

- ア 音響保守点検
- イ 照明保守点検
- ウ ヤマハピアノ保守点検

### (2) 危機管理体制

- ① 令和6年4月27日(土)第13回めぐろパーシモンホール避難訓練コンサートを大ホールで実施し、職員の安全管理意識や避難体制の対応等を高めることができた。
- ② 区民キャンパス全体の自衛消防訓練(年2回)に参加し、職員の防災意識を高めた。

### (3) 利用者サービス

- ① 貸館チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は33件の依頼があった(前年度は27件)。
- ② 大ホール・小ホールとも希望者には通常より1時間早い貸出を行った(合計59件、大ホールは39件、小ホールは20件/前年度は45件)
- ③ 大ホール・小ホールの通常の予約受付は利用日の14日前までとしているが、14日以内であっても実施可能な内容に限り、利用ができるように対応した(合計2件、大ホールは1件、小ホールは1件/前年度は4件)
- ④ チケットをインターネットから予約した際、チケットレス対応としてQRコードの提示で入場できる。
- ⑤ 貸館利用者からの提出物をメールでも受理できる。
- ⑥ 貸館利用者のアンケートの提出は、ホールのホームページから回答できる。
- ⑦ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化し、毎月開催した。
- ⑧ 利用者アンケートを実施する等、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。特に、施設利用料金やチケット料金の返金対応については丁寧な対応を行った。

⑨ 顧客満足度による評価

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
総件数	190件	248件	243件
評価	4.02	4.10	4.20

※ 施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの対応、施設及び設備の快適性等について、「良い(5点)」、「やや良い(4点)」、「普通(3点)」、「やや悪い(2点)」、「悪い(1点)」の5段階評価(5点満点)をしていただき、回答を集計している。

(4) 令和5年度に発生した消防設備点検時における事故への対応

①経過

令和5年9月6日、消防設備点検作業中に大ホール舞台上のスプリンクラーが作動し、放水したことにより舞台床及び周辺の機器等が水を被った。

令和5年11月6日から令和6年1月6日までのめぐろパーシモンホール工事休館中に、スプリンクラー設備復旧工事を実施し、消防署による検査でスプリンクラーには異常が無いことを確認し、現在は復旧している。

②被害状況等

舞台機構に係る操作卓の故障、東西幕ほか諸幕の水濡れ、舞台床の反り及び壁面の水しみ、舞台照明フロア回路の水没、照明操作卓の故障、備品の被害等を確認した。

③これまでの主な対応

令和5年12月：変色した国旗・区旗の代替品を作成した。

令和5年12月～令和6年3月：変色した所作台の研磨を実施した。

令和6年7～8月：水没した舞台奥の照明フロアコンセントと電線の交換を実施した。

④今後の対応等

令和7年9月：使用不可になった舞台機構用の操作卓が納品される予定

令和7年9月：変色した黒幕一式を交換する予定

令和7年11月～令和8年1月：カビ及び異臭発生の可能性のある舞台奥面及び奈落の壁のグラスウールの交換を行う予定

令和8年7月：変色した舞台面の研磨を行う予定

### 第3 その他事業 (定款第4条第1項第4号及び第4条第2項)

#### 1 めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの取組

めぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、当財団と共催して事業を行っている5団体(目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会)が、目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的として、平成23年10月に発足した。

例年、各団体の公演に際し相互に協力し、大ホールのホワイエにてネットワーク参加団体の紹介掲示を行うなど、集客促進にも寄与している。令和6年度は3回の会議を行い、当財団も含めた各団体の公演における未就学児来場者の対応、SNSの活用、開場前の列整理、長期にわたる工事等について活発に意見交換し、それぞれの運営の参考にするなど、当ネットワークならではの取組を行うことができた。

## 2 ホールの協賛等の運営

### (1) 賛助会

ホールの賛助会については、令和6年度は法人会員23社(27口)、個人会員24人(48口)で賛助会費684,000円の収入となり、5年度(法人会員17社20口、個人会員22人42口、賛助会費526,000円)より158,000円の増収となった。

### (2) 協賛

企業も芸術文化の担い手であり、参加の機会を提供することで、企業との協力関係を構築することができた。

#### ア 公益財団法人北野生涯教育振興会

ぱんだウインドオーケストラプラスで輝け◆未来に羽ばたけ!事業、子どものためのワークショップ事業及びアウトリーチプログラム事業、めぐろで第九2024事業に対して協賛として協賛金(4,000,000円)の支援をいただいた。

#### イ 昭和製菓(株) 自由が丘 蜂の家

桂文枝・春風亭小朝 新春東西落語名人会にて、来場者への配布のため協賛品としてお菓子をご提供いただいた。

### (3) 助成金

事業名(略称)	助成団体	助成金額
フレッシュ名曲コンサート	公益財団法人東京都歴史文化財団	2,956,690円

### (4) 情報紙「アートレター」における広告料収入

各企業からの広告料は812,000円(前年度比増減無し)であった。

## 3 地域と連携した事業

### (1) 顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進のため、ホールと商店街が連携する顧客サービスを平成21年度から、当初15店舗の協力で開始した。

この制度は「パーシモンチケ得マップ」に記載されている店舗等にて財団主催又は共催事業のチケットを提示することで、各店舗からサービスが得られるものである。

令和6年度は飲食店を中心に25店舗(令和5年度は26店舗)の協力を得られた。加盟店には、店頭加盟店シールを貼っていただくことでホール及び当事業の周知を図り、店舗内に公演チラシ等を配架していただくことで広報にも協力いただいている。

### (2) 広報ボランティア

令和6年度は5年度からの継続希望者に加え、新たな応募者を加えて24人(5年度は26人)が参加した。

令和5年度から情報紙の目黒区内小中学校、幼稚園、こども園への全校配布(年4回)を行うこととしたため、発送作業が活動の中心となった。併せて情報紙の配架場所の開拓、SNS投稿の拡散、ホール事業のロコミ宣伝、ホール公式ブログへの公演レポート執筆など、年間を通して個々の活動も行っていただいた。

### (3) 商店街との連携

都立大学商店街連合会より、同会を構成する店舗等の店主やオーナーを紹介する冊子「とりつじん」に掲載されているイラストパネル展開催の打診を受け、めぐろ区民キャンパス地

下1階プラザでの開催に協力した。また、過去7回の「とりつじん」の冊子を区民キャンパス内の情報コーナーに配架し、同会の広報に協力した。

#### 4 職場訪問等の受け入れ

##### (1) 学校の受け入れ

例年、区立中学校等の職場体験に協力している。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業、主催事業の広報活動としてチラシの送付作業などを体験してもらった。見学を希望する学校については、めぐろ区民キャンパス全体の施設見学を行った。

No	期間	団体名
1	令和6年 6月18日(火)～20日(木)	東山中学校(2人)
2	6月19日(水)～21日(金)	第一中学校(1人)
3	6月25日(火)～27日(木)	大鳥中学校(3人)
4	11月27日(水)～29日(金)	第十中学校(1人)
5	令和7年 1月15日(水)～17日(金)	目黒中央中学校(3人)
6	2月 6日(水)	私立トキワ松学園(3人)

##### (2) インターンの受け入れ

No	期間	団体名
1	令和6年6月25日(火)～ 8月4日(日) 【21日】	桜美林大学(1人)
2	7月22日(月)～ 8月6日(火) 【14日】	桜美林大学(1人)
3	7月31日(水)～ 11月24日(日) 【28日】	桜美林大学(1人)
4	9月3日(火)～ 9月17日(火) 【7日】	桜美林大学(1人)
5	12月2日(月)～ 令和7年1月19日(日) 【14日】	桜美林大学(1人)

#### 5 収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置(13台)での収入確保に努め、公益事業に活用している。

区分	令和6年度	令和5年度	増減
販売手数料収益	174,986円	141,680円	+33,306円
自動販売機設置収益	4,887,088円	4,597,122円	+289,966円

補足資料

1 利用実績

施設名	年度	全体			時間帯別利用率			曜日別利用率	
		予約可能コマ数(コマ)	利用コマ数(コマ)	利用率	午前	午後	夜間	平日	土・日祝日
大ホール	6	807	724	89.7%	95.3%	94.5%	80.0%	86.1%	95.3%
	5	727	638	87.8%	93.9%	94.3%	75.8%	83.2%	94.3%
小ホール	6	928	780	84.1%	85.5%	91.8%	75.0%	79.9%	91.0%
	5	775	659	85.0%	85.8%	94.0%	75.4%	81.3%	91.0%
リハーサル室 など諸室	6	6,219	4,539	73.0%	76.9%	76.4%	65.8%	70.5%	78.1%
	5	6,233	4,385	70.4%	73.3%	75.2%	62.7%	66.7%	77.7%
中目黒G T プラザホール	6	1,000	896	89.6%	80.9%	96.7%	90.9%	85.7%	96.8%
	5	1,010	901	89.2%	83.6%	97.1%	86.9%	86.6%	94.3%

※ 大ホールは、令和6年7月15日から8月12日まで計画工事のため休館した。

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒G T プラザホール		全施設合計	
	コマ数	割合	コマ数	割合	コマ数	割合	コマ数	割合	コマ数	割合
コンベンション	64	8.8%	123	15.8%	304	6.7%	140	15.6%	631	9.1%
クラシック	253	34.9%	375	48.1%	1,724	38.0%	383	42.7%	2,735	39.4%
ポピュラー	52	7.2%	46	5.9%	239	5.3%	19	2.1%	356	5.1%
演劇	2	0.3%	31	4.0%	125	2.8%	7	0.8%	165	2.4%
ミュージカル	56	7.7%	6	0.8%	140	3.1%	0	0.0%	202	2.9%
舞踊	241	33.3%	96	12.3%	1,242	27.4%	183	20.4%	1,762	25.4%
伝統芸能	18	2.5%	22	2.8%	72	1.6%	24	2.7%	136	2.0%
映像	5	0.7%	11	1.4%	7	0.2%	4	0.4%	27	0.4%
その他	33	4.6%	70	9.0%	686	15.1%	136	15.2%	925	13.3%
合計	724	100%	780	100%	4,539	100%	896	100%	6,939	100%
前年度合計	638	100%	659	100%	4,385	100%	901	100%	6,583	100%

### 3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		合計	
	コマ数	割合	コマ数	割合	コマ数	割合	コマ数	割合	コマ数	割合
一般利用区内	54	7.5%	160	20.5%	1,271	29.0%	154	17.2%	1,639	23.6%
一般利用区外	291	40.2%	305	39.1%	1,518	32.9%	403	45.0%	2,517	36.3%
芸文登録団体	18	2.5%	58	7.5%	404	7.8%	157	17.6%	637	9.2%
公的団体	37	5.1%	40	5.1%	47	1.0%	5	0.5%	129	1.9%
財団	242	33.4%	148	19.0%	983	22.1%	33	3.6%	1,406	20.2%
目黒区	82	11.3%	69	8.8%	316	7.2%	144	16.1%	611	8.8%
合計	724	100%	780	100%	4,539	100%	896	100%	6,939	100%
前年度合計	638	100%	659	100%	4,385	100%	901	100%	6,583	100%

※ 全利用可能コマ数に対する利用率

【大ホール】財団 30.0%、目黒区 10.2% 【小ホール】財団 15.9%、目黒区 7.4%

### 4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハーサル室 等諸室 利用者	中目黒GT プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計		入場者	関係者	計	
4	10,191	2,591	12,782	3,195	1,086	4,281	1,166	4,416	1,001	5,417	23,646
5	11,163	2,703	13,866	2,972	789	3,761	1,214	1,649	1,476	3,125	21,966
6	13,605	3,739	17,344	2,300	1,390	3,690	1,641	2,369	1,250	3,619	26,294
7	13,028	1,473	14,501	4,632	846	5,478	1,701	6,022	1,114	7,136	28,816
8	11,068	1,290	12,358	5,186	1,151	6,337	1,165	2,695	1,148	3,843	23,703
9	13,711	2,270	15,981	3,173	800	3,973	1,808	2,422	1,507	3,929	25,691
10	15,179	6,010	21,189	3,187	1,008	4,195	1,606	1,874	2,174	4,048	31,038
11	11,312	4,676	15,988	2,377	1,624	4,001	1,734	1,622	1,701	3,323	25,046
12	15,860	2,702	18,562	4,025	1,104	5,129	1,630	2,120	1,351	3,471	28,792
1	9,725	2,604	12,329	2,430	929	3,359	1,607	1,661	946	2,607	19,902
2	15,580	3,559	19,139	2,005	996	3,001	475	1,678	1,242	2,920	25,535
3	10,634	2,780	13,414	4,248	1,564	5,812	1,553	2,005	1,401	3,406	24,185
合計	151,056	36,397	187,453	39,730	13,287	53,017	17,300	30,533	16,311	46,844	304,614
前年度合計	129,549	33,161	162,710	33,123	10,894	44,017	16,835	27,822	14,117	41,939	265,501

5 利用料金収入実績

(単位：円)

年度	施設利用料	特殊器具利用料	合計
6	127,121,780	25,329,620	152,451,400
5	109,311,860	21,202,050	130,513,910

※利用料金収入実績は、収入日の年度により集計している。

6 利用料金還付実績

(単位：円)

区分	施設	特殊器具	合計	前年度合計
6年度納付分	6,750,475	0	6,750,475	【5年度】 9,086,920
5年度納付分	2,654,100	0	2,654,100	【4年度】 12,902,760
合計	9,404,575	0	9,404,575	21,989,680

7 施設利用料収益

年度	施設	特殊器具	合計
6年度	129,954,975円	25,329,620円	155,284,595円
5年度	101,232,530円	21,202,050円	122,434,580円

※施設利用料収益は、当該年度利用分により集計している。大ホールは令和6年7月16日から8月12日まで計画工事のため休館した。

8 施設見学会開催実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
開催回数	大ホール	2	2	2	2	0	2	2
	小ホール	2	2	2	2	2	2	2
参加人数		39	10	3	11	10	24	7

月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
開催回数	大ホール	2	1	2	0	2	19	(16)
	小ホール	2	2	2	2	2	24	(19)
参加人数		13	6	4	6	7	140	(58)

9 個別見学対応実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	10	10	7	2	14	6	23

開催月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
見学回数	22	9	15	9	14	141	(158)



		<p>対象・定員:どなたでも 参加者:①77人、②33人 内容:子育てや介護などで来館できない方々にも美術館を楽しんで頂く機会を提供する目的で始まったオンラインプログラムを実施した。 インスタライブを使用し、1回目は開館前の展示室から青山によるギャラリートツアーを、2回目はワークショップ室で青山の制作風景とインタビューを配信した。特に1回目のライブはこれまで開催したインスタライブの中で最大の視聴者数を記録した。 また、保存されたアーカイブは青山の制作風景の記録としても貴重である。</p>	 <p>インスタライブ実施風景 青山のミシン操作の手元が映されられ貴重な動画公開となる</p>
	3	<p><b>トークイベント「社会の襞に糸を通す」</b> 講師:小泉元宏(立教大学社会学部 教授) 聞き手:青山 悟 開催方法、定員:当日先着順、50名 開催日:5月6日(月・振休) 14:00~15:30 場所:目黒区美術館ワークショップ室 参加者:69人 内容:社会学が専門である講師が、布の襞の裏側に例えて、資本主義が席卷する現代において社会の見えづらい場所にいる弱者の存在を取り上げ、青山がテーマとする社会問題などを、美術とは異なる視点から分析した。青山の計らいで、タバコの吸い殻を模した作品を、会場の全員に回し手に取って触れてもらう機会も設けられた。 質疑応答は、参加者にハガキ大の紙を配布し回収するというラジオのお便り紹介の形式を借りた参加者を巻き込み楽しませる工夫がなされ、難解なテーマながら参加者が自身の問題として考えるきっかけが与えられた。</p>	 <p>トークイベント実施風景 ハガキに見立てた紙に書かれた参加者からの質問に答える</p>
	4	<p><b>大人のための美術カフェ</b> ナビゲーター:青山 悟、山田真規子(当館学芸員) 開催方法、定員:当日先着順、20名程度 開催日:5月19日(日)14:00~15:00 場所:目黒区美術館ワークショップ室 参加者:54人 内容:本展開催までの経緯を、青山と担当学芸員が振り返りながら対談した。一般の方が通常あまり知る機会のない、展覧会開催までのプロセスを、当事者が語る貴重な機会となった。 本展では、当館コレクションの絵画を青山が刺繍作品にしたものを展示した。このことに触れ、公立美術館のコレクションを今後どのように活用するか、今回のような事例を青山は「公立美術館のコレクションの再起動」と表現し、美術館の未来についても話が及んだ。</p>	 <p>美術カフェ実施風景</p>
	広報実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日新聞「社会や価値観 ミシン刺繍でチクリ」令和6年5月21日</li> <li>・日本経済新聞「刺繍＝労働で問う資本主義」令和6年5月21日</li> <li>・ウェブ版『美術手帖』『有識者が選ぶ2024年の展覧会ベスト3』令和6年12月19日</li> </ul>	
②	展覧会名	生誕130年 武井武雄展～幻想の世界へようこそ～	
	会期	令和6年7月6日(土)～8月25日(日) (44日間)	
	観覧料	<p>一般 900(700)円、大高生・65歳以上 700(550)円、中学生以下無料、( )内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示する</p>	
		 <p>展示風景(エントランス)</p>	

		と団体料金(他との併用不可)	
入館者		8,753人	
展示概要		<p>大正・昭和期に子どものための芸術、「童画」という呼称を広めた武井武雄の生誕130年を記念する展覧会を開催した。</p> <p>子どもの心に触れる絵〔童画〕、多様な技法で制作された〔版画〕、装丁や内容までを手掛けた総合芸術で「本の宝石」とも称される〔刊本作品〕を軸に、原画類やデザインの仕事等、多岐にわたる武井の幻想あふれる世界を紹介した。</p> <p>武井と日本童画会で志を共にした目黒ゆかりの作家、秋岡芳夫の童画作品の展示や、武井の関連人物を関連図にした「武井武雄のネットワーク」のバナー掲示は、巡回展である本展において、当館のみの展示として展開した。</p> <p>NHKEテレ「日曜美術館」での紹介もあり、幼少期に武井の作品に親しんだという往年のファンを含め、幅広い年齢層の多数の来館者が見られた。また、会期中に終戦記念日を迎えたが、戦中に子ども向けの国威発揚の作品制作に関わった事への反省から、平和への思いをこめて制作された戦後の作品は、人々の心に響いているようであった。</p>	 <p>展示風景(展示室 A)</p>  <p>展示風景(ロビー) 武井の関連人物を示した関連図の展示</p>
関連催事	1	<p><b>講演会「武井武雄の生涯と作品」</b>  講師:山岸吉郎(イルフ童画館館長)  開催方法、定員:当日先着順、50名  開催日:7月6日(土) 14:00~15:30  参加者:56人  場所:目黒区美術館ワークショップ室  内容:武井武雄作品を多数収蔵するイルフ童画館館長をお招きし、武井の生涯と作品について解説いただいた。武井の多彩な仕事ぶりや、作品が子どもに向けて届けられたその成果についてまで話が及び、参加者に武井を通して今日の社会について考えさせる契機を与える内容となった。</p>	 <p>講演会実施風景</p>
	2	<p><b>大人のための美術カフェ</b>  ナビゲーター:メグロアソビ冒険隊  重田正恵(当館学芸員)  開催方法、定員:当日先着順、20名  開催日:8月3日(土) 16:00~17:30  参加者:22人 ※オンラインは32件の「いいね」  場所:目黒区美術館ワークショップ室  ※オンライン(インスタグラム)でも同時配信  内容:武井武雄の刊本作品の魅力について、実物の本を手に取り、頁をめくりながら解説を行った。15センチ程度の小ささから、ディテールを遠くからでも確認できるよう、造本の仕様などをカメラで接写しながら解説した。さらに、その模様をオンラインでも配信し、来館できなくても参加できる開催形式とした。</p> <p>ケース越しでなく実物に近くで接することのできる生の体験と、オンラインにより広範にアクセスを可能とする今回の手法を、今後も試みていきたい。</p>	 <p>美術カフェ実施風景</p>
	3	<p><b>トークイベント「武井武雄のネットワーク」</b>  講師:軸原ヨウスケ(デザイナー、アウト・オブ・民藝)  中村祐太(アーティスト、アウト・オブ・民藝)  開催方法、定員:当日先着順、50名  開催日:8月24日(土) 15:00~16:30  場所:目黒区美術館ワークショップ室  参加者:103人</p>	

		<p>内容:本展目黒会場のみで掲示した「武井武雄のネットワーク」(アウト・オブ・民藝 武井武雄編)の相関図を制作したお二人をお招きし、武井の意外な人物の繋がりなどを横断的にお話いただいた。</p> <p>展示した相関図は来館者からの評価が高く、当日は多くの参加者を数えた。民藝は近年再評価されている分野だが、これを膨大な調査により、人間関係からひも解くというユニークな手法と、二人の軽妙なトークに、参加者は強く惹きつけられている様子であった。</p>	 <p>トークイベント実施風景</p>
	4	<p><b>武井武雄展関連特別展示とおはなし会</b>  <b>おかもとりよ イルフな時間</b>          講師:おかもとりよ          会場:目黒区民センター図書館 2階会議室          開催日:7月27日(土)10:00~18:00          おはなし会:①11:00~11:30 ②15:00~16:00          参加者:88人(プログラム全体)          おはなし会 ①19人 ②37人</p> <p>内容:目黒区民センター図書館との連携イベントとして、紙芝居師でもあり、刊本作品を中心に武井の作品を多数所蔵する講師のコレクションの書籍の閲覧と特別おはなし会を実施した。また、目黒区立図書館の武井に関する蔵書を集めたコーナーも設置し、貸出を行った。分野を横断して創作した武井の仕事を、美術館と図書館の二つの施設で共同して紹介できたことは有意義であった。</p>	 <p>おはなし会実施風景</p>
	広報実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・web 太陽「生誕 130 年武井武雄展幻想の世界へようこそ 目黒区美術館」(令和6年7月13日)</li> <li>・東京新聞連載(計2回、令和6年7月24日、7月31日)</li> <li>・朝日新聞(令和6年7月23日)</li> <li>・NHK E テレ「日曜美術館アートシーン」(令和6年7月28日放送)</li> </ul>	
③	展覧会名	<p><b>中世の華・黄金テンペラ画 —石原靖夫の復元模写</b>  <b>チェンニーノ・チェンニーニ『絵画術の書』を巡る旅</b></p>	 <p>展示風景(エントランス)</p>
	会 期	令和7年2月15日(土)~3月23日(日)(32日間)	
	観 覧 料	<p>一般 900(700)円、大高生・65 歳以上 700(550)円、中学生以下無料、( )内は 20 名以上の団体料金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方とその付添者1名は無料</li> <li>・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)</li> </ul>	 <p>展示風景(展示室 A)</p>
	入 館 者	9,077 人	
	展示概要	<p>テンペラ画は、中世の絵画技法で、顔料に卵黄を混ぜ合わせてつくった絵具で描かれる。中世イタリアでは、絵画は宗教とかわりが深く、絵に光を与え輝かせるために金箔と絵具を組み合わせた複雑な技法が生み出された。</p> <p>石原靖夫はこの古典技法を今に伝える日本を代表する画家である。目黒区美術館は 1992 年に、石原がイタリアで研究・制作した復元模写《受胎告知》(原画:シモーネ・マルティニ作《受胎告知》1333 年 / ウフィツィ美術館蔵)を展覧会で紹介して以来、石原によるテンペラ画のワークショップを7度開催してきた。また、14 世紀の画家チェンニーノ・チェンニーニ著の“Il Libro dell' Arte”は、フィレンツェの工房内で代々伝えられてきた絵画技法が記された歴史的文献で、その翻訳本『絵画術の書』(辻茂編訳、石原靖夫・望月一史訳)は石原の制作や上述した当館のワークショップでの重要な参考図書となっている。</p> <p>本展では、上記のワークショップ活動で得られた知見をもと</p>	 <p>展示風景(展示室 B)</p>

		<p>に、日本の美術館で展示される機会の少なかった卵黄テンペラ画の魅力とその技法に迫った。復元模写《受胎告知》とその制作に関する周辺資料を中心に、今回新たに制作した「工程見本」、同時に収録した手順の動画を展示し、『絵画術の書』が伝える技法を石原氏の研究に基づき、丁寧に紹介した。展示室では、黄金に光輝く大作の前でしばらく立ち止まる方や、制作工程や技法に関する資料を、時間をかけて熱心に鑑賞される来館者が多くみられた。開館以来、絵画技法の紹介に力を入れてきた当館の特徴のよく表れた展示内容となった。</p>	<p>石原によるテンペラ画の制作工程映像を本展のために作成し、上映した</p>
<p>関連催事</p>	<p>1</p>	<p><b>講演会「日本におけるテンペラ画—石原靖夫の復元模写を巡って」</b>  講師: 石原靖夫(美術家)  森田恒之(国立民族学博物館名誉教授)  開催方法、定員: 当日先着順、50名  開催日: 2月23日(日)14:00~16:00  参加者: 65人  場所: 目黒区美術館ワークショップ室  内容: 前半に、絵画組成・技法研究の第一人者、森田恒之氏に日本におけるテンペラ画技法研究の歴史が始まった1970年代当時の様子をレクチャーいただき、後半は石原靖夫氏を交えて、1978年の東京都美術館での復元模写の展示と公開講座についてなど、お二人に当時の様子を思い出しながらお話いただいた。普段なかなか聞くことのできない内容は、参加者から好評を博した。</p>	 <p>講演会の様子</p>
	<p>2</p>	<p><b>講演会「:チェンニーニの時代の支持体『羊皮紙』」</b>  講師: 八木健治(羊皮紙工房主宰)  開催方法、定員: 当日先着順、50名  開催日: 3月1日(土)14:00~16:00  参加者: 68人  場所: 目黒区美術館ワークショップ室  内容: 羊皮紙研究者であり、『羊皮紙をめぐる冒険』(本の雑誌社、2024年)をはじめとする書籍の著者でもある八木健治氏を講師に迎え、14世紀の画家チェンニーニ・チェンニーニの時代の絵画の支持体「羊皮紙」の歴史についてご講演いただいた。当時の流通や使われ方のほか、制作方法については、実演も交えながらお話いただき、その様子にくぎ付けになっている参加者の姿が印象的であった。また、講師持参の豊富な実物資料に触れることもでき、羊皮紙について深く学ぶ機会となった。</p>	 <p>講演会の様子</p>
	<p>3</p>	<p><b>講演会「中世イタリアの美術家工房—チェンニーニに聞く」</b>  講師: 望月一史(美術史家)  大宮伸介(美術史家、編集者)  石原靖夫(美術家)  開催方法、定員: 当日先着順、50名  開催日: 3月2日(日)14:00~16:00  場所: 目黒区美術館ワークショップ室  参加者: 70人  内容: 『絵画術の書』(辻茂編訳、岩波書店、1991年、2025年 岩波文庫で新刊)の翻訳者の一人、望月一史氏に、中世のイタリアにおける画家の社会的地位や、工房での親方と弟子の仕事、絵画制作についてなど、ご講演いただいた。後半は、石原氏と中世の絵画工房に思いを馳せながら、同時期にイタリアで学んだ両氏の、それぞれの留学時代の様子も伺った。</p>	 <p>講演会の様子</p>

	4	<p><b>講演会「青の話—『色の博物誌』より」</b>  講師: 降旗千賀子 (&amp;4+do)  開催方法、定員: 当日先着順、50名  開催日: 3月15日(土) 14:00~16:00  場所: 目黒区美術館ワークショップ室  参加者: 65人  内容: 当館が1992年より開催している展覧会「色の博物誌」シリーズを企画した元目黒区美術館学芸員を招き、シモーネ・マルティエーニ作《受胎告知》に使用されたラピスラズリの「青」を中心にご講演いただいた。同展の関連ワークショップでラピスラズリからウルトラマリンブルーを作った時のエピソードや、岩石だけでなく、植物由来の「青」の抽出方法やそれぞれの発色の違いなど、豊富な写真資料とともにお話いただき、「青」の色材のバリエーションを深く学ぶ機会となった。</p>	 <p>講演会の様子</p>
	5	<p><b>ミュージアムコンサート</b>  <b>「マジョーのノートルダム・ミサ」～グレゴリオ聖歌と14世紀ポリフォニーによる受胎告知のミサ形式による演奏会</b>  出演者: ヴォーカル・アンサンブル カペラ  開催方法、定員: チケット制、70名  開催日: 3月18日(火)  18:30 開場/19:00 開演(休憩なし、60分)  場所: 目黒区美術館 展示室 B  参加者: 69人  内容: めぐるパーシモンホールと目黒区美術館の共同企画。「中世の華・黄金テンペラ画」展の関連イベントとして、中世の教会をイメージしたミサ形式のミュージアムコンサートを開催した。古楽を専門とする声楽家グループ「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」が出演し、グレゴリオ聖歌をはじめ、1300年代のフランスの作曲家ギョーム・ド・マジョーのミサ曲を演奏した。来場者は、夜の展示室に響く、静謐な歌声に聴き入っている様子だった。</p>	 <p>コンサートの様子</p>
広報実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊美術「展覧会情報」令和7年2月19日</li> <li>・京都新聞「テンペラ 日本で開花」令和7年3月8日</li> <li>・東京新聞「古典技法 まばゆい輝き」令和7年3月11日</li> </ul>		

## 2 教育普及事業

### (1) ワークショップ夏【武井武雄ワンダーランド】

画材や素材への興味を引き出し、創造へとつなげていく内容や、知っているようで知らない、又は知る機会がない「美術」のあれこれを取り上げたセミナーやワークショップを開催した。

今年は、同時開催の「生誕130年武井武雄展 ～幻想の世界へようこそ～」に合わせて、武井の創造性豊かな世界を体験できる内容とした。

①	講座名	<b>ワークショップ</b> <b>【A】本づくりの鬼、武井武雄に学ぶ</b>	 <p>制作の様子</p>
	実施日時	令和6年8月12日(月・祝) 各日 10:30~16:00	
	講師	植村愛音(古本と手製本ヨソネ)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	中学生以上、事前申込制、20名	
	参加者	21人 (申込58人)	
	内容	製本や本の修理を手掛ける講師をお迎えし、実際の本づ	

		<p>くりを通して、武井武雄の「刊本作品」の魅力に触れるワークショップを開催した。</p> <p>武井がライフワークとした本の芸術作品「刊本作品」には、様々な素材が使用されて、詩文や絵だけでなく、装丁、函などのデザインも武井が手掛けている。参加者は、本展出品作の刊本作品 No.69『六つの窓』をヒントに、ページを糸で綴じるハードカバーの装丁方法を学びながら、思い思いの本を作った。</p> <p>手を用いて頁をめくり画面が展開していく本は、静止的に観賞する絵画とは異なる形状であり、これを実際に自身の手で制作することにより、武井作品の世界観を追体験できる内容となった。</p>	 <p>ワークショップ参加者作品</p>
②	講座名	<p><b>ワークショップ</b> <b>【B】ステキな紙で作る！TAKEO カルタ</b></p>	 <p>1 日目の様子 竹尾見本帖本店で紙を選ぶ</p>  <p>2 日目の様子 美術館でカルタを制作した</p>
	実施日時	<p>令和 6 年 8 月 17 日(土) 13:00～16:00、18 日(日)10:30～16:00 ※2 日間コース</p>	
	講師	メグロアソビ冒険隊	
	会場	<p>17 日(土):竹尾 見本帖本店 18 日(日):目黒区美術館ワークショップ室</p>	
	対象・定員	小学 1 年生以上大人まで、事前申込制、20 名	
	参加者	19 人(申込 32 人)	
	内容	<p>素材にこだわった武井武雄が(株)竹尾の紙を使用したことにちなみ、同社との連携イベントを実施した。</p> <p>1 日目に竹尾見本帖本店で紙の解説を聴き、2,700 枚の中から使用する紙を選定。2 日目は、美術館展示室で解説ツアー実施後に、選んだ紙を基にコラージュでカルタを制作した。読み札は紙を触った感想や展示室で作品を見た感想を一言で表現してもらい、その言葉をくじ引きして、ランダムに文章を作った。</p> <p>このような連携により、企業は自社製品の PR となり、美術館を介した参加者は、子どもから大人までプロ仕様の紙の質の高さや多様性に触れ、素材への興味を高めることができた。</p> <p>紙という素材と言葉を駆使し、自由な発想で幅広い年齢層の参加者が交流しながら一緒に楽しみ、完成した作品はワークショップ室で1週間展示した。</p>	
③	講座名	<b>画材の実験室</b>	 <p>vari-type 編 カーボン紙を使った版画</p>
	実施日時	<p>① vari-type 編 令和 6 年 7 月 13 日(土)～21 日(日) 14:00～17:00</p> <p>② 武井武雄手芸図案編 令和 6 年 7 月 23 日(火)～27 日(土) 14:00～17:00</p>	
	講師	目黒区美術館学芸員他	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	<p>延べ 357 人 7 月 13 日:31 人、14 日: 44 人、15 日: 44 人、17 日:12 人、 18 日:28 人、19 日:14 人、20 日:26 人、21 日:32 人、 23 日:23 人、24 日:25 人、25 日:20 人、26 日:14 人、 27 日:44 人</p>	
	内容	<p>当館のオリジナル教材「画材と素材の引き出し博物館」を見ながら、作品を支える画材や支持体がどのようにできているか、どんな使い方ができるか、実際に試してその特性や魅力を探るミニ講座「画材の実験室」を、好評につき「武井武雄」展に合わせた内容で実施した。</p>	

		<p>前半の7日間は、武井が考案した版画技法「vari-type」を、カーボン紙など身近な素材を使って体験した。後半の5日間は、1928年に刊行された『武井武雄手藝図案集』の図案を用いて、刺繍や塗り絵などの創作を通して、図案の魅力に触れるコースとした。</p> <p>短時間で少し試す程度の方もいれば、時間をかけ仕上げる方も見られた。来館者が誰でも当日気軽に立ち寄れ、自分のペースで創作できる自由度の高いプログラムであることから、今回も多数の参加者を数え、リピーターも増加してきた。</p> <p>創作の追体験によりより展示作品を深く理解できる内容でありながら、多忙な現代人の行動様式に適合したプログラムとして、今後も継続していきたい。</p>	 <p>武井武雄手芸図案編 実際に刺繍をした</p>
④	講座名	オンラインで美術館 「うちんち！ぺちやくちやミュージアム」	 <p>大人のための美術カフェ編</p>  <p>ギャラリーツアー編</p>
	実施日時	令和6年8月3日(土) ①16:00～17:00 大人のための美術カフェ編 ②18:00～18:30 ギャラリーツアー編	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊、重田正恵(当館学芸員)	
	実施方法	①②ともにオンライン(インスタグラム使用) ※①のみ目黒区美術館ワークショップ室も会場とした。	
	参加者	①「いいね」32件、②「いいね」33件	
	内容	<p>子育てや介護などで出かけることが難しい方向けに発案されたオンラインのギャラリーツアー。インスタライブで配信を行った。</p> <p>1回目は大人のための美術カフェとの同時開催とし、武井武雄刊本作品を鑑賞した。</p> <p>2回目は、「武井武雄」展の観賞を配信した。閉館後の展示室を中継し、参加者が家にいながらにして美術館を楽しめる内容とした。短時間のプログラムだが、作品の接写により、視聴者は作品の細かな部分まで観ることができ、好評であった。</p> <p>コロナ禍以降導入したオンラインプログラムについて、対面プログラムと並行しながら、双方の特性を活かした運営を継続していきたい。</p>	
⑤	講座名	ミニコンサート 「トイピアノと朗読で楽しむ武井武雄の世界」	 <p>演奏の様子</p>
	実施日時	令和6年7月28日(日)14:00～14:40	
	ナビゲーター	朗読:村井美樹(俳優・タレント) トイピアノ演奏:寒川晶子(ピアニスト)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	定員	事前申込制、50名程度	
	参加者	59人(申込105人)	
	内容	<p>武井武雄作品の愛好者である村井美樹による詩の朗読と、武井作品から得たインスピレーションを元に楽曲を制作した寒川晶子によるトイピアノ等の演奏によるミニコンサートを開催した。</p> <p>武井作品の幻想的な世界を味わう内容となった。演奏の合間には、武井作品にまつわる両氏のトークもあり、充実した内容となった。</p> <p>絵画と本という異なる分野を横断した武井の仕事を反映し、絵画、詩、そしてこれをさらに音楽に繋げていくという、広がりのある豊かなプログラムとなり、より広範な関心を持つ来館者の掘り起こしにもつながった。</p>	

## (2) ワークショップ春【古典技法への旅】

画材や素材への興味を引き出し、同時期開催で扱う「中世の華・黄金テンペラ画」展の技法に着目したワークショップを中心に開催した。

①	講座名	ファミリーワークショップ ひらめけ☆みんなのトイパーク！	 <p>最後の「トイ・ポーズ！」の様子</p>
	実施日時	令和7年2月16日(日) 13:30～16:00	
	講師	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	4歳以上の子どもと保護者(2名1組)、事前申込制、8組	
	参加者	8組(申込14組)	
	内容	当館トイコレクションを使用した親子向けワークショップ。親子でチームを作り、ゲーム形式の4つのプログラムを楽しんだ。最後はトイで人型を作り記念撮影を行った。ゲームを通してコロナ禍以降、課題となっていた他の家族との積極的な交流が見られ、それぞれの家族が楽しむ様子が印象的だった。	
②	講座名	ワークショップ 【A:入門編】羊皮紙に描く卵黄テンペラ画	 <p>テンペラ絵具で彩色を行う様子</p>
	実施日時	令和7年①2月24日(月・休)、②3月20日(木・祝) 各日10:30～17:00	
	講師	黒田益代(中世絵画工房 FOND'ORO)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上、事前申込制、各日20名	
	参加者	①19人(申込65人)、②21人(申込220人)	
	内容	5cm角程度の羊皮紙に、中世の写本から採ったモチーフで、アシーゾと呼ばれる盛り上げ金箔装飾から彩色までを行うワークショップを実施した。画材の展示を観るギャラリートourの時間を取り、取り扱う技法について講師から詳しい解説を受け、参加者は真剣に聞き入っていた。入門編だからこそ、本物の材料に触れてほしいという講師の思いで、貴重な顔料なども使用し、金箔が輝く美しい板絵が完成した。	
③	講座名	ワークショップ 【B:上級編】『絵画術の書』から学ぶ卵黄テンペラ画	 <p>講師の手本に見入る参加者の様子</p>
	実施日時	令和7年3月9日(日)、16日(日)、23日(日) (全3日間) 各日10:30～17:00	
	講師	石原靖夫(美術家)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上、事前申込制、18名	
	参加者	19人(申込55人)	
	内容	本格的な板絵テンペラ画を3日間かけて制作するワークショップを実施した。石膏下地の整えから金箔装飾、彩色までのプログラムにじっくり取り組んだ。上級編ということで、絵画制作の経験がある参加者ばかりであったが、テンペラ技法を学ぶ機会自体が貴重なため、講師からの直接指導を熱心に受けている様子が印象的だった。制作に真摯に向き合う充実した3日間の講座となった。	
④	講座名	ワークショップ 【C】カオカオ“聖人”あらわる！	

	実施日時	令和7年3月22日(土)10:30~16:30	 <p>発表の様子</p>
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊	
	会場	目黒区美術館展示室、ワークショップ室	
	対象・定員	新小学1年生以上、事前申込制、25名	
	参加者	24人(申込28人)	
	内容	“カオカオ聖人”は、顔を真っ白に塗ると現れるもう一人の自分」をコンセプトに、参加者が展示室にある宗教画に囲まれ“聖人”になり、思い切り目黒区美術館をあそぶワークショップを実施した。展覧会場で《受胎告知》の復元模写をじっくり鑑賞し、描かれた人物や鳥、花などになりきることで、どんなポーズや表情がふさわしいかをチームで考えて発表した。身体を使うあそびをとおり、作品を体感する機会を提供する内容となった。	
⑤	講座名	うちんち！ぺちやくちやミュージアム・インスタライブ	 <p>インスタライブの様子</p>
	実施日時	令和7年2月22日(土)9:30~10:00	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊、目黒区美術館学芸員	
	会場	目黒区美術館展示室（オンライン、インスタグラム使用）	
	対象・定員	どなたでも	
	参加者	「いいね」30件	
	内容	開館前の展示室から中継で、オンラインによるインスタライブを実施した。照明が消えた状態から金箔部分の作品をライトで照らすことで、刻印の様子など集中力をもって見ることができ、開館時間中では味わえない作品の鑑賞の機会を提供した。	
⑥	講座名	画材の実験室	 <p>① まぜまぜテンペラーレ編 顔料と混ぜ合わせるメディウムを変えると発色や乾きなどが変化する。</p>  <p>② ぴかぴか文様編 金の紙にテンペラ絵具を塗り、ひっかいて金地の模様を出すグラフィートを体験。</p>
	実施日時	① まぜまぜテンペラーレ編 令和7年2月19日(水)~22日(土)、3月5日(水)~8日(土) 各日 13:00~16:00 ② ぴかぴか文様編 令和7年3月12日(水)~14日(金) 14:00~17:00	
	ナビゲーター	目黒区美術館学芸員 他	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	延べ402人 2月19日:32人、20日:35人、21日:19人、22日:61人、 3月5日:27人、6日:20人、7日:21人、8日:49人、 12日:43人、13日:50人、14日:45人	
	内容	当館のオリジナル教材「画材と素材の引き出し博物館」を見ながら、作品を支える画材や支持体がどのようにできているか、どんな使い方ができるか、実際に試してその特性や魅力を探るミニ講座。 今回は、「中世の華・黄金テンペラ画」展に合わせて、テンペラ画の技法を体験できる内容とした。	

	<p>「まぜまぜ編」では、テンペラ画の語源 temperare の混ぜるという意味から、色の粉(顔料)と糊剤(メディウム)を混ぜて、絵具を作り、塗り比べるプログラムを提供した。テンペラ画の場合は糊剤が卵黄であるが、今回は他にも、アラビアゴム、膠、油などのメディウムを用意し、糊剤による発色や塗り心地の変化を体験してもらった。</p> <p>「ぴかぴか編」では、光り輝く黄金テンペラ画の技法のひとつとして、金箔(本講座では金の紙で代用)の上にテンペラ絵具を塗り、上から削って金地の模様をだす「グラフィート」技法に挑戦してもらった。子どもだけでなく、大人の来場者も多くみられ、時間をかけてじっくり、黙々と取り組んでいる様子が見られた。手を動かして体験することで、馴染みのない技法への理解と、展示作品の鑑賞の深化を促すプログラムとなった。</p>	
--	--	--

### (3) ギャラリーツアー

これまで学校単位の受入れにより鑑賞教育を実施してきたが、近年、学校での美術の授業時間の確保が困難となってきたため、実施数が減少していた。そのため、令和4年度より、学童保育クラブや美術部などにも来館を促している。その結果、令和6年度も多くの児童・生徒・教員の来館があった。

No.	展覧会名等	学校・団体名	開催日	学年	参加者
①	「青山悟 刺繍少年フォーエバー」展	下目黒小学校	令和6年5月24日(金)	6年生	83人
②	「武井武雄」展／「画材の実験室」	田道小学校内 学童保育クラブ	令和6年7月23日(火)	1～6年生	43人
③	「武井武雄」展／「画材の実験室」	Dendo Children School	令和6年7月27日(土)	1～6年生	13人
④	「武井武雄」展／「画材の実験室」	下目黒小学校内 学童保育クラブ	令和6年8月8日(木)	1～4年生	19人
⑤	「武井武雄」展／「画材の実験室」	三田学童保育クラブ	令和6年8月9日(金)	1～4年生	6人
⑥	「中世の華・黄金テンペラ画」展 ／「画材の実験室」	青山学院中等部	令和7年2月19日(水)	3年生	13人
⑦	「中世の華・黄金テンペラ画」展 ／「画材の実験室」	下目黒小学校	令和7年2月21日(金)	4年生	77人
⑧	「中世の華・黄金テンペラ画」展 ／「画材の実験室」	下目黒小学校内 学童保育クラブ	令和7年3月5日(水)	1～4年生	26人
⑨	「中世の華・黄金テンペラ画」展 ／「画材の実験室」	大鳥中学校	令和7年3月11日(火)	1～2年生	16人

### (4) トイコレクションプログラム

当館の教材トイコレクションをもとに、トイコレクションボランティアチーム(TVT)運営による、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラム

①	講座名	アウトリーチ 「目黒区美術館がやってくる！ トイで楽しむコロコロめいろ♪」	 <p>親子で遊ぶ様子</p>
	実施日時	令和6年6月8日(土)10:30～11:30	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT) 目黒区美術館学芸員他	
	会場	目黒区民センター児童館 幼児遊戯室	

	対象・定員	2～5 歳児の幼児とその保護者、事前申込制、先着 20 組程度	
	参加者	38 人	
	内容	<p>トイを積んだり、つなげたりして迷路をつくり、木の玉などを使って転がして楽しんだ。</p> <p>後半にはそれぞれが作った迷路をつなげて大きな迷路が出来上がった。木が優しく当たる音など、感触や聴覚にも楽しんでもらった。</p> <p>コロナ禍には中止となっていた児童館でのアウトリーチプログラムも近年再開し、児童館職員との協働で試行錯誤を重ねながら、新たな形式を模索しての実施となった。</p> <p>今後も連携しながら継続していきたい。</p>	 <p>全体で大きくつなげて迷路を作った</p>
②	講座名	トイの日	
	実施日時	令和 6 年 8 月 8 日(木)～11 日(日) 8 日(木)9 日(金): 10:00～12:00 10 日(土)11 日(日): 10:00～14:00	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	 <p>会場風景</p>
	対象・定員	どなたでも、各日当日受付、入退場自由	
	参加者	延べ 520 人 8 月 8 日:50 人、9 日:45 人、10 日:163 人、11 日:262 人	
	内容	<p>トイコレクションボランティアチームによるトイコレクションを活用したプログラムを実施した。</p> <p>親子での参加が多かったが、今回はSNSでインフルエンサーが乳児を連れて来場したことを投稿したこともあり、乳児の姿が多かった。特に土日は終日盛況であり、入場交替を呼びかける場面もあった。積木やパズルなど、様々なトイを、時間をかけて存分に楽しむ参加者の様子が印象的であった。</p> <p>乳児を連れてきた大人が参加できるイベントなど、来場者のニーズにどのように応えていくか、今後も研究していきたい。</p>	 <p>多くの参加者が詰めかけた</p>
③	講座名	アウトリーチ 「つみ木の街のクリスマス」	
	実施日時	令和 6 年 11 月 30 日(土)10:30～11:30	
	進行	目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT) 目黒区美術館学芸員他	
	会場	目黒区民センター児童館 幼児遊戯室	 <p>親子それぞれでつみ木を使ってクリスマスの街を作った</p>
	対象・定員	2～5 歳児の幼児とその保護者、事前申込制、先着 20 組程度	
	参加者	14 組 29 名	
	内容	<p>6 月に引き続き、隣接する区民センター児童館での「乳幼児のつどい」事業の一つでアウトリーチプログラムを行った。</p> <p>季節に合わせてクリスマスの手遊びなども取り入れながら、つみ木でそれぞれの街を作った。クリスマスツリーなどを作る親子も多く、最後は TVT メンバーがサンタクロースの小さな人形をつけて、どんな街なのかインタビューをしながら発表してもらった。美術館にとどまらず館外で展開するこのようなプログラムを今後も展開していきたい。</p>	 <p>家やクリスマスツリーなど、どんなものを作ったか発表してもらった</p>

④	講座名	アウトリーチ 田園調布学園大学地域公開講座 「子ども教育ワークショップ 子ども心に戻って楽しむ時間 美しいトイで創る絡繰りの道」	 <p>高校生や大学生、地域の方など大人たちも真剣に街づくりを楽しんだ。</p>
	実施日時	令和7年3月15日(土)15:00～16:30	
	進行	田園調布学園大学、目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム(TVT)、目黒区美術館学芸員	
	会場	田園調布学園大学3号館なでしこホール	
	対象・定員	中学生以上 事前申込制、30名程度	
	参加者	29名(他に見学20名)	
	内容	大学との連携の事業として、幼児教育から児童教育までを扱う小学校教諭養成課程の新設を令和7年度に予定している田園調布学園大学が行う地域公開講座にて、当館のトイコレクションを使ったアウトリーチプログラムを実施した。幅広い造形遊びに着目し、当館のボランティアチームのナビゲーションのもと、トイを用いたプログラム展開とし、参加者を募った。幅広い年代の地域住民の参加があり、子どもの教育への関心の高さが窺えた。参加者は、トイに触れることで、自ら楽しむことの大切さを再認識していた様子だった。	

#### (5) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が設計した昭和41(1966)年竣工の旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム

① ④	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		 <p>ツアー風景</p>
	進行	目黒区美術館建築ガイドスタッフ		
開催日 (各日 14:00 ～15:30)	①	4月14日(日)	A:40人、B:10人(申込325人)	
	②	4月27日(土)	A:58人、C:8人(申込219人)	
	③	5月18日(土)	A:57人、B:8人(申込370人)	
	④	5月25日(土)	A:54人、C:8人(申込284人)	
対象・定員	中学生以上、事前申込制、各日50名(抽選)			
料金等	参加費:600円			
参加者	延べ243人			
内容	<p>毎年恒例の建築家ガイドの案内で見どころを満喫するA「じっくり見るコース」のほか、建築見学が初めての方でも村野建築を楽しめるB「楽しく見るコース」、外国の方向けのC「英語で見るコース」の3種類のコースを用意した。ツアー当日は5～6つの小グループ(各10人程度)に分かれ、当館ボランティア建築班の案内でツアーを行った。</p> <p>昨年度に引き続き、祝休日は施錠されている「渡り廊下」を全日程でルートに加えたほか、昨年度は見学できなかった「和室」も、今回は見学コースに含むことができた。</p> <p>催行グループ・定員を絞っての開催となったが、各回定員を大きく上回る応募があった。</p> <p>ツアー当日はグループ内で積極的なやりとりがみられた。</p>			

## (6) デザインキャンプ プラス

プラス株式会社ファニチャーカンパニーと当館の協働で、令和5年度より立ち上がったワークショップ。目黒区を中心に近隣の方々へ、デザインを考える・体験する良質な場とつながりを提供するための活動を継続する。

①	講座名	デザインキャンプ プラス Vol.2 《トーネット》を知っていますか？－入門編－ アンコール	 <p>ワイヤーを使ってミニチュアの椅子を作っている様子</p>
	実施日時	令和6年6月30日(日)10:30～16:30	
	講師	島崎 信(武蔵野美術大学名誉教授/デザイン研究) [監修] 石田 潤(リンク建築設計工房主宰/建築家) [ワークショップ]	
	会場	プラス株式会社 ファニチャーカンパニー PLUS DESIGN CROSS	
	対象・定員	高校生以上・20名 (事前申込制・先着順)	
	参加者	20人	
内容	<p>恵比寿本部拠点のある、プラス株式会社ファニチャーカンパニーと協働で開始したワークショップシリーズの第2弾を実施した。</p> <p>令和5年12月に2日間の日程で開催し、好評を博した「第1回(トーネット)を知っていますか？－入門編－」の内容を1日に凝縮して、「Thonet(トーネット)」の魅力に迫った。</p> <p>同社が、現存する世界最古の家具ブランド「Thonet(トーネット)」の正規代理店であることから、19世紀から今日まで広く愛されているトーネットの椅子をテーマに、創業当時の歴史的背景からその製造のユニークなポイントまでを知ることのできる講座を企画した。</p> <p>デザイン研究者の島崎信と建築家の石田潤を講師に迎え、島崎には本講座の監修も務めていただいた。島崎のレクチャー(オンライン)、曲木の実験、製品カタログ兼ポスターの熟読、ワイヤーで「エンドレスチェア」のミニチュアづくりを、主にグループワークで行った。</p> <p>参加者層は20代から60代で、デザインや椅子に関心のある方が多かった。アンケートは非常に高評価で、楽しかった、また参加したい、という声が多かった。</p>		
②	講座名	デザインキャンプ プラス Vol.3 《トーネット》を知っていますか？－挑戦編－	 <p>椅子の学び舎にて、講師の島崎氏が解説をしている様子</p>  <p>PLUS DESIGN CROSSにて、ワイヤーを使って、ロッキングチェアのミニチュアを作っている様子</p>
	実施日時	①令和6年9月28日(土)12:00～16:00 ②令和6年10月6日(日)10:30～16:30 ※Aコース(①と②両日)、Bコース(①のみ)、Cコース(②のみ)	
	講師	島崎 信(武蔵野美術大学名誉教授/デザイン研究) [監修] 石田 潤(リンク建築設計工房主宰/建築家) [ワークショップ]	
	会場	①椅子の学び学舎(山梨県) ②プラス株式会社 ファニチャーカンパニー PLUS DESIGN CROSS(東京都)	
	対象・定員	高校生以上・各日20名 (事前申込制・抽選)	
	参加者	① 18人(申込21人) ②14人(申込33人) ※Aコース 19人、Bコース7人、Cコース6人	
	内容	<p>第3回目となる今回のデザインキャンプ プラスでは、「挑戦」をテーマに、トーネットの椅子の魅力を探る3つのコースを企画した。山梨にある、トーネットの椅子を多数コレクションしている「椅子の学び学舎」への遠足と、都内にあるPLUS DESIGN CROSSにて、ロッキングチェアのミニチュアづくりに挑むワーク</p>	

	<p>ショップの全 2 日間の講座とした。「遠足」と「ワークショップ」をそれぞれに組み合わせて選べるようにし、より参加しやすいような方式とした。講師は前回に引き続き、デザイン研究者の島崎信と建築家の石田潤で、島崎には本講座の監修も務めていただいた。参加の仕方次第で、トーネットの魅力を知ることができる初めての方向けの講座も兼ねることができ、より幅広い参加者層にアプローチできた。アンケートは、講師の解説が分かりやすかった、内容が濃厚だったなど、Vol.2 同様に非常に高評価であった。生活芸術の紹介に力を入れている当館として、今後もこのような事業を継続していきたい。</p>	
--	---	--

### (7) アウトリーチプログラム

「青山悟 刺繍少年フォーエバー」の関連プログラムとして、出品作家の青山が目黒区内の小学校に出向き実施した。

講座名	目黒区美術館アウトリーチプログラム 「私たちの身近なところにいるモンスター」	 <p>授業実施風景</p>
実施日時	令和 6 年 5 月 9 日(木) 10:05～12:30	
講師	青山悟(アーティスト)	
会場	目黒区立五本木小学校 図工室	
対象・人数	6 年生児童 66 人	
内容	<p>「青山悟 刺繍少年フォーエバー」展のプレプログラムとして昨年度実施したアウトリーチプログラムで制作された児童達と青山による作品を、4月20日からの展覧会で展示した。</p> <p>これを受けて、五本木小学校をアーティストが再訪した。授業時間内に美術館を訪問することが困難であるため、青山が展示室の写真をプロジェクターに映して、子どもたちに展示の様子を見せた。照明が消えると、蓄光糸で縫った国境と国名が浮か上がる世界地図の作品を観ながら、青山が「国境はあった方が良かった、ない方が良かったか」問いかけると、子どもたちの意見は分かれた。「国境がある方が文化が守られる」、「国境があるから攻めようとする欲望が生まれる」など、子どもたちは真剣に国境の問題と向き合った。美術の授業ではあるが、青山の作品に触れることで、社会の問題について考える機会にもなった。</p> <p>校長をはじめ、他の教員も授業を見学を訪れ、関心の高さがうかがえた。</p>	

## 3 その他美術に関する事業

### (1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成 8 年度から実習を受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面談により決定する。令和 6 年度は 8 人の学生を受け入れた。

#### 【受入実施校】

青山学院大学 2 人、お茶の水女子大学、学習院女子大学、女子美術大学、中央大学、日本女子大学、明治大学 各 1 人

### (2) 広告事業等 (件数等広報一覧詳細については後掲「補足資料 4」参照)

#### ① 広報事業

- 1 当館ウェブサイトを随時更新
- 2 Facebook、X、Instagram、LINE 友達登録情報配信

- 3 YouTube 公式ページ動画配信
- 4 めぐる区報、目黒区ホームページ
- 5 プレスリリース、ポスター・チラシの発送
- 6 新聞掲載
- 7 JR 目黒駅広告看板掲出・通年（ポスター）
- 8 近隣商店会（7 商店会）へのチラシ配布協力依頼
- 9 ミューぼん（スマートフォンアプリ）利用
- 10 駅貼り広告

## ② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

令和6年度も前年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。

ぐるっとパスは1冊2,500円で購入可能であり、パス所持者は当館へ無料で入館することができる。また、令和4年度から電子チケットが導入され、利便性が向上した。

実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

### 【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者
6年度	103館	120冊 (42,552冊)	5,258人 (316,660人)
5年度	101館	82冊 (42,018冊)	4,383人 (292,895人)

※ 上段は目黒区美術館、( )内は全体数〔参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計〕

## ③ 目黒区総合庁舎西口ホール 目黒区美術館広報展示

目黒区民を主な対象とし、当館の立地や収蔵品などの概要、また展覧会事業や教育普及などの活動をパネル仕立てで展示する広報活動を行った。(令和6年10月18日(金)～11月1日(金))

## ④ 報告書作成

展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.43 [刺繍少年、五十にして天命を知る 青山悟 刺繍少年フォーエバー 永遠なんてあるのでしょうか] 令和6年8月20日発行

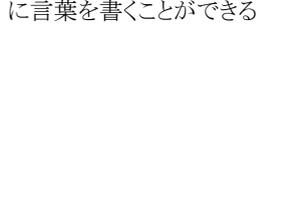
No.44 [生誕130年 武井武雄～幻想の世界へようこそ～ ワークショップ 2024 夏 武井武雄ワンダーランド] 令和7年3月14日発行

No.45 [目黒区美術館コレクション展 わたしの言葉をあなたに届ける 日々のよろこび2024] 令和7年3月14日発行

No.46 [障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2024] 令和7年3月14日発行

## 第2 受託事業（定款第4条第1項第2号）

### 1 指定管理事業展覧会

①	展覧会名	目黒区美術館コレクション展 わたしの言葉をあなたに届ける 日々のよろこび 2024	
	会 期	令和6年10月12日(土)～11月17日(日) (32日間)	
	観 覧 料	一般 700(550)円、大高生・65 歳以上 550(400)円、中学生以下無料、( )内は20名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入 館 者	2,305 人	
	展示概要	<p>同時期開催の「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2024」に合わせて、当館のコレクションから、作家がそれぞれの「日々」や「日常」に目を向けて表現している作品に着目し、展示した。その中で、当館のコレクションにより親しみを感じてもらうために、出品作品から4作品を選定し、展示室という場所を介して、来場者が相互に鑑賞を深めていく仕掛けをつくった。ひとつは、来場者が作品と対峙して感じたことを、自由にメッセージカードに書き留められるコーナーを設け、その言葉を展示室内で掲出して共有した。もうひとつは、所定の場所に近づくとセンサーが反応し、朗読音声がかかる仕掛けをつくった。開幕当初は、学芸員実習の学生等が、作品を見て感じた言葉を反映させたストーリー仕立てにした内容とした。会期半ばには、会期中に来場者が実際にカードに記した言葉を朗読した音声に入れ替えた。</p> <p>アンケート等では、「同じ作品でも見る人によって多様な見方があることが分かって面白い」、「またこうした企画をしてほしい」という好意的な声が多く寄せられた。来場者の鑑賞時間が、音声によって長くなるという変化や、前に書かれたカードに呼応するようなメッセージも見られた。作品を展示するだけでなく、来場者がより積極的に鑑賞し、さらに他の来場者とも交流していくという今回のような試みを、今後も展開していきたい、</p>	 展示風景(展示室A) メッセージカードの展示   展示風景(展示室A) 展示室内のテーブルで自由に言葉を書くことができる
	関連催事	<p><b>大人のための美術カフェ</b> ナビゲーター：当館 学芸員 誉田あゆみ 開催方法、定員：当日先着順、20名程度 開催日：11月4日(土) 14:00～15:00 参加者：12人 内容：1階ワークショップ室が展覧会会場として使用されていたため、より参加者と交流しやすいギャラリートーク形式とした。展示のコンセプトや開幕にいたるまでのエピソードを交えながら、担当者として特に紹介したい作品や作家について、実物を前に解説した。参加者からは、より理解が深まったと好評をいただいた。</p>	
広報実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日新聞(令和6年10月12日掲載)</li> <li>・ぴあエンタメ情報「和田彩花のアートさんぽ」(第8回)「展示と体験がつながる多彩な教育普及プログラムも魅力―目黒区美術館」(令和6年11月8日)</li> </ul>		
②	展覧会名	めぐろの子どもたち展	
	会 期	令和7年1月18日(土)～2月2日(日) (14日間)	
	観 覧 料	無料	

入館者	11,086人
展示概要	<p>目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会を開催した。</p> <p>本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。</p> <p>昨年度に引き続き、東京都立特別支援学校に通う生徒の作品も展示したが、今年はさらにそのスペースを拡大させた。</p> <p>作品数:4,022点</p>

## 2 作品の保管・活用

### (1) 寄贈・寄託作品

寄贈・寄託作品の件数 = 0件

### (2) 作品貸出

作品貸出の件数及び点数 = 36件53点

#### ① 3件3点

- 島村三七雄「セーヌの釣り」
- 小林萬吾「西洋婦人」
- 高野三三男「嘆き」

展覧会名：日本が見たドニ | ドニの見た日本

貸出館：新潟県立近代美術館、久留米市美術館

会期：[新潟] 令和6(2024)年8月27日～10月20日、[久留米] 令和6(2024)年11月2日～令和7(2025)年1月13日

貸出期間：令和6(2024)年8月9日～令和7(2025)年1月30日

#### ② 9件9点

- 武内鶴之助「ロンドン郊外」
- 武内鶴之助「雲」
- 武内鶴之助「風景」
- 武内鶴之助「雷鳴」

展覧会名：空の発見

貸出館：渋谷区立松濤美術館

会期：令和6(2024)年9月14日～11月10日

貸出期間：令和6(2024)年9月7日～11月26日

③ 12件29点

- 飯田善國「KOSMOS-BLUE」
- 飯田善國「KOSMOS-WHITE」
- 飯田善國「素描（5点の内）1」
- 飯田善國「素描（5点の内）2」
- 飯田善國「素描（5点の内）3」
- 飯田善國「素描（5点の内）4」
- 飯田善國「素描（5点の内）5」
- 飯田善國「詩画集『Chromatopoiema』クレマトポイエマ」（18点組）
- 飯田善國「戦争A—鎮魂歌—思い出す人々」
- 飯田善國「戦争B—文明の没落」
- 飯田善國「目黒川夜景1」
- 飯田善國「目黒川夜景2」

展覧会名：飯田善國 色は光、光はことば

貸出館：足利市立美術館

会期：令和6（2024）年11月16日～12月26日

貸出期間：令和6（2024）年10月31日～令和7（2025）1月9日

④ 1件1点

- 宇佐美圭司「プロフィールのこだま：積層」1976年

展覧会名：没後20年 東野芳明と戦後美術

貸出館：富山県美術館

会期：令和7（2025）年1月25日～4月6日

貸出期間：令和6（2024）年12月11日～令和7（2025）4月頃【予定】

⑤ 11件11点

- 高野三三男「裸婦1」
- 高野三三男「きつねと女」
- 高野三三男「うたたね（ねむる金髪の男の子）」
- 高野三三男「白服のパリジェンヌ（コロンビーヌ）」
- 高野三三男「街角風景（テルトル広場）」
- 高野三三男旧蔵「スケッチ箱」
- 高崎剛「軽業師D」
- 田淵安一「天の史」
- 田淵安一「影の通り道」
- 田淵安一「花の中にまた花が」
- 田淵安一「春 No.4」

展覧会名：藤田嗣治 7つの情熱

貸出館：パラミタミュージアム、SOMPO 美術館、神戸市立小磯記念美術館、鹿児島市立美術

館、ふくやま美術館

会期 : [パラミタ] 令和 7 (2025) 年 2 月 1 日～3 月 30 日、[SOMPO] 4 月 12 日～6 月 22 日、[神戸] 6 月 29 日～9 月 15 日、[鹿児島] 10 月 3 日～11 月 9 日、[ふくやま] 令和 8 (2026 年) 1 月 24 日～3 月 29 日

貸出期間 : 令和 7 (2025) 年 1 月 21 日～令和 8 (2026) 年 4 月頃【予定】

### (3) 資料貸出

資料貸出の件数 = 0 件

## 3 区民ギャラリーの貸出 (利用状況については後掲「補足資料 3」参照)

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は、年間で 97.7% となった。(5 年度は 100%)

空き状況については従来の当館ウェブサイトでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、SNS 上に配信した。

その他の業務 (保守メンテナンス含む) については、

- ① 毎年行っている展示壁のクリーニング及び保守点検を行った。
- ② ベアリング (壁の軸受) の調整を行った。(一部)
- ③ 区内新規利用者開拓のため、区内各施設へ利用案内を送付した。
- ④ 備品類 (ワイヤー交換、スポットライト点灯確認) のメンテナンス作業を行った。

#### 【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料金収納実績	利用率	入館者
6 年度	594 面	5,941,250 円 (6,088,250 円)	97.7%	延べ 33,094 人
5 年度	600 面	5,916,750 円 (5,965,750 円)	100%	延べ 31,432 人

※上段は収納日の年度の合計、( )内は当該年度の決算数値である。

#### 【利用者アンケートから】

##### ① 職員対応 (利用案内等)

年度	良い	普通	悪い
6 年度	55 件 (94.9%)	2 件 (3.4%)	1 件 (1.7%)
5 年度	59 件 (96.7%)	2 件 (3.3%)	0 件 (0%)

##### ② 展示のしやすさ

年度	良い	普通	悪い
6 年度	43 件 (74.1%)	14 件 (24.1%)	1 件 (1.7%)
5 年度	44 件 (71.0%)	17 件 (27.4%)	1 件 (1.6%)

## 4 その他の受託事業

### (1) めぐるオータムアート

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

①	講座名	東大駒場キャンパスの歴史を学ぶ+駒場博物館	 <p>実施風景</p>
	講師	折茂克哉(東京大学大学院教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	令和6年10月26日(土) 10:00~12:00	
	実施場所	東京大学駒場Iキャンパス	
	対象・定員	中学生以上・20名(事前申込制・先着順)	
	参加者	27人	
	内容	<p>毎年恒例のプログラムであるが、目黒区民を中心に人気が高く、今年を受付開始後30分で定員に達した。</p> <p>今年も、配布資料の旧制第一高等学校時代の写真等を参照しながら、現在のキャンパスを巡り歩いた。構内の様々な建築物やモニュメント、紋章にまつわる解説を通して、東大駒場キャンパスの成り立ちや、学内の歴史資産に親しみ、それらを継承していく取り組みについて学んだ。</p> <p>今年は特に、東大駒場博物館によって新たに整備され、観覧できるようになった、お雇い外国人の銅像などの歴史資産の紹介があったほか、当時開催中の展覧会「変わる高さ、動く大地 -測量に魅せられた人々の物語-展 03」のギャラリートークも含まれ、現在の東京大学での最新の研究に関する話題も盛り込まれた充実した内容に、参加者からも好評であった。</p>	
②	講座名	目黒建築めぐり塾:目黒区総合庁舎 村野藤吾の建築を見る・知る【A】建築ガイドツアー 目黒区総合庁舎を見る 2024秋	 <p>「議場」を見学している様子</p>
	講師	目黒区美術館建築ガイドスタッフ	
	開催日	令和6年11月2日(土)14:00~16:30	
	実施場所	目黒区総合庁舎	
	対象・定員	中学生以上20名(事前申込制・抽選)	
	参加者	14人(申込257人)	
	内容	<p>建築家・村野藤吾によるオフィスビルの傑作として、現在も多くの建築ファンに愛され続けている目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)は、毎年春にガイドツアーを実施しているが、競争率の高い人気のツアーとなっている。今年は春に加えて秋に、村野没後40年を記念し「建築めぐり塾」として、建築ガイドツアーと講演会の2つの講座を実施した。</p> <p>本ガイドツアーでは、当館建築ガイドスタッフが目黒区総合庁舎の見どころを案内した。春の開催時より人数を限定し、見学箇所、通常は立ち入ることのできない「特別会議室」や「議場」を加えたルートで巡った。目黒区の貴重な文化資源にじっくり触れることのできる内容となった。</p>	

③	講座名	目黒建築めぐり塾:目黒区総合庁舎 村野藤吾の建築を見る・知る 【B】講演会 村野藤吾の魅力—和風建築を中心に	 <p>実施風景</p>
	講師	古田龍彦(和風建築社代表) 佐藤健治(聞き手、建築家/矩須雅建築研究所主宰)	
	開催日	令和6年12月1日(日) 13:00~15:30	
	実施場所	目黒区美術館ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上・50名(事前申込制・先着順)	
	参加者	39人	
	内容	建築ジャーナリストで、伝統和風建築関連の書籍出版分野の第一人者である吉田龍彦を講師に迎え、建築家・佐藤健治が聞き手となり、村野藤吾の和風建築にフォーカスし、その魅力をお話いただいた。吉田は、数寄屋、茶室建築を中心に数々の貴重な建築作品を取材する一方で、建築家・村野藤吾に関する研究を進め、詳細な図面集、写真集などの専門書を多数編集・刊行している。今回は、これらの書籍についても、現物とともにご紹介頂いた。恒例の春の庁舎のツアーでは触れることのできない、より専門的な内容を噛み砕きながら解説いただき、参加者の満足度も高かった。	
④	講座名	空間と音 目黒区総合庁舎とめぐろパーシモンホール	 <p>一日目に、庁舎内の螺旋階段でパフォーマンスをしている様子</p>  <p>最終日に、小ホールで作品を上演している様子</p>
	講師	額田大志(作曲家・演出家) 秋岡陽(音楽史/フェリス女学院 学院長) ゲスト講師 若原一貴(建築家/日本大学芸術学部教授) 渡邊智美(声楽家・俳優/メゾソプラノ)	
	開催日	令和6年11月16日(土)、17日(日)(全2日間) 各日 10:30~17:30	
	実施場所	16日(土):目黒区総合庁舎 17日(日):めぐろパーシモンホール 小ホール	
	対象・定員	高校生以上・20名(事前申込制・先着順)	
	参加者	11人	
	内容	音楽と美術の領域を扱う当財団として、毎年、美術館とパーシモンホールの共同企画として行う、音楽と美術のワークショップは今回で第12回目を迎えた。 今回は新たに、バンドでの音楽活動や演劇のフィールドでも活躍する額田大志を講師に迎え、「空間と音」をテーマに、異なる空間で音楽の聴こえ方の変化を探り、その体験を基にパフォーマンスを創作していく2日間のワークショップを行った。 初日は目黒区総合庁舎を会場として巡り、建物の特徴をゲスト講師による解説や交流を通じて学んだ。それぞれの空間の違いによって生じる響きの変化や聴こえ方の違いを、音楽を再生したり演奏したりしながら実験的に探っていった。 2日目は、パーシモンホール 小ホールを会場として、劇場空間の歴史についても学びながら、「どう音楽を届けるか」を考	

	<p>え、最終的に小ホールでの音楽の上演を目指して、グループごとにパフォーマンスの創作に挑戦した。</p> <p>非劇場空間である目黒区総合庁舎で音楽を届けるグループ発表を経て、劇場空間である小ホールでの音響・照明等の演出を伴うパフォーマンス作品を創作したが、いずれも独創的で完成度の高い上演となった。濃密な内容の2日間のワークショップに、参加者それぞれが達成感を感じていた様子であった。</p> <p>音楽、美術の両領域をカバーするプログラム策定には毎年頭を悩ませるが、今回は目黒区総合庁舎も会場とし、区民にとっては身近な場所でありながら、様々な芸術分野を横断する充実した内容となった。</p>	
--	--	--

## (2) 障がいのあるアーティストによる作品展

①	展覧会名	障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2024		
	会 期	令和6年10月26日(土)～11月17日(日) (20日間)		
	観 覧 料	無料		展示風景(エントランス)
	入 館 者	2,225人		
	展示概要	<p>目黒区内の障害者施設を通じて作品を募集し、237件379点の作品を1階ワークショップ室、エントランス部分、ラウンジで展示した。複数出品やグループなどで計上すると104名(組)、12施設の参加となった。令和元(2019)年度の第1回、令和3(2021)年度の第2回に続き、3回目の展示となった。</p> <p>通所施設のみならず、今回は入所施設にも、事前に施設を度々訪問し、制作の様子や作品など、障がいのある方の芸術活動を把握することができた。今回初めて出品した作者も多数あった一方で、今回が三回目の出品となる作者もあった。</p> <p>前回同様、多数の出品があったため、展示用の仕切り板を三面に仕立て、壁面展示スペースを確保し、車椅子使用など、障がいのある方にもゆったりと鑑賞できるような会場を心がけた。</p> <p>会場と作品は応募用紙に撮影同意欄を設け、一部作品を除き、撮影可とした。関係者以外にも撮影する来館者が多く、SNSの投稿も度々見られた。</p> <p>前回同様、2階のコレクション展と同タイトルとし、関連づけたことで、関係者以外の来場の増加や、出品者がコレクション展も観覧できるという相互性があり、所蔵作品を持つ公立の美術館で開催することの意義が見られた。</p>		<p>展示風景(ラウンジ)</p>  <p>展示風景(ワークショップ室)</p>
関連催事	1	<p><b>ガラスに「日々のよろこび」を描こう</b></p> <p>開催期間:会期中 会場:本館1階ラウンジ 内容:会場に面したガラス窓に「キットパス」という画材で自由に絵を描いてもらった。来館者は、障がいのある方もない方も、誰でも参加でき、土日は特ににぎわっていた。最終日には、ラウンジのガラス面が埋め尽くされるまでに彩られた。施設での団体見学の際、出品者が楽しそうに描いている様子もあった。</p>		

		<p>2 目黒区内の障害者福祉施設の販売コーナー  開催期間:会期中の各施設指定の日時  会場:本館 1 階エントランス  内容:本展に参加する各施設が出店し、施設で製造される商品を販売した。施設それぞれの個性ある製品が並び、出品者も販売スタッフとして来館者に声掛けをし、障がいのある人が社会とつながる貴重な機会となっていた。販売は、障がい者の就労支援となるため、施設スタッフが熱心に取り組む様子が印象的だった。</p>	 <p>目黒本町福祉工房の物販の様子</p>
		<p>3 白鳥建二さんとめぐる  「わたしの言葉をあなたに届ける」展鑑賞ツアー  ナビゲーター:白鳥建二  開催方法、定員:各回 5 人ずつ、事前予約制  対象:どなたでも  開催日:令和 6 年 11 月 10 日(日)  第 1 回:10:30~12:30、第 2 回:14:00~16:00  参加者:9 人 (申込 10 人)  内容:同時期開催のコレクション展を全盲の美術鑑賞者・白鳥建二さんとめぐる鑑賞ツアーを開催した。同氏は、様々な人と会話しながら美術鑑賞をする独自の7活動を長年にわたって続けている。今回も、1 点につき 15 分から 20 分という長時間をかけて、全員で作品鑑賞を楽しんだ。初対面の参加者が集い、最初は遠慮がちであった参加者が少しずつ言葉を重ね、それに丁寧に耳を傾け他者の見方を知ること、自身の中でさらに思ってもみなかった新たな発見が続々と生まれ、次第に参加者が熱く語り始め、場の雰囲気を変化していく様が見られた。全盲の同氏の存在をとおして、「見る」ことの意味を参加者が改めて考える機会となった。</p>	 <p>会話しながら、全員で作品を鑑賞している様子</p>  <p>鑑賞会終了後に感想を伝え合っている様子</p>
<p>広報実績</p>	<p>・『地域創造レター』(令和 6 年 11 月号、No.354)</p>		

### 第3 その他事業（定款第4条第1項第4号及び第4条第2項）

#### 1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

##### （1）区展（区民作品展）への協力

会期：令和6年9月18日（水）～29日（日）（11日間）

##### （2）区内美術4団体への協力

- ① 目黒区写真美術協会展（協会都合により実施無し）
- ② 目黒区書作家協会展（会期：令和6年5月15日（水）～19日（日））
- ③ 目黒区美術家協会展（会期：令和6年6月19日（水）～23日（日））
- ④ 目黒区美芸作家協会展（会期：令和7年3月25日（火）～30日（日））

##### （3）区内等中学校・高等学校への協力

- ① 目黒区立中央中学校職場体験（令和7年1月15日（水）、17日（金））

##### （4）視察、研修等の受入れ

- ① 目黒区教育委員会小学校図工部員24人（令和6年5月9日（木））
- ② 女子美術大学 デザイン工芸学科10人（令和6年5月12日（日））
- ③ 跡見女子学園大学 博物館教育論履修者19人（令和6年5月12日（日））
- ④ 東京造形大学 造形学部学芸員課程履修者24人（令和6年5月14日（火））
- ⑤ INEI ART Academy 12人（令和6年5月18日（土））
- ⑥ 立教大学 社会学部現代文化学科40人（令和6年5月23日（木））
- ⑦ 東京藝術大学 美術学部先端芸術表現科10人（令和6年5月24日（金））
- ⑧ 創形美術学校 ファインアート科絵画専攻15人（令和6年5月30日（木））
- ⑨ オケクラフトセンター森林工芸館3人（令和6年7月11日（木））
- ⑩ 京都芸術大学 通信教育課程24人（令和6年8月24日（土））
- ⑪ 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科20人（令和6年9月13日（金））
- ⑫ 和光大学 表現学部芸術学科16人（令和6年11月13日（水））

## 2 危機管理体制

消防計画や事象別危機管理対応マニュアルをもとに、館をとりまく様々な災害等を想定し、職員一同日頃より情報共有に努め、日常的な点検をはじめ緊急時等に備えている。令和6年度の主な対応は以下のとおりである。

### （1）新型コロナウイルス感染症対策

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたが、受付等のアクリル板の設置、館内各所への消毒液の設置などの対策は引き続き継続して行った。

### （2）防火・防災対策

令和7年1月30日（木）に震災を想定した避難訓練を実施した。訓練は目黒消防署指導のもと、目黒区美術館消防計画に基づき職員・監視員・受付スタッフが参加して行った。併せて消防署員よりAEDの使用法の指導を受けた。

### （3）衛生管理

ラウンジ（喫茶コーナー）の運営にあたっては、職員の指導のもとボランティアスタッフによる手洗いの励行、定期的な清掃、材料の衛生管理など食中毒の予防に努めた。

#### (4) 監視員研修

展覧会開催時の監視員に対し、展覧会毎に避難誘導、急病者、不審者等への対応について事前説明を行うほか、事例別の特別研修会を行った。

具体的には「お客様が転倒し作品にぶつかった拍子に作品が破損してしまった事故」と「不審な行動を繰り返すお客様への対応」を学芸係長と管理係長が講師となって指導するなど、不測の事態に備えた。

### 3 ボランティア活動

ボランティア会員87人（令和7年3月31日現在）が、5班（ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班）に分かれ、美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として12月5日にバスツアーを開催し、茨城県近代美術館と水戸芸術館の2館を巡り、33人が参加した。

毎年、年度末に開催しているボランティア総会については、令和7年3月15日（土）に開催した。

#### ① ラウンジ班

展覧会開催期間延べ177日（区展含む）のラウンジ運営に協力した。

#### ② トイコレクション班

トイの日（夏・4日間）、アウトリーチ（2回・6月、11月）及びファミリーワークショップ（令和7年2月）を実施した。月一回の例会ほか各種イベントの企画に精力的に協力した。

#### ③ 建築班

目黒区総合庁舎建築ガイドツアーが実施され、協力した。（計4回）

#### ④ 広報班

「武井武雄」展、「わたしの言葉をあなたに届ける」展、「中世の華・黄金テンペラ画」展、令和7年度展覧会「遙かなるイタリア」展の発送作業に協力した。

#### ⑤ 資料整理班

展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

### 4 収益事業等（ミュージアムショップ、ラウンジ運営）

#### (1) ミュージアムショップ（通年）での取組

- ① 定期的に商品ラインナップの入れ替えを行い、リピーター利用者が飽きないように工夫をした。
- ② 各展覧会に関連した書籍やグッズ等を販売し手数料収入を得た。
- ③ 展覧会図録をはじめ、当館オリジナルトートバッグ等については、1年を通じてウェブサイトから簡単に申し込み可能な通信販売を実施しており、遠隔地のお客様に好評であった。（電話、FAX 申し込みも可）

#### 【青山悟】展

- ポストカードは本展メインビジュアルの「東京の朝」のみ受託販売を行い、520枚売り上げた。

- 本展図録は674冊売り上げた。(受託販売)
- 当館としては初の展覧会関連Tシャツを2種作成し、計145枚を売り上げた。
- 展覧会限定で展覧会タイトルと画像(「東京の朝」)が印刷されたドリップコーヒー(1杯分個包装)を販売し、計695個売り上げた。
- 青山氏と水戸美術館の案内スタッフによる手芸クラブ(ATMフェイス)との共同プロジェクトで手掛けた手製のブローチを受託販売し、納品分全ての計63個売り上げた。

#### 【武井武雄】展

- 出品作品のポストカード16種を計6,042枚売り上げた。
- 本展図録は909冊売り上げた。その他の関連商品も好評で、特に「てぬぐい」が良く売れた。

#### 【中世の華・黄金テンペラ画】展

- 本展図録が非常に好評で、計1,794冊売り上げた。(入館者数の1.9割)
- 本展に関連する商品としてラピスラズリの原石を受託商品として取り扱った。納品された60個は全て完売した。
- 関連書籍の販売も好調で、4種計577冊売り上げた。

## (2) ラウンジでの取組

- ① 「青山悟」展では、通常使っているまろやかでコクがあるコーヒーの種類から、作品タイトルである「東京の朝」に因んだ、モーニングコーヒーに相応しい軽やかなブレンドコーヒーに変えて提供した。結果として457杯の販売実績となった。
- ② 「武井武雄」展では、夏開催展覧会恒例のアイスクリーム(6種)を取り扱った。猛暑ということもあり、計564個売り上げた。
- ③ 「わたしの言葉をあなたに届ける」展では、秋開催の展覧会であることに因み、「スイートポテト」を取り扱った。また、以前扱って好評だったチョコレート風味の紅茶も提供した。スイートポテトは186個売り上げた。
- ④ 「めぐろの子どもたち展」では、令和5年度よりレギュラーメニューとして取り扱いをはじめた「つぶらなミカン」が好調で、計69本売り上げた。
- ⑤ 「中世の華・黄金テンペラ画」展では、イタリアに因んでイタリアのコーヒーメーカーである「illy」のコーヒーを扱い、本展限定でイタリア菓子メーカーのウエハースを添えて提供した。大変好評で計660杯を売り上げた。

令和6年度 展覧会事業実施状況

区分		青山悟	武井武雄	わたしの言葉をあなたに届ける	障がいのあるアーティストによる作品展 日々のごよこび2024	めぐろの子どもたち展	黄金テンペラ画	計	
会期	期間	4/20-6/9	7/6-8/25	10/12-11/17	10/26-11/17	R7.1/18-2/2	R7.2/15~3/23		
	日数	44	44	32	20	14	32	186	
入館者数(人)		目標	4,000	4,500	3,000	600	10,000	3,200	25,300
		実績	9,259	8,753	2,305	2,225	11,086	9,077	42,705
有料			5,476	5,134	549	0	0	5,007	16,166
一般(下記以外)			3,986	3,409	373	0	0	3,315	11,083
高校・大学・高齢者			1,490	1,725	176	0	0	1,692	5,083
無料			3,783	3,619	1,756	2,225	11,086	4,070	26,539
招待券			1,352	1,098	447	0	0	1,875	4,772
ぐるっとパス			1,646	1,615	605	0	0	1,392	5,258
障がい者			269	318	141	※0	0	289	1,017
幼児・小・中学生			274	373	35	0	0	184	866
小学生ギャラリートour			83	120	0	0	2,657	110	2,970
その他(ピリエ会員等)			159	95	528	2,225	8,429	220	11,656
入館者割合(%)									
有料			59.1	58.7	23.8	0	0	55.2	37.9
無料			40.9	41.3	76.2	100	100	44.8	62.1
1日当たり入館者数(人)			210	199	72	111	792	284	230
入館料収入(円)			4,424,880	4,102,400	355,350	0	0	4,081,780	12,964,410

※ 「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数である。「わたしの言葉をあなたに届ける」展は区民まつりの無料人数(444人)を含む。

「障がいのあるアーティストによる作品展」及び「めぐろの子どもたち展」については、一般入館者である。

※ 「ぐるっとパス」については、受付の日計表とあわせて「無料」の区分としているが、実際の取扱いについては、99ページのとおりである。

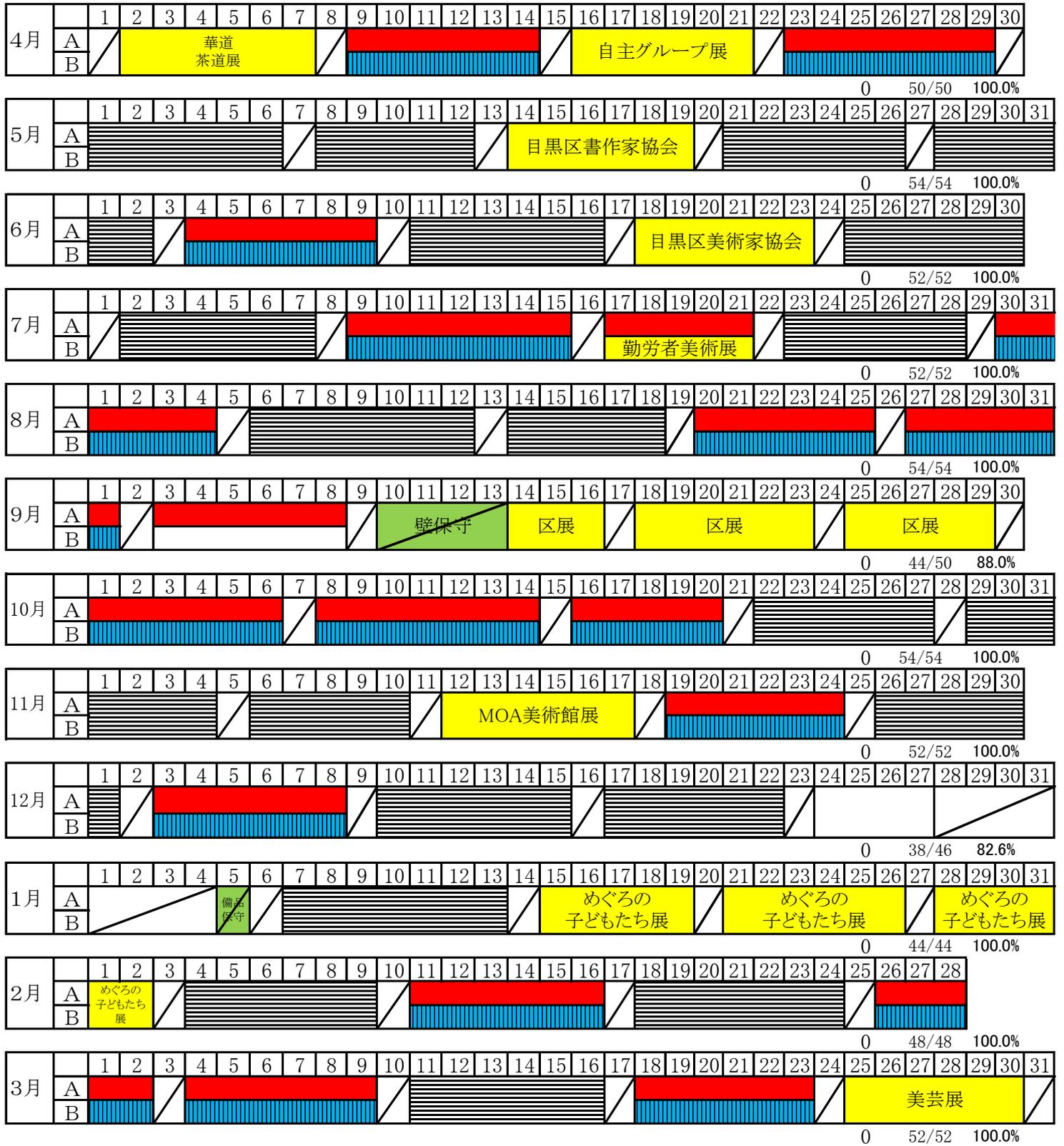
※ 「障がいのあるアーティストによる作品展」の障がい者の入館者数については、無料展のためカウントしていない。

※ 「会期日数」の計は186日だが、実日数は166日である。(障がいのあるアーティストによる作品展がコレクション展会期と重なるため)

## 令和6年度 展覧会入館者数等の推移

区分		令和6年度	令和5年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数	6	5	1	
	開館日数	166	166	0	
	入館者(人)	有料	16,166	6,815	9,351
		無料	26,539	20,859	5,680
		合計	42,705	27,674	15,031
観覧料(円)	12,964,410	4,606,215	8,358,195		
教育普及事業(ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ(ファミリーワークショップ含む)	開催数(回)	9	6	3
		参加者(人)	293	114	179
	ギャラリーツアー	開催数(回)	9	8	1
		参加者(人)	296	134	162
	トイコレクション(アウトリーチ)	開催数(回)	3	3	0
		参加者(人)	96	69	27
	トイの日	開催数(回)	4	6	△2
		参加者(人)	520	274	246
	画材の実験室	開催数(回)	24	3	—
		参加者(人)	759	812	—
	庁舎建築ガイドツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者(人)	243	143	100
	デザインキャンププラス (令和4年度以前は「デザインキャンプ」)	開催数(回)	2	1	1
		参加者(人)	52	12	40
	大人のための美術カフェ	開催数(回)	3	3	0
		参加者(人)	88	80	8
	合計	開催数(回)	58	34	24
参加者(人)		2,347	1,638	709	

令和6年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



- 凡例
- A面のみ利用
  - B面のみ利用
  - 全面利用
  - 共催、後援事業
  - 保守、補修等
  - 休館日

令和6年度 広報一覽

広報内容	種別	広報手段	件数等		備考		
館総合・各展覧会・ワークショップ等	美術館発信	当館ウェブサイト	573,186件 (R6)		全体アクセス数		
			402,776件 (R5)				
		LINE	197件	登録者数：1,265人(R6より開始)		事業毎に配信	
		X(旧twitter)	197件	フォロワー数:23,196人(前年度比+1,570人)		事業毎に配信	
		Facebook	197件	フォロワー数：1,824人(前年度比+79人)		事業毎に配信	
		Instagram	197件	フォロワー数:3,950人(前年度比+2,081人)		事業毎に配信	
		YouTube	8動画	チャンネル登録者数:245人(前年度比+61人)		事業毎に配信	
		プレスリリース送付		約300件		各展覧会毎に発送	
	ポスター・チラシ送付		約500件		各展覧会毎に発送		
	区協力	めぐろ区報				通年	
		目黒区ウェブサイト				通年	
			ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)			通年	
	有料広告	新聞掲載(毎日新聞)	JR目黒駅広告看板掲出			通年	
			36件	4/21(東京)	1件(東京都版15段カラー)		青山悟
				4/20~5/23	7件(都内 突き出し)		
7/12(東京)				1件(東京都版15段カラー)		武井武雄	
7/12~17				7件(都内 突き出し)			
10/12(東京)				1件(東京都版15段カラー)		わたしの言葉をあなたに届ける	
10/16~11/2				7件(都内 突き出し)			
2/19(東京)				1件(東京都版15段カラー)		黄金テンペラ画	
2/19~3/11		7件(都内 突き出し)					
Yahoo レスポンシブ 広告		配信期間:4/19-5/9	クリック回数	12,224回		青山悟	
	配信期間:7/17-8/16	15,532回		武井武雄			
	配信期間:10/19-11/2	6,592回		わたしの言葉をあなたに届ける			
	配信期間:2/14-20,2/28-3/6	13,015回		黄金テンペラ画			
区民ギャラリー利用案内	美術館発信	当館ウェブサイト	573,186件 (R6)		全体アクセス数		
			402,776件 (R5)				
		LINE	3件		空き室情報等		
区庁舎等での広報協力の		都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付					
		西口ロビーパネル展示			10/18-11/1		
		1階食堂近くの掲示板利用			1か所		
		文化・交流課窓口等					
		めぐろ観光まちづくり協会窓口					

# 【館総合・各展覧会・ワークショップ等】

## 【美術館発信】

### 1 LINE:①



配信日:5/9 開催のお知らせ  
[デザインキャンプ プラス Vol.2]



配信日:10/1 開催のお知らせ  
[障がいのあるアーティスト  
による作品展]

### 1 X(旧 Twitter):②



掲載日:4/20 本日開幕  
[青山悟展]



掲載日:6/28 開催のお知らせ  
[ワークショップ 2023 夏]

### 2 Facebook:③



掲載日:7/5 明日開幕  
[武井武雄展]



掲載日:10/1 開催のお知らせ  
[コレクション展]

### 3 Instagram:④



掲載日:6/1

ミュージアムショップ商品紹介

掲載日:2/19 インスタライブ配信予告

[中世の華・黄金テンペラ画展]

### 4 YouTube:⑤



掲載日:4/17 動画でサクッと予告  
[青山悟展]



掲載日:8/18 動画でぎゅぎゅつと  
解説[武井武雄展]



掲載日:12/21 動画でサクッと予告  
[中世の華・黄金テンペラ画展]

### 【有料広告】

#### 1 新聞掲載(毎日新聞):⑥~⑬



⑥掲載日:4/21  
(都内版)1 ページカラー  
[青山悟展]



⑦掲載日:4/20-5/23  
(7回掲載・都内版)突出  
広告モノクロ[青山悟展]



⑧掲載日:7/12  
(都内版)1 ページカラー  
[武井武雄展]



⑨掲載日:7/12-8/17  
(7回掲載・都内版)突出  
広告モノクロ[武井武雄展]



⑩掲載日:10/12  
(都内版)1ページカラー  
[コレクション展]



⑪掲載日:10/16-11/9 (7回掲  
載・都内版)突出広告モノクロ  
[コレクション展]



⑫掲載日:2/19  
(都内版)1ページカラー  
[中世の華・黄金テンペラ画展]



⑬掲載日:2/19-3/11 (7回掲  
載・都内版)突出広告モノクロ  
[中世の華・黄金テンペラ画展]

Yahoo! ディスプレイ広告:⑭~⑰

■配信結果

実施内容:『刻鏤少年フォーエバー』新求  
配信期間:展覧会のオープン告知(サイトへの誘導)  
配信期間:2024年4月19日(金)~5月9日(水)  
予算:230,000円(税別)

配信媒体:YDA (Yahoo!) レスポンシブ広告  
配信OS: Yahoo! + Yahoo! (広告パートナーサイト)  
デバイス:PC、スマートフォン、タブレット  
エリア:東京都  
ターゲット:18~54歳までの男女  
興味関心:美術館、展覧会、アートなど  
キーワード:美術館、展覧会、アートなど

指標	表示回数	CPM	クリック率	クリック数	CTR	コンバージョン数
TOTAL	9,821,586	¥23	0.12%	12,224	¥19	¥129,569
成功数	7,833,333	¥29	0.29%	4,447	¥52	230,000

【コメント】  
・クリック数12,224(目標:4,447)、クリック単価¥19(目標¥52)と、目標を上回る形で  
露出に効率よく配信することができました。  
・クリック率は想定を下回る形となりましたが、志望応募が標準を大きく上回っているため、  
クリックも集客の3倍近く獲得することが出来、クリック単価も非常に望みに届くことが出来ました。

⑭配信期間:4/19-5/9 クリック数 12,224 回  
[青山悟展]

■配信結果

実施内容:『武井武雄展』新求  
配信目的:展覧会のオープン告知(サイトへの誘導)  
配信期間:2024年7月17日(水)~8月16日(金)  
予算:230,000円(税別)

配信媒体:YDA (Yahoo!) レスポンシブ広告  
配信OS: Yahoo! + Yahoo! (広告パートナーサイト)  
デバイス:PC、スマートフォン、タブレット  
エリア:東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県  
ターゲット:30~69歳までの男女  
興味関心:美術館、展覧会、アートなど  
キーワード:美術館、展覧会、アートなど

指標	表示回数	CPM	CTR	クリック	CPC	コンバージョン数
TOTAL	18,728,260	¥20	0.14%	15,532	¥34	¥118,774
成功数	7,694,389	¥29	0.13%	9,303	¥24	¥130,000

【コメント】  
・クリック数15,532(目標:5,202)、クリック単価¥14(目標¥24)と、  
目標を上回る形で非常に効率よく配信することが出来ました。  
・週末よりも平日に露出が多くなる傾向が確認でき、CTRも目標以上の露出を確保できたため  
クリックも集客を大きく上回る形で獲得が出来たと考えております。

⑮配信期間:7/17-8/16 クリック数 15,532 回  
[武井武雄展]

■配信結果



実施内容：「コレクション展」訴求

配信目的：美術館のオープン告知（サイトへの誘導）  
 配信期間：2024年10月29日（土）～11月2日（土）  
 上限予算：100,000円（税込）



配信媒体：YDA (Yahoo!) レスポンシブ広告  
 配信先：Yahoo! + Yahoo! 検索パートナーサイト  
 デバイス：PC・スマートフォン・タブレット  
 エリア：日東区・豊川谷区・浜谷区・入田区  
 デモグラフ：40歳以上の男女  
 興味関心：Art

【サマリー】

指標	表示回数	CPM	CTR	クリック	CPC	ご利用金額
TOTAL	3,581,205	¥28	0.18%	6,592	¥15	¥96,615

<コメント>

・配信条件を満たして、配信した表示回数とクリック数で配信することが出来ました。  
 ・クリック単価は15円と予算に余裕に確保することができ、クリック数も8992回と、お誘いに反応ができたと考えております。

⑯配信期間：10/19-11/2 クリック数 6,592 回  
 [コレクション展]

■配信結果



実施内容：「中世の華 黄金テンペラ画」訴求

配信目的：美術館のオープン告知（サイトへの誘導）  
 配信期間：第1弾:2025年2月14日（土）～2月20日（木）  
 第2弾:2025年2月28日（土）～3月6日（木）  
 上限予算：220,000円（税込）



配信媒体：YDA (Yahoo!) レスポンシブ広告  
 配信先：Yahoo! + Yahoo! 検索パートナーサイト  
 デバイス：PC・スマートフォン・タブレット  
 エリア：関東1都6県  
 デモグラフ：20歳以上の男女  
 興味関心：イタリア好き、美術館好きなど

【サマリー】

指標	ご利用金額	表示回数	クリック数	CTR	クリック単価	クリック単価	クリック単価
全体	¥220,000	8,842,146	95,02	1.07%	¥23	13,015	0.147%
第1弾	¥77,000	5,500,808	40,91	0.74%	¥19	8,293	0.149%
第2弾	¥143,000	3,341,338	54,11	1.62%	¥26	4,722	0.141%

<コメント>

・配信条件を満たして、非常に多くのクリックを獲得することができました。  
 ・クリック単価も期待したすべての範囲で余裕を確保することができ、クリック単価も非常に低く、クリック単価も非常に低く確保することが出来ました。

⑰配信期間：2/14-2/20,2/28-3/6  
 クリック数 13,015 回[中世の華・黄金テンペラ画展]

## IV 処務の概要

### 1 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	令和6年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 文化ホールの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 管理施設と管理物品の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 令和6年4月1日から11年3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	令和6年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第3条第2号から第6号に規定する事業に関する業務 (2) 美術館の観覧、特別観覧及び区民ギャラリーの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 協定の期間 令和6年4月1日から11年3月31日まで
目黒区文化ホールの管理に関する令和6年度協定書	令和6年4月1日	目黒区長	令和6年度における目黒区文化ホール管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書
目黒区美術館の管理に関する令和6年度協定書	令和6年4月1日	目黒区長	令和6年度における目黒区美術館管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費等を定める協定書

### 2 財団運営会議の開催状況

回数	開催年月日	議題
第1回	令和6年5月10日	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書の提出及び監査について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第2回	令和6年5月24日	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書の提出について
		監査報告書の提出について
		理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
第3回	令和6年9月26日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他
第4回	令和7年1月30日	理事会提出議案等の確認について
		評議員会提出議案等の確認について
		その他

### 3 理事会の開催状況

回数	開催年月日	議案番号等	件名
第1回	令和6年6月4日	議案第2号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書(案)
		議案第3号	令和6年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第4号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書(案)
		議案第5号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について
		協議事項	令和7年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	令和6年10月10日	議案第6号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員会の招集について
		協議事項	令和7年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画(原案)について
		報告事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価の結果について
第3回	令和7年2月7日	議案第7号	令和7年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画について
		議案第8号	令和7年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算について
		議案第9号	令和7年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第10号	令和6年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について
		議案第11号	専決処分した事項の報告及び承認について(公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程改正)
		議案第12号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団就業規則の一部を改正する規則について
		議案第13号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則について
		議案第14号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団非常勤職員就業規程の一部を改正する規程について
		議案第15号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程について
		議案第16号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部を改正する規程について
		議案第17号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団退職手当支給規程の一部を改正する規程について
		議案第18号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団処務規程の一部を改正する規程について
		報告事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 令和6年度目黒区財政援助団体等監査の実施結果について 品川労働基準監督署による定期監督について
		書面表決	令和6年4月1日

#### 4 評議員会の開催状況

回数	開催年月日	議案番号等	件名
第1回	令和6年6月20日	議案第2号	令和5年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書（案）
		議案第3号	令和6年度目黒区文化ホール事業計画の変更（案）
		議案第4号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算書（案）
		議案第5号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について
		協議事項	令和7年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（素案）について
		報告事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
第2回	令和6年10月24日	協議事項	令和7年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（原案）について
		報告事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について 令和5年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価の結果について
第3回	令和7年2月28日	議案第6号	令和7年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画について
		議案第7号	令和7年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算について
		議案第8号	令和7年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込みについて
		報告事項	令和6年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告について
			令和6年度目黒区財政援助団体等監査の実施結果について
	品川労働基準監督署による定期監督について		
書面表決	令和6年4月1日	議案第1号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について

## 5 評議員、理事及び監事名簿

### (1) 評議員

(順不同)

役職	氏名	備考
評議員	柏谷 秀男	弁護士、税理士
評議員	塩田 純一	多摩美術大学客員教授
評議員	井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
評議員	木田 左和子	ピアニスト、昭和女子大学非常勤講師
評議員	箱守 栄一	美術品リスクコンサルタント
評議員	橋本 安男	目黒区民交響楽団副団長
評議員	宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授
評議員	植田 健二	目黒吹奏楽団団長
評議員	堀切 克俊	有限会社丸貴代表取締役
評議員	松岡 希代子	板橋区立美術館館長
評議員	岡田 敦子	東京音楽大学副学長

(令和7年3月31日現在)

### (2) 理事

(順不同)

役職	氏名	備考
理事長	秋山 光文	お茶の水女子大学名誉教授
副理事長	山下 直純	山下寝具株式会社会長
常務理事	大野 容一	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長(パーシモンホール館長兼務)
理事	遠藤 幸子	弁護士
理事	田中 晴久	平和祈念展示資料館学芸員
理事	中屋 早紀子	声楽家
理事	秋岡 陽	フェリス女学院学院長
理事	橋 秀文	目黒区美術館館長
理事	菅波 希衣子	ワッティー株式会社代表取締役社長

(令和7年3月31日現在)

### (3) 監事

(順不同)

役職	氏名	備考
監事	余語 直樹	公認会計士、税理士、社会保険労務士
監事	横田 俊文	行政経験者

(令和7年3月31日現在)

## V 附属明細書

令和6年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。